

(様式第10)

広大病医事第25-3 号

令和 7 年 10 月 3 日

厚生労働大臣 殿

開設者名 国立大学法人広島大学
学長 越智 光夫

広島大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法(昭和23年法律第205号)第12条の3第1項及び医療法施行規則(昭和23年厚生省令第50号)第9条の2の2の第1項の規定に基づき、令和6年度の業務に関して報告します。

1 開設者の住所及び氏名

住所	〒739-8511 東広島市鏡山一丁目3番2号
氏名	国立大学法人広島大学 学長 越智 光夫

(注) 開設者が法人である場合は、「住所」欄には法人の主たる事務所の所在地を、「氏名」欄には法人の名称を記入すること。

2 名称

広島大学病院

3 所在の場所

〒734-8551 広島市南区霞一丁目2番3号
電話(082)257-5555

4 診療科名

4-1 標榜する診療科名の区分

<input checked="" type="radio"/>	1 医療法施行規則第六条の四第一項の規定に基づき、有すべき診療科名すべてを標榜
<input type="radio"/>	2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定により読み替えられた同条第一項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として、十以上の診療科名を標榜

(注) 上記のいずれかを選択し○を付けること。

4-2 標榜している診療科名

(1)内科

内科							有
内科と組み合わせた診療科名等							
<input checked="" type="radio"/>	1呼吸器内科	<input type="radio"/>	2消化器内科	<input type="radio"/>	3循環器内科	<input type="radio"/>	4腎臓内科
<input type="radio"/>	5神経内科	<input type="radio"/>	6血液内科	<input type="radio"/>	7内分泌内科	<input type="radio"/>	8代謝内科
<input checked="" type="radio"/>	9感染症内科	<input type="radio"/>	10アレルギー疾患内科またはアレルギー科	<input type="radio"/>	11リウマチ科		
診療実績							
・代謝内科については消化器内科で医療を提供している。 ・神経内科については脳神経内科で医療を提供している。 ・内分泌内科については内分泌・糖尿病内科で医療を提供している。 ・アレルギー疾患内科については呼吸器内科で医療を提供している。							

(注) 1 「内科と組み合わせた診療科名等」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
2 「診療実績」欄については、「内科と組み合わせた診療科名等」欄において、標榜していない診療科がある場合、その診療科で提供される医療を、他の診療科で提供している旨を記載すること。

(2) 外科

外科						無	
外科と組み合わせた診療科名							
○	1呼吸器外科	○	2消化器外科	○	3乳腺外科		4心臓外科
	5血管外科	○	6心臓血管外科		7内分泌外科	○	8小児外科
診療実績							
・内分泌外科については乳腺外科で医療を提供している。							

(注) 1 「外科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「診療実績」欄については、「外科」「呼吸器外科」「消化器外科」「乳腺外科」「心臓外科」「血管外科」「心臓血管外科」「内分泌外科」「小児外科」のうち、標榜していない科がある場合は、他の標榜科での当該医療の提供実績を記載すること(「心臓血管外科」を標榜している場合は、「心臓外科」「血管外科」の両方の診療を提供しているとして差し支えないこと)。

(3) その他の標榜していることが求められる診療科名

○	1精神科	○	2小児科	○	3整形外科	○	4脳神経外科
○	5皮膚科	○	6泌尿器科	○	7産婦人科		8産科
	9婦人科	○	10眼科	○	11耳鼻咽喉科		12放射線科
○	13放射線診断科	○	14放射線治療科	○	15麻酔科	○	16救急科

(注) 標榜している診療科名に○印を付けること。

(4) 歯科

歯科						有	
歯科と組み合わせた診療科名							
○	1小児歯科	○	2矯正歯科	○	3歯科口腔外科		
歯科の診療体制							

(注) 1 「歯科」欄及び「歯科と組み合わせた診療科名」欄については、標榜している診療科名に○印を付けること。
 2 「歯科の診療体制」欄については、医療法施行規則第六条の四第五項の規定により、標榜している診療科名として「歯科」を含まない病院については記入すること。

(5) (1)～(4)以外でその他に標榜している診療科名

1	移植外科	2	腫瘍内科	3	病理診断科	4	形成外科	5	リハビリテーション科
6	脳神経内科	7	内分泌・糖尿病内科	8		9		10	
11		12		13		14		15	
16		17		18		19		20	
21		22		23		24		25	

(注) 標榜している診療科名について記入すること。

5 病床数

精神	感染症	結核	療養	一般	合計	(単位: 床)
20	2			720	742	

6 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計
医師	576	273	662.0
歯科医師	166	94	198.3
薬剤師	81	2	81.8
保健師	0	0	0.0
助産師	22	0	22.0
看護師	914	14	922.0
准看護師	0	0	0.0
歯科衛生士	24	0	24.0
管理栄養士	13	2	14.7

職種	員数
看護補助者	20
理学療法士	44
作業療法士	18
視能訓練士	13
義肢装具士	0
臨床工学士	23
栄養士	4
歯科技工士	6
診療放射線技師	56

職種	員数
診療エックス線技師	0
臨床検査技師	83
臨床検査衛生検査技師	0
その他	0
あん摩マッサージ指圧師	0
医療社会事業従事者	11
その他の技術員	58
事務職員	359
その他の職員	169

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めなくて記入すること。
 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

7 専門の医師数

専門医名	人数(人)	専門医名	人数(人)
総合内科専門医	76	眼科専門医	21
外科専門医	49	耳鼻咽喉科専門医	15
精神科専門医	9	放射線科専門医	20
小児科専門医	25	脳神経外科専門医	17
皮膚科専門医	6	整形外科専門医	31
泌尿器科専門医	19	麻酔科専門医	36
産婦人科専門医	15	救急科専門医	16
		合計	355

- (注) 1 報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること。
 2 人数には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下1位を切り捨て、整数で算出して記入すること。

8 管理者の医療に係る安全管理の業務の経験

管理者名 (安達 伸夫) 任命年月日 令和 6 年 4 月 1 日

令和4年4月1日～令和6年3月31日の2年間、医療安全管理責任者に就任

9 前年度の平均の入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の前年度の平均の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	550.7 人	21.0 人	571.7 人
1日当たり平均外来患者数	1689.9 人	448.4 人	2138.3 人
1日当たり平均調剤数		1304.8	剤
必要医師数		154	人

必要歯科医師数	26	人
必要薬剤師数	20	人
必要(准)看護師数	358	人

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療料を受診した患者数を記入すること。
2 入院患者数は、前年度の各科別の入院患者延数(毎日の24時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
3 外来患者数は、前年度の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
4 調剤数は、前年度の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。
5 必要医師数、必要歯科医師数、必要薬剤師数及び必要(准)看護師数については、医療法施行規則第二十二条

10 施設の構造設備

施設名	床面積	主要構造	設備概要			
集中治療室	797.1 ㎡	鉄筋コンクリート	病床数	38 床	心電計	有
			人工呼吸装置	有	心細動除去装置	有
			その他の救急蘇生装置	有	ペースメーカー	有
無菌病室等	[固定式の場合] 床面積 277.5 ㎡ [移動式の場合] 台数 - 台		病床数	16 床		
医薬品情報管理室	[専用室の場合] 床面積 114.9 ㎡ [共用室の場合] 共用する室名 なし					
化学検査室	540 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	CO2インキュベーター、FFP解凍器、クリーンベンチ、ルミネックス、遠心機、分光光度計、位相差顕微鏡、リアルタイムPCR		
細菌検査室	68 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	MIC測定装置、オートクレーブ、バスボックス、安全キャビネット、遺伝子分析装置、恒温器、顕微鏡、冷蔵庫		
病理検査室	254 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	クリオスタット、顕微鏡、保冷库、細胞診標本作成装置、バイオクリーンベンチ、自動免疫染色装置、超純水製造装置		
病理解剖室	122.5 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	臓器写真台、解剖台、ホルムレインザー脱臭装置、酸素クラスター除菌脱臭装置、光触媒空気清浄器、ホルマリンリサイクル装置		
研究室	45 ㎡	鉄筋コンクリート	(主な設備)	顕微鏡、パソコン、超微量ハートナル分光光度計、微量遠心機、PCR装置、全自動核酸抽出装置、ホモジナイザー		
講義室	1342.1 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	19 室	収容定員	599 人
図書室	42.8 ㎡	鉄筋コンクリート	室数	1 室	蔵書数	10,000 冊程度

- (注) 1 主要構造には、鉄筋コンクリート、簡易耐火、木造等の別を記入すること。
2 主な設備は、主たる医療機器、研究用機器、教育用機器を記入すること。

11 紹介率及び逆紹介率の前年度の平均値

紹介率	89.3	%	逆紹介率	87.2	%
算出根拠	A: 紹介患者の数		20,222		人
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数		21,586		人
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数		1,872		人
	D: 初診の患者の数		24,744		人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、Cの和をDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 「逆紹介率」欄は、BをDで除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
3 A、B、C、Dは、それぞれの前年度の延数を記入すること。

12 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由(注)

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況

山田 謙慈	広島県医師会・常任理事	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
中井 克洋	広島県医師会・常任理事 事メープル法律事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
中川 圭	認定NPO法人乳がん患者友の会きらら・理事長		医療を受ける者	無	2

(注) 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者(1.に掲げる者を除く。)
3. その他

13 監査委員会の委員名簿及び委員の選定理由の公表の状況

委員名簿の公表の有無	有
委員の選定理由の公表の有無	有
公表の方法	
病院ホームページに掲載	

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	
当該医療技術の概要			

(注) 1 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(注) 2 医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院として十以上の診療科名を標榜する病院については、他の医療機関での実施状況を含め、当該医療技術が極めて先駆的であることについて記入すること(当該医療が先進医療の場合についても記入すること)。

その他の高度医療の種類合計数	0
扱い患者数の合計(人)	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
1	球脊髄性筋萎縮症	6	56	ベーチェット病	76
2	筋萎縮性側索硬化症	48	57	特発性拡張型心筋症	29
3	脊髄性筋萎縮症	7	58	肥大型心筋症	8
4	原発性側索硬化症	2	59	拘束型心筋症	0
5	進行性核上性麻痺	13	60	再生不良性貧血	32
6	パーキンソン病	121	61	自己免疫性溶血性貧血	2
7	大脳皮質基底核変性症	7	62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4
8	ハンテントン病	2	63	特発性血小板減少性紫斑病	36
9	神経有棘赤血球症	0	64	血栓性血小板減少性紫斑病	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	65	原発性免疫不全症候群	44
11	重症筋無力症	78	66	IgA腎症	62
12	先天性筋無力症候群	0	67	多発性嚢胞腎	37
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	119	68	黄色靱帯骨化症	7
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	21	69	後縦靱帯骨化症	40
15	封入体筋炎	10	70	広範脊柱管狭窄症	1
16	クドウ・深瀬症候群	2	71	特発性大腿骨頭壊死症	189
17	多系統萎縮症	19	72	下垂体性ADH分泌異常症	17
18	脊髄小脳変性症(多系統萎縮症を除く。)	64	73	下垂体性TSH分泌亢進症	1
19	ライソゾーム病	5	74	下垂体性PRL分泌亢進症	18
20	副腎白質ジストロフィー	0	75	クッシング病	5
21	ミトコンドリア病	7	76	下垂体性ゴナドトロピン分泌亢進症	0
22	もやもや病	25	77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	13
23	プリオン病	1	78	下垂体前葉機能低下症	143
24	亜急性硬化性全脳炎	0	79	家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1
25	進行性多巣性白質脳症	1	80	甲状腺ホルモン不応症	0
26	HTLV-1関連脊髄症	0	81	先天性副腎皮質酵素欠損症	9
27	特発性基底核石灰化症	2	82	先天性副腎低形成症	0
28	全身性アミロイドーシス	141	83	アジソン病	2
29	ウルリッヒ病	1	84	サルコイドーシス	59
30	遠位型ミオパチー	4	85	特発性間質性肺炎	68
31	ベスレムミオパチー	0	86	肺動脈性肺高血圧症	37
32	自己貪食空胞性ミオパチー	0	87	肺静脈閉塞症／肺毛細血管腫症	0
33	シュワルツ・ヤンベル症候群	0	88	慢性血栓性肺高血圧症	8
34	神経線維腫症	31	89	リンパ管筋腫症	8
35	天疱瘡	20	90	網膜色素変性症	17
36	表皮水疱症	3	91	バッド・キアリ症候群	1
37	膿疱性乾癬(汎発型)	6	92	特発性門脈圧亢進症	3
38	スティーヴンス・ジョンソン症候群	0	93	原発性胆汁性胆管炎 旧病名(原発性胆汁性肝硬変)	68
39	中毒性表皮壊死症	0	94	原発性硬化性胆管炎	17
40	高安動脈炎	20	95	自己免疫性肝炎	24
41	巨細胞性動脈炎	8	96	クローン病	411
42	結節性多発動脈炎	11	97	潰瘍性大腸炎	536
43	顕微鏡的多発血管炎	30	98	好酸球性消化管疾患	12
44	多発血管炎性肉芽腫症	19	99	慢性特発性偽性腸閉塞症	1
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	28	100	巨大膀胱短小結腸腸管蠕動不全症	0
46	悪性関節リウマチ	2	101	腸管神経節細胞減少症	0
47	パージャール病	24	102	ルビンシュタイン・テイビ症候群	0
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	8	103	CFC症候群	0
49	全身性エリテマトーデス	246	104	コステロ症候群	0
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	111	105	チャージ症候群	1
51	全身性強皮症	97	106	クリオピリン関連周期熱症候群	1
52	混合性結合組織病	27	107	若年性特発性関節炎 旧病名(全身型若年性特発性関節炎)	13
53	シェーグレン症候群	51	108	TNF受容体関連周期性症候群	0
54	成人スチル病	9	109	非典型溶血性尿毒症症候群	3
55	再発性多発軟骨炎	8	110	フラウ症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
111	先天性ミオパチー	0	161	家族性良性慢性天疱瘡	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	0	162	類天疱瘡(後天性表皮水疱症を含む。)	13
113	筋ジストロフィー	34	163	特発性後天性全身性無汗症	12
114	非ジストロフィー性ミオトニー症候群	0	164	眼皮膚白皮症	1
115	遺伝性周期性四肢麻痺	4	165	肥厚性皮膚骨膜炎	0
116	アトピー性脊髄炎	0	166	弾性線維性仮性黄色腫	3
117	脊髄空洞症	0	167	マルファン症候群	8
118	脊髄髄膜瘤	3	168	エーラス・ダンロス症候群	3
119	アイザックス症候群	2	169	メンケス病	0
120	遺伝性ジストニア	0	170	オクシピタル・ホーン症候群	0
121	神経フェリチン症	0	171	ウィルソン病	6
122	脳表ヘモジドリン沈着症	0	172	低ホスファターゼ症	2
123	禿頭と変形性脊椎症を伴う常染色体劣性白質脳症	0	173	VATER症候群	0
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	174	那須・ハコラ病	0
125	神経軸索スフェロイド形成を伴う遺伝性びまん性白質脳症	0	175	ウィーバー症候群	0
126	ペリー症候群	0	176	コフィン・ローリー症候群	0
127	前頭側頭葉変性症	1	177	ジュベール症候群関連疾患 旧病名(有馬症候群)	0
128	ピッカーstaff脳幹脳炎	0	178	モワット・ウィルソン症候群	0
129	痙攣重積型(二相性)急性脳症	0	179	ウィリアムズ症候群	0
130	先天性無痛無汗症	1	180	ATR-X症候群	0
131	アレキサンダー病	0	181	クルーゾン症候群	0
132	先天性核上性球麻痺	0	182	アペール症候群	0
133	メビウス症候群	0	183	ファイファー症候群	0
134	中隔視神経形成異常症/ドモルシア症候群	0	184	アントレー・ピクスラー症候群	0
135	アイカルディ症候群	0	185	コフィン・シリス症候群	0
136	片側巨脳症	0	186	ロスマンド・トムソン症候群	0
137	限局性皮質異形成	0	187	歌舞伎症候群	0
138	神経細胞移動異常症	0	188	多脾症候群	0
139	先天性大脳白質形成不全症	0	189	無脾症候群	0
140	ドラベ症候群	0	190	鰓耳腎症候群	0
141	海馬硬化を伴う内側側頭葉てんかん	0	191	ウェルナー症候群	1
142	ミオクロニー欠神てんかん	0	192	コケイン症候群	0
143	ミオクロニー脱力発作を伴うてんかん	0	193	ブラダー・ウィリ症候群	0
144	レノックス・ガストー症候群	1	194	ソス症候群	1
145	ウエスト症候群	1	195	ヌーナン症候群	0
146	大田原症候群	0	196	ヤング・シンブソン症候群	0
147	早期ミオクロニー脳症	1	197	1p36欠失症候群	0
148	遊走性焦点発作を伴う乳児てんかん	0	198	4p欠失症候群	0
149	片側痙攣・片麻痺・てんかん症候群	0	199	5p欠失症候群	0
150	環状20番染色体症候群	0	200	第14番染色体父親性ダイソミー症候群	0
151	ラスムッセン脳炎	0	201	アンジェルマン症候群	1
152	PCDH19関連症候群	0	202	スミス・マジニス症候群	0
153	難治頻回部分発作重積型急性脳炎	0	203	22q11.2欠失症候群	0
154	徐波睡眠期持続性棘徐波を示すてんかん性脳症	0	204	エマヌエル症候群	0
155	ランドウ・クレフナー症候群	0	205	脆弱X症候群関連疾患	0
156	レット症候群	0	206	脆弱X症候群	0
157	スタージ・ウェーバー症候群	0	207	総動脈幹遺残症	0
158	結節性硬化症	11	208	修正大血管転位症	0
159	色素性乾皮症	0	209	完全大血管転位症	0
160	先天性魚鱗癬	0	210	単心室症	0

4 指定難病についての診療

	疾患名	患者数		疾患名	患者数
211	左心低形成症候群	0	261	タンジール病	0
212	三尖弁閉鎖症	0	262	原発性高カイロミクロン血症	0
213	心室中隔欠損を伴わない肺動脈閉鎖症	0	263	脳腫黄色腫症	2
214	心室中隔欠損を伴う肺動脈閉鎖症	0	264	無βリポタンパク血症	0
215	ファロー四徴症	0	265	脂肪萎縮症	0
216	両大血管右室起始症	0	266	家族性地中海熱	2
217	エプスタイン病	0	267	高IgD症候群	0
218	アルポート症候群	0	268	中條・西村症候群	0
219	ギャロウエイ・モワト症候群	0	269	化膿性無菌性関節炎・壊疽性膿皮症・アクネ症候群	0
220	急速進行性糸球体腎炎	6	270	慢性再発性多発性骨髄炎	3
221	抗糸球体基底膜腎炎	0	271	強直性脊椎炎	22
222	一次性ネフローゼ症候群	45	272	進行性骨化性線維異形成症	0
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	2	273	肋骨異常を伴う先天性側弯症	0
224	紫斑病性腎炎	5	274	骨形成不全症	1
225	先天性腎性尿崩症	0	275	タナトフォリック骨異形成症	0
226	間質性膀胱炎(ハンナ型)	0	276	軟骨無形成症	1
227	オスラー病	8	277	リンパ管腫症/ゴーハム病	0
228	閉塞性細気管支炎	0	278	巨大リンパ管奇形(頸部顔面病変)	0
229	肺胞蛋白症(自己免疫性又は先天性)	2	279	巨大静脈奇形(頸部口腔咽頭びまん性病変)	1
230	肺胞低換気症候群	0	280	巨大動静脈奇形(頸部顔面又は四肢病変)	4
231	α1-アンチトリプシン欠乏症	0	281	クリッペル・トレノネー・ウェーバー症候群	4
232	カーニー複合	1	282	先天性赤血球形成異常性貧血	0
233	ウォルフラム症候群	0	283	後天性赤芽球癆	0
234	ペルオキシソーム病(副腎白質ジストロフィーを除く。)	0	284	ダイヤモンド・ブラックファン貧血	0
235	副甲状腺機能低下症	1	285	ファンconi貧血	0
236	偽性副甲状腺機能低下症	0	286	遺伝性鉄芽球性貧血	0
237	副腎皮質刺激ホルモン不応症	1	287	エプスタイン症候群	0
238	ビタミンD抵抗性くる病/骨軟化症	2	288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症	10
239	ビタミンD依存性くる病/骨軟化症	0	289	クロンカイト・カナダ症候群	1
240	フェニルケトン尿症	3	290	非特異性多発性小腸潰瘍症	0
241	高チロシン血症1型	0	291	ヒルシュスブルグ病(全結腸型又は小腸)	0
242	高チロシン血症2型	0	292	総排泄腔外反症	0
243	高チロシン血症3型	0	293	総排泄腔遺残	0
244	メーブルシロップ尿症	0	294	先天性横隔膜ヘルニア	0
245	プロピオン酸血症	1	295	乳幼児肝巨大血管腫	0
246	メチルマロン酸血症	1	296	胆道閉鎖症	4
247	イソ吉草酸血症	0	297	アラジール症候群	0
248	グルコーストランスポーター1欠損症	0	298	遺伝性膀胱炎	0
249	グルタル酸血症1型	0	299	嚢胞性線維症	0
250	グルタル酸血症2型	0	300	IgG4関連疾患	34
251	尿素サイクル異常症	4	301	黄斑ジストロフィー	1
252	リジン尿性蛋白不耐症	0	302	レーベル遺伝性視神経症	2
253	先天性葉酸吸収不全	0	303	アッシャー症候群	1
254	ポルフィリン症	4	304	若年発症型両側性感音難聴	0
255	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	305	遅発性内リンパ水腫	0
256	筋型糖原病	1	306	好酸球性副鼻腔炎	99
257	肝型糖原病	2	307	カナパン病	0
258	ガラクトース-1-リン酸ウリジルトランスフェラーゼ欠損症	0	308	進行性白質脳症	0
259	レシチンコレステロールアシルトランスフェラーゼ欠損症	0	309	進行性ミオクローヌスてんかん	0
260	シトステロール血症	0	310	先天異常症候群	0

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

4 指定難病についての診療

311	先天性三尖弁狭窄症	0	328	前眼部形成異常	0
312	先天性僧帽弁狭窄症	0	329	無虹彩症	2
313	先天性肺静脈狭窄症	0	330	先天性気管狭窄症／先天性声門下狭窄症 旧病名(先天性気管狭窄症)	0
314	左肺動脈右肺動脈起始症	0	331	特発性多中心性キャッスルマン病	7
315	ネイルパテラ症候群(爪膝蓋骨症候群)／L MX1B関連腎症	0	332	膠様滴状角膜ジストロフィー	0
316	カルニチン回路異常症	0	333	ハッチンソン・ギルフォード症候群	0
317	三頭酵素欠損症	1	334	脳クレアチン欠乏症候群	0
318	シトリン欠損症	2	335	ネフロン癆	0
319	セピアプテリン還元酵素(SR)欠損症	0	336	家族性低βリポタンパク血症1 (ホモ接合体)	0
320	先天性グリコシルホスファチジルイノシトール(GPI)欠損症	0	337	ホモシスチン尿症	0
321	非ケトーシス型高グリシン血症	0	338	進行性家族性肝内胆汁うっ滞症	0
322	β-ケトチオラーゼ欠損症	0	339	MECP2重複症候群	0
323	芳香族L-アミノ酸脱炭酸酵素欠損症	0	340	線毛機能不全症候群(カルタゲナー症候群を含む。)	1
324	メチルグルタコン酸尿症	0	341	TRPV4異常症	0
325	遺伝性自己炎症疾患	0			
326	大理石骨病	0			
327	特発性血栓症(遺伝性血栓性素因によるものに限る。)	5			

(注)「患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

疾患数	151
合計患者数(人)	3945

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

5 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(基本診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・情報通信機器を用いた診療に係る基準	・感染対策向上加算1
・医療DX推進体制整備加算	・患者サポート体制充実加算
・地域歯科診療支援病院歯科初診料	・重症患者初期支援充実加算
・歯科外来診療医療安全対策加算2	・報告書管理体制加算
・歯科外来診療感染対策加算4	・褥瘡ハイリスク患者ケア加算
・歯科診療特別対応連携加算	・ハイリスク妊娠管理加算
・特定機能病院入院基本料	・ハイリスク分娩管理加算
・救急医療管理加算	・呼吸ケアチーム加算
・超急性期脳卒中加算	・術後疼痛管理チーム加算
・診療録管理体制加算1	・後発医薬品使用体制加算1
・医師事務作業補助体制加算1	・病棟薬剤業務実施加算1
・急性期看護補助体制加算	・病棟薬剤業務実施加算2
・看護職員夜間配置加算	・データ提出加算
・療養環境加算	・入退院支援加算
・重症者等療養環境特別加算	・認知症ケア加算
・無菌治療室管理加算1	・せん妄ハイリスク患者ケア加算
・無菌治療室管理加算2	・精神疾患診療体制加算
・放射線治療病室管理加算(治療用放射性同位元素による場合)	・精神科急性期医師配置加算
・放射線治療病室管理加算(密封小線源による場合)	・排尿自立支援加算
・緩和ケア診療加算	・地域医療体制確保加算
・小児緩和ケア診療加算	・救命救急入院料3
・精神科身体合併症管理加算	・特定集中治療室管理料2
・精神科リエゾンチーム加算	・特定集中治療室管理料3
・摂食障害入院医療管理加算	・ハイケアユニット入院医療管理料1
・栄養サポートチーム加算	・新生児特定集中治療室管理料2
・医療安全対策加算1	・小児入院医療管理料2
・短期滞在手術等基本料1	・ウイルス疾患指導料

(様式第2)

高度の医療の提供の実績

6 届出が受理されている診療報酬制度における施設基準等(特掲診療料)

施設基準の種類	施設基準の種類
・外来栄養食事指導料の注2に規定する基準	・ハイリスク妊産婦連携指導料1
・外来栄養食事指導料の注3に規定する基準	・こころの連携指導料(Ⅱ)
・心臓ペースメーカー指導管理料の注5に規定する遠隔モニタリング加算	・薬剤管理指導料
・糖尿病合併症管理料	・地域連携診療計画加算
・がん性疼痛緩和指導管理料	・医療機器安全管理料1
・がん患者指導管理料イ	・医療機器安全管理料2
・がん患者指導管理料ロ	・医療機器安全管理料(歯科)
・がん患者指導管理料ハ	・精神科退院時共同指導料1及び2
・がん患者指導管理料ニ	・歯科治療時医療管理料
・外来緩和ケア管理料	・救急搬送診療料の注4に規定する重症患者搬送加算
・移植後患者指導管理料(臓器移植後)	・在宅血液透析指導管理料
・移植後患者指導管理料(造血幹細胞移植後)	・在宅持続陽圧呼吸療法指導管理料の注2に規定する遠隔モニタリング加算
・糖尿病透析予防指導管理料	・在宅植込型補助人工心臓(非拍動流型)指導管理料
・小児運動器疾患指導管理料	・在宅腫瘍治療電場療法指導管理料
・乳腺炎重症化予防ケア・指導料	・在宅経肛門的自己洗腸指導管理料
・婦人科特定疾患治療管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・腎代替療法指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動する持続血糖測定器を用いる場合)及び皮下連続式グルコース測定
・慢性腎臓病透析予防指導管理料	・持続血糖測定器加算(間歇注入シリンジポンプと連動しない持続血糖測定器を用いる場合)
・院内トリアージ実施料	・遺伝学的検査の注1に規定する施設基準
・外来放射線照射診療料	・遺伝学的検査の注2に規定する施設基準
・外来腫瘍化学療法診療料1	・染色体検査の注2に規定する基準
・連携充実加算	・骨髄微小残存病変量測定
・外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算	・BRCA1/2遺伝子検査
・療養・就労両立支援指導料の注3に規定する相談支援加算	・がんゲノムプロファイリング検査
・ハイリスク妊産婦共同管理料(Ⅰ)	・角膜ジストロフィー遺伝子検査
・がん治療連携計画策定料	・先天性代謝異常症検査
・外来排尿自立指導料	・抗アデノ随伴ウイルス9型(AAV9)抗体

施設基準の種類	施設基準の種類
・抗HLA抗体(スクリーニング検査)及び抗HLA抗体(抗体特異性同定検査)	・CT透視下気管支鏡検査加算
・HPV核酸検出及びHPV核酸検出(簡易ジェノタイプ判定)	・経気管支凍結生検法
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(SARS-CoV-2核酸検出を含まないもの)	・口腔細菌定量検査
・ウイルス・細菌核酸多項目同時検出(髄液)	・有床義歯咀嚼機能検査1のイ
・検体検査管理加算(IV)	・有床義歯咀嚼機能検査1のロ及び咀嚼能力検査
・国際標準検査管理加算	・有床義歯咀嚼機能検査2のロ及び咬合圧検査
・遺伝カウンセリング加算	・精密触覚機能検査
・遺伝性腫瘍カウンセリング加算	・睡眠時歯科筋電図検査
・心臓カテーテル法による諸検査の血管内視鏡検査加算	・画像診断管理加算4
・時間内歩行試験及びシャトルウォーキングテスト	・歯科画像診断管理加算1
・胎児心エコー法	・歯科画像診断管理加算2
・ヘッドアップティルト試験	・ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)
・長期継続頭蓋内脳波検査	・ポジトロン断層撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
・長期脳波ビデオ同時記録検査1	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合を除く。)
・単線維筋電図	・ポジトロン断層・コンピューター断層複合撮影(アミロイドPETイメージング剤を用いた場合に限る。)
・脳磁図(自発活動を測定するもの)	・CT撮影及びMRI撮影
・脳磁図(その他のもの)	・冠動脈CT撮影加算
・脳波検査判断料1	・血流予備量比コンピューター断層撮影
・遠隔脳波診断	・外傷全身CT加算
・神経学的検査	・心臓MRI撮影加算
・補聴器適合検査	・乳房MRI撮影加算
・ロービジョン検査判断料	・小児鎮静下MRI撮影加算
・小児食物アレルギー負荷検査	・頭部MRI撮影加算
・内服・点滴誘発試験	・全身MRI撮影加算
・経頸静脈的肝生検	・肝エラストグラフィ加算
・前立腺針生検法(MRI撮影及び超音波検査融合画像によるもの)	・抗悪性腫瘍剤処方管理加算
施設基準の種類	施設基準の種類

・外来化学療法加算1	・磁気による膀胱等刺激法
・無菌製剤処理料	・歩行運動処置(ロボットスーツによるもの)
・心大血管疾患リハビリテーション料(Ⅰ)	・手術用顕微鏡加算
・脳血管疾患等リハビリテーション料(Ⅰ)	・口腔粘膜処置
・運動器リハビリテーション料(Ⅰ)	・う蝕歯無痛的窩洞形成加算
・呼吸器リハビリテーション料(Ⅰ)	・歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算
・摂食機能療法の注3に規定する摂食嚥下機能回復体制加算2	・歯科技工士連携加算2
・がん患者リハビリテーション料	・光学印象
・リンパ浮腫複合的治療料	・CAD/CAM冠及びCAD/CAMインレー
・歯科口腔リハビリテーション料2	・歯科技工加算1及び2
・通院・在宅精神療法の注8に規定する療養生活継続支援加算	・皮膚悪性腫瘍センチネルリンパ節生検加算
・認知療法・認知行動療法1	・皮膚移植術(死体)
・精神科作業療法	・組織拡張器による再建手術(乳房(再建手術)の場合に限る。)
・医療保護入院等診療料	・四肢・躯幹軟部悪性腫瘍手術及び骨悪性腫瘍手術の注に掲げる処理骨再建加算
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1	・骨移植術(軟骨移植術を含む。)(自家培養軟骨移植術に限る。)
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1	・人工股関節置換術(手術支援装置を用いるもの)
・医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1	・後縦靭帯骨化症手術(前方進入によるもの)
・多血小板血漿処置	・椎間板内酵素注入療法
・硬膜外自家血注入	・緊急穿頭血腫除去術
・エタノールの局所注入(甲状腺)	・脳腫瘍覚醒下マッピング加算
・エタノールの局所注入(副甲状腺)	・原発性悪性脳腫瘍光線力学療法加算
・導入期加算3及び腎代替療法実績加算	・内視鏡下脳腫瘍生検術及び内視鏡下脳腫瘍摘出術
・透析液水質確保加算及び慢性維持透析濾過加算	・脳刺激装置植込術及び脳刺激装置交換術
・難治性高コレステロール血症に伴う重度尿蛋白を呈する糖尿病性腎症に対するLDLアフェレシス療法	・脊髄刺激装置植込術及び脊髄刺激装置交換術
・移植後抗体関連型拒絶反応治療における血漿交換療法	・頭蓋内電極植込術(脳深部電極によるもの(7本以上の電極による場合)に限る。)
・ストーマ合併症加算	・癒着性脊髄くも膜炎手術(脊髄くも膜剥離操作を行うもの)

施設基準の種類	施設基準の種類
・仙骨神経刺激装置植込術及び仙骨神経刺激装置交換術(便失禁)	・乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・角結膜悪性腫瘍切除術	・乳癌センチネルリンパ節生検加算1及びセンチネルリンパ節生検(併用)
・角膜移植術(内皮移植加算)	・乳腺悪性腫瘍手術(乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴わないもの)及び乳輪温存乳房切除術(腋窩郭清を伴うもの))
・羊膜移植術	・ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)
・緑内障手術(緑内障治療用インプラント挿入術(プレートのあるもの))	・乳腺悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
・緑内障手術(緑内障手術(流出路再建術(眼内法)及び水晶体再建術併用眼内ドレーン挿入術))	・胸腔鏡下拡大胸腺摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・緑内障手術(濾過胞再建術(needle法))	・胸腔鏡下縦隔悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・網膜付着組織を含む硝子体切除術(眼内内視鏡を用いるもの)	・胸腔鏡下良性縦隔腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・網膜再建術	・気管支バルブ留置術
・経外耳道的内視鏡下鼓室形成術	・胸腔鏡下肺切除術(区域切除及び肺葉切除術又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・人工中耳植込術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(区域切除で内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・植込型骨導補聴器(直接振動型)植込術、人工内耳植込術、植込型骨導補聴器移植術及び植込型骨導補聴器交換術	・肺悪性腫瘍手術(壁側・臓側胸膜全切除(横隔膜、心膜合併切除を伴うもの)に限る。)
・耳管用補綴材挿入術	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(肺葉切除又は1肺葉を超えるもので内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型(拡大副鼻腔手術)及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術(頭蓋底郭清、再建を伴うものに限る。)	・胸腔鏡下肺悪性腫瘍手術(気管支形成を伴う肺切除)
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)	・肺悪性腫瘍及び胸腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法
・鏡視下咽頭悪性腫瘍手術(軟口蓋悪性腫瘍手術を含む。)(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び鏡視下喉頭悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・胸腔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内喉頭筋内注入術(ボツリヌス毒素によるもの)	・縦隔鏡下食道悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・鏡視下喉頭悪性腫瘍手術	・食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、等
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)	・経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)
・上顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)、下顎骨形成術(骨移動を伴う場合に限る。)(歯科)	・胸腔鏡下弁形成術
・顎関節人工関節全置換術(歯科)	・胸腔鏡下弁置換術
・内視鏡下甲状腺部分切除、腺腫摘出術、内視鏡下パセドウ甲状腺全摘(亜全摘)術(両葉)、内視鏡下副甲状腺(上皮小体)腺腫過形成手術	・経カテーテル弁置換術(経心尖大動脈弁置換術及び経皮的大動脈弁置換術)
・内視鏡下甲状腺悪性腫瘍手術	・経皮的僧帽弁クリップ術
・乳腺腫瘍画像ガイド下吸引術(一連につき)(MRIによるもの)	・不整脈手術左心耳閉鎖術(胸腔鏡下によるもの)
・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法	・不整脈手術左心耳閉鎖術(経カテーテル的手術によるもの)
・頭頸部悪性腫瘍光線力学療法(歯科)	・経皮的中隔心筋焼灼術

施設基準の種類	施設基準の種類
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術	・腹腔鏡下肝切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)	・移植用部分肝採取術(生体)(腹腔鏡によるもの)
・両心室ペースメーカー移植術(心筋電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(心筋電極の場合)	・生体部分肝移植術
・両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)	・同種死体肝移植術
・植込型除細動器移植術(心筋リードを用いるもの)及び植込型除細動器交換術(心筋リードを用いるもの)	・体外衝撃波硝石破碎術
・植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極除去術	・腹腔鏡下腓腫瘍摘出術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(心筋電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(心筋電極の場合)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術
・両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)	・腹腔鏡下腓体尾部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・大動脈バルーンパンピング法(IABP法)	・腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術
・経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)	・腹腔鏡下腓頭部腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・補助人工心臓	・同種死体腓移植術、同種死体腓腎移植術
・経皮的下肢動脈形成術	・早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(後腹膜)	・腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下リンパ節群郭清術(側方)	・腹腔鏡下副腎摘出術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下副腎髓質腫瘍摘出術(褐色細胞腫)(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・骨盤内悪性腫瘍及び腹腔内軟部腫瘍ラジオ波焼灼療法	・腹腔鏡下直腸切除・切断術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・内視鏡的逆流防止粘膜切除術	・副腎腫瘍ラジオ波焼灼療法
・腹腔鏡下十二指腸局所切除術(内視鏡処置を併施するもの)	・体外衝撃波腎・尿管結石破碎術
・腹腔鏡下胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)
・腹腔鏡下噴門側胃切除術(単純切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下噴門側胃切除術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・腎悪性腫瘍ラジオ波焼灼療法
・腹腔鏡下胃全摘術(単純全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)及び腹腔鏡下胃全摘術(悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの))	・腹腔鏡下腎盂形成手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・腹腔鏡下胃縮小術	・同種死体腎移植術
・バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術	・生体腎移植術
・腹腔鏡下胆嚢悪性腫瘍手術(胆嚢床切除を伴うもの)	・膀胱水圧拡張術及びハンナ型間質性膀胱炎手術(経尿道)
・胆管悪性腫瘍手術(膵頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る。)	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)
・体外衝撃波胆石破碎術	・腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術
・腹腔鏡下肝切除術	・尿道狭窄グラフト再建術
施設基準の種類	施設基準の種類

・人工尿道括約筋植込・置換術	・広範囲顎骨支持型装置埋入手術
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術	・歯根端切除手術の注3
・腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術(内視鏡手術用支援機器を用いるもの)	・レーザー機器加算
・女子外性器悪性腫瘍手術センチネルリンパ節生検加算	・麻酔管理料(Ⅰ)
・腹腔鏡下仙骨腔固定術	・麻酔管理料(Ⅱ)
・腹腔鏡下仙骨腔固定術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・周術期薬剤管理加算
・腹腔鏡下腔式子宮全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・歯科麻酔管理料
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに対して内視鏡手術用支援機器を用いる場合)	・放射線治療専任加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)	・外来放射線治療加算
・腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮頸がんに限る。)	・高エネルギー放射線治療
・腹腔鏡下子宮癒痕部修復術	・強度変調放射線治療(IMRT)
・体外式膜型人工肺管理料	・画像誘導放射線治療(IGRT)
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1	・体外照射呼吸性移動対策加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1	・定位放射線治療
・医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1	・定位放射線治療呼吸性移動対策加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	・画像誘導密封小線源治療加算
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する乳房切除術に限る。)	・病理診断管理加算1
・医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術(遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮附属器腫瘍摘出術)	・悪性腫瘍病理組織標本加算
・輸血管理料Ⅰ	・口腔病理診断管理加算1
・コーディネート体制充実加算	・クラウン・ブリッジ維持管理料
・自己クリオプレシピテート作製術(用手法)	・歯科矯正診断料
・同種クリオプレシピテート作製術	・顎口腔機能診断料(顎変形症(顎離断等の手術を必要とするものに限る。))の手術前後における歯科矯正に係るもの)
・人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	・看護職員処遇改善評価料59
・胃瘻造設時嚥下機能評価加算	・外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
・歯周組織再生誘導手術	・歯科外来・在宅ベースアップ評価料(Ⅰ)
・手術時歯根面レーザー応用加算	・入院ベースアップ評価料83

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
「糖尿病患者のインスリン投与量を予測する人工知能(AI)の開発・事業化」にかかる研究開発の一部	平田 泰三	広島臨床研究開発支援センター	7,150,000	委 株式会社レナサイエンス
「半月板根治を目指す革新的治療技術の開発及び事業化」における製品開発・製品化開発	安達 伸生	整形外科	5,720,000	委 三洋化成工業株式会社
①難病ネットワーク構築に関する研究事業②小児難病ネットワーク構築に関する研究事業	岡田 賢	小児科	16,345,000	委 広島県
cT1-4aN0-3胃癌におけるロボット支援下胃切除術の腹腔鏡下胃切除術に対する優越性を検証するランダム化比較試験	田邊 和照	消化器外科	130,000	委 静岡県立静岡がんセンター
C型肝炎治療後の長期予後を規定する因子の解析とその対策に関する研究	大段 秀樹	移植外科	2,990,000	委 一般財団法人広島生命科学研究所
HBs抗原の消失を目指した免疫治療の開発と免疫機序の解析	柘植 雅貴	肝疾患センター	2,080,000	委 国立大学法人愛媛大学
JCOG2111A根治的治療可能な非小細胞肺癌を対象としたMinimal Residual Diseaseの検出と予後を評価する前向き観察研究	益田 武	呼吸器内科	650,000	委 国立研究開発法人国立がん研究センター
MET阻害剤に獲得耐性を示したMET遺伝子変異陽性進行非小細胞肺癌に対するカボザンチニブの第2相試験	益田 武	呼吸器内科	1,300,000	委 公立大学法人奈良県立医科大学
RSウイルス感染症サーベイランスシステムの整備・流行動態解明および病態形成・重症化因子の解明に関する開発研究	岡田 賢	小児科	1,950,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
インターフェロンフリー治療がC型肝炎変患者の予後を含めたアウトカムに与える影響を明らかにする研究	三木 大樹	消化器内科	1,040,000	委 国立大学法人大阪大学
バイオ 3D プリンタで作製した三次元移植組織を用いる革新的歯周組織再生療法の開発	加治屋 幹人	口腔検査センター	60,255,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
バイオ医薬品の研究開発を加速するための包括的支援	石橋 正	広島臨床研究開発支援センター	19,500,000	委 国立大学法人東北大学
ビフィズス菌を利用した経口がんワクチンによる進行性尿路上皮癌を対象とした医師主導治験	日向 信之	泌尿器科	2,600,000	委 国立大学法人神戸大学
ピロリ菌除菌後健康人を対象とした世界初エビゲノム発がんリスク診断の実用化	岡 志郎	消化器内科	1,690,000	委 学校法人星薬科大学
メカノバイオロジーから迫る骨細胞老化機構とその病態生理学的意義の解明	吉本 哲也	口腔検査センター	9,230,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
ロングリードシーケンスを用いた先天性免疫異常症診断	岡田 賢	小児科	1,300,000	委 国立大学法人東京医科歯科大学
移植免疫寛容を誘導する再生医療等製品「誘導型抑制性T細胞」の医師主導治験と承認申請に向けた取り組み	大段 秀樹	移植外科	1,950,000	委 学校法人順天堂
遺伝性免疫異常症に対する新規遺伝子修正治療の研究開発	岡田 賢	小児科	6,500,000	委 国立大学法人東京医科歯科大学
一側性聴覚障害の評価手法の標準化と社会参加を促進する手法に関する研究開発	石野 岳志	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	650,000	委 国立大学法人東海国立大学機構
可及的摘出術が行われた初発膠芽腫に対するカルムスチン脳内留置剤を用いた標準治療確立に関する研究	山崎 文之	脳神経外科	390,000	委 学校法人北里研究所
改良型CRISISを用いたCOVID-19患者の臨床エビデンス構築と診療・医療機器開発支援	志馬 伸朗	救急集中治療科	34,580,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
乾燥ろ紙血プロテオーム解析を用いた原発性免疫不全症診断の効率化研究	岡田 賢	小児科	780,000	委 国立大学法人京都大学
肝移植患者の免疫抑制剤を最低用量化する個別化医療の実現にむけた新規制御性T細胞製剤開発研究	大段 秀樹	移植外科	6,500,000	委 学校法人順天堂
肝疾患の課題解決にむけたゲノム情報の活用	大野 敦司	消化器内科	50,874,720	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
鏡視下手術に使用する生体吸収性結紮クリップの研究開発	日向 信之	泌尿器科	1,000,000	委 公益財団法人中国地域創造研究センター
筋強直性ジストロフィーの自然歴とバイオマーカー研究－国際協調と先天性を含めた全年齢化	伊藤 英樹	医療安全管理部	325,000	委 国立大学法人大阪大学

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
血液透析治療での最適な除水計画を支援するプログラム医療機器(人工知能)の開発	平田 泰三	広島臨床研究開発支援センター	9,100,000	委 国立大学法人東北大学
原発性免疫異常症患者を対象としたシロリムスの有効性及び安全性を検討する医師主導治験	岡田 賢	小児科	3,224,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
原発性免疫不全症の診断率向上に向けたCD45陽性細胞を用いたマルチオミックス解析の開発	岡田 賢	小児科	12,220,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
広島地域、モニターの立場からの調査・検討、実施	田村 奈津子	広島臨床研究開発支援センター	1,170,000	委 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
高齢者切除不能局所進行非小細胞肺癌に対する化学放射線療法のランダム化比較第Ⅲ相試験	益田 武	呼吸器内科	650,000	委 静岡県立静岡がんセンター
国内流行HIV及びその薬剤耐性株の長期的動向把握に関する研究	藤井 輝久	輸血部	585,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
三叉神経痛に対するカルバマゼピン併用の五苓散の有効性・安全性を評価するプラセボ対照ランダム化比較第Ⅱ相医師主導治験	小川 恵子	漢方診療センター	54,901,854	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
治療効果判定および再発診断法の標準化を目指した研究	上田 勉	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	390,000	委 国立大学法人北海道大学
人工知能技術と脳科学の精神疾患診断治療への応用	岡田 剛	精神科	33,000,000	委 株式会社XNef
生成/敵対AI・デジタル脳に基づく脳回路バイオマーカーとニューロフィードバック治療に関する研究開発	岡田 剛	精神科	13,000,000	委 株式会社国際電気通信基礎技術研究所
前眼部疾患AI診断支援システムに関する研究開発	近間 泰一郎	眼科	286,000	委 国立大学法人筑波大学
組織球症に続発する中枢神経変性症の診断・治療エビデンスの創出	岡田 賢	小児科	195,000	委 国立研究開発法人国立成育医療研究センター
早期非小細胞肺癌に対する体幹部定位放射線治療線量増加ランダム化比較試験	村上 祐司	放射線治療科	19,500,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
代謝関連脂肪性肝疾患および肝がんの病態解明に関する研究	村上 英介	消化器内科	650,000	委 国立大学法人東京大学
中国・四国ブロックエイズ医療システム構築に関する調査研究	藤井 輝久	輸血部	21,450,000	委 広島県
中国・四国ブロックエイズ歯科医療システム構築に関する調査研究	柴 秀樹	歯科保存診療科	3,000,000	委 広島県
低酸素環境応答性ドキシソルビシンプロドラッグを用いた骨・軟部悪性腫瘍(肉腫)への治療開発	古田 太輔	整形外科	2,250,000	委 国立大学法人筑波大学
特発性肺線維症(IPF)合併臨床病期I期非小細胞肺癌に対する肺縮小手術に関するランダム化比較第Ⅲ相試験	岡田 守人	呼吸器外科	19,500,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
日本循環器研究コンソーシアムによる難治性心血管疾患のエビデンス創出	中野 由紀子	循環器内科	260,000	委 学校法人国際医療福祉大学
分化制御NK細胞を用いた免疫療法による新規肝炎/肝癌治療の開発研究	大段 秀樹	移植外科	35,900,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
兵庫県における医療ビッグデータと法医学データを組み合わせたコホートデータベースを用いたリアルワールドデータによる自殺リスクの検討	宮森 大輔	総合内科・総合診療科	3,510,000	委 一般社団法人いのち支える自殺対策推進センター
未診断疾患に対する診断プログラムの開発と整備	岡田 賢	小児科	5,200,000	委 国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センター
免疫チェックポイント阻害薬により誘発されたirAE大腸炎に対するメサラジンの有効性および安全性を評価するランダム化プラセボ対照二重網羅的ゲノム解析のデータ二次利用に基づく原発性免疫不全症の広域診断体制の構築に直結するエビデンス創出研究	山下 賢	内視鏡診療科	5,200,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
網羅的ゲノム解析のデータ二次利用に基づく原発性免疫不全症の広域診断体制の構築に直結するエビデンス創出研究	岡田 賢	小児科	31,200,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
薬剤性間質性肺炎および重症薬疹の新規診断バイオマーカーの適格性確認に関する研究	服部 登	呼吸器内科	3,900,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構
薬事承認を目指した医療機器開発のRBA実装と特定臨床研究における品質管理汎用性ツールの開発	田村 奈津子	広島臨床研究開発支援センター	390,000	委 国立大学法人筑波大学
薬物療法により臨床的完全奏効が得られたHER2陽性原発乳癌に対する非切除療法の有効性に関する単群検証的試験	重松 英朗	乳腺外科	260,000	委 群馬県立がんセンター
抑うつ症状と認知機能障害が生じる皮質-皮質下脳ダイナミクスのヒト多次元縦断データを用いた解明と豊長類モデルでの検証	岡田 剛	精神科	52,000,000	委 国立研究開発法人日本医療研究開発機構

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
臨床病期I/II期非小細胞肺癌におけるリンパ節郭清の縮小化の治療的意義を検証するランダム化比較試験	岡田 守人	呼吸器外科	3,900,000	委	国立研究開発法人 日本医療研究開発機構
21トリソミー臍帯由来間葉系幹細胞を用いた新生児慢性肺炎患に対する細胞療法の検討	早川 誠一	周産母子センター	800,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Adaptive platform trialを用いた臨床研究基盤構築によるARDSの人工呼吸戦略の検討	大下 慎一郎	救急集中治療科	10,000	補	文部科学省科学研究費補助金
AIによる対話技術を活用した模擬患者アバターでの仮想空間医療面接教育基盤の創生	蓮沼 直子	皮膚科	312,000	補	文部科学省科学研究費補助金
APOE2がもつ神経保護作用を利用したアルツハイマー病の病態制御	山崎 雄	脳神経内科	4,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ARDSにおける部分的筋弛緩薬による自発呼吸努力の調整を介した肺横隔膜保護戦略	島谷 竜俊	救急集中治療科	400,000	補	文部科学省科学研究費補助金
BCG不応性膀胱癌に対するサイトカイン3種同時産生ウイルス療法の研究	小島 浩平	泌尿器科	1,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
B型肝炎ウイルス増殖制御下における肝発癌メカニズムの解析	柘植 雅貴	肝疾患センター	1,200,000	補	文部科学省科学研究費補助金
CD146陽性乳歯歯髄幹細胞由来エクソソームのホーミング特性の解明と新規再生医療戦略	谷本 幸太郎	矯正歯科	7,500,000	補	文部科学省科学研究費補助金
CD44高発現口腔扁平上皮癌細胞におけるBeclin-1を介した癌幹細胞形質の制御機構の解明	重石 英生	口腔健康科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
COVID-19によるARDS患者における細菌叢の関与と多角的病態解明	京 道人	救急集中治療科	2,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
CTと血液データによる深層学習を用いたアルドステロン症スクリーニングAIアプリの開発	宮本 俊輔	泌尿器科	300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
DNA損傷の新規メモリー効果の分子メカニズムと、個体や特異的組織への影響の解明	本庶 仁子	血液内科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Dual-energy CTの新たな物質識別画像を応用した死後CTの死因診断能向上に関する研究	福本 航	病理診断科	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
FOXP3遺伝子多型変化による同種免疫応答制御の解明と臓器移植後免疫寛容誘導への応用	田中 友加	消化器外科	1,300,000	補	文部科学省科学研究費補助金
HBp17/FGFBPノックアウトによる扁平上皮細胞の分化誘導メカニズムの解明	新谷 智章	口腔検査センター	900,000	補	文部科学省科学研究費補助金
HIF-PHD阻害薬添加培地で培養した間葉系幹細胞の腎線維化抑制効果	石内 直樹	腎臓内科	1,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Hippo経路の破綻が導くがん微小環境の制御機構の解明と革新的な治療法への展開	安藤 俊範	口腔検査センター	6,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
HLAエピトープ多型に基づく同種造血幹細胞移植後の免疫最適化戦略開発	進藤 岳郎	血液内科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
HMGB1-TIM-3相互作用を介した尿路上皮がんの新規複合免疫化学療法の開発	後藤 景介	泌尿器科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
ICUにおけるPCTプロトコルと遺伝子迅速診断プロトコルによる抗菌薬適正使用	志馬 伸朗	救急集中治療科	10,000	補	文部科学省科学研究費補助金
IgE受容体の架橋形成を示す特異IgE抗体の検出に基づく薬剤アレルギー検査法の開発	古賀 祐基	薬剤部	470,000	補	文部科学省科学研究費補助金
IgE受容体架橋検出技術を基盤とした低アレルギー食品評価法の開発	松尾 裕彰	薬剤部	1,700,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Intracycle Powerが大きい吸気パターンは人工呼吸器関連肺傷害を悪化させる	志馬 伸朗	救急集中治療科	100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
Mg欠乏における低K血症発症機序の解明	前岡 侑二郎	腎臓内科	1,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
miR-125bによる骨代謝制御を標的とした新規骨再生療法の検討	伊藤 翔太	矯正歯科	1,100,000	補	文部科学省科学研究費補助金
miRNAを含むMSC-細胞外小胞による腱修復機構を基盤にした新規治療法の開発	安達 伸生	整形外科	5,000,000	補	文部科学省科学研究費補助金
miRNA阻害薬-LNAを搭載した新規骨誘導性遺伝子活性化気質の開発	四道 玲奈	口腔顎顔面再建外科	2,325,973	補	文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
MRIによる肝細胞機能の推定:肝細胞信号の選択的検出法の開発とその臨床応用	中村 優子	放射線診断科	1,300,000	補 文部科学省科学研究費補助金
NAFLD/NASHの病態進展における歯周病関与についての包括的解析	新谷 智章	口腔検査センター	100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
Necroptosisを介したALSの運動神経変性の病態機序と新規治療の探索	丸山 博文	脳神経内科	2,600,000	補 文部科学省科学研究費補助金
NGSを用いたKRAS変異陽性肺癌の耐性獲得機序の解明と併用療法の開発	宮田 義浩	呼吸器外科	700,000	補 文部科学省科学研究費補助金
Pit-NETにおけるsmall RNAを用いた診断バイオマーカーの確立と核酸医薬への応用	木下 康之	脳神経外科	1,000,000	補 文部科学省科学研究費補助金
Platinum TALENを用いた次世代型ゲノム編集T細胞による免疫療法開発の基盤研究	一戸 辰夫	血液内科	1,100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
Porphyromonas gingivalis線毛に着目した脳出血増悪メカニズムの解明	谷口 友梨	歯周診療科	1,800,000	補 文部科学省科学研究費補助金
PTSDの恐怖記憶の消去障害に関与するRNAメチル化機構の障害解明と治療法開発	淵上 学	精神科	100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
Radiomicsを用いた転移性腎癌における適正使用薬剤の検討	岩根 亨輔	泌尿器科	1,200,000	補 文部科学省科学研究費補助金
RANKLを介したTRAIL陽性肝内在性NK細胞脆弱化メカニズムの解明と制御	中野 亮介	消化器外科	800,000	補 文部科学省科学研究費補助金
Samd9を標的とした炎症再生制御による根尖性歯周炎治療法開発に向けた基盤研究	土屋 志津	歯科保存診療科	1,200,000	補 文部科学省科学研究費補助金
Sema3Aによる下顎頭軟骨分化促進機構の解明と下顎後退症新規治療への応用	麻川 由起	矯正歯科	700,000	補 文部科学省科学研究費補助金
SGLT1/2阻害プロファイルに着目した糖尿病薬SGLT阻害剤の抗腫瘍効果の検証	瀧川 英彦	内視鏡診療科	700,000	補 文部科学省科学研究費補助金
SSIサーバイランス、薬剤感受性と医療費を統合した耐性菌と患者予後の関連の研究	繁本 憲文	感染症科	700,000	補 文部科学省科学研究費補助金
STAT1機能獲得症の根源的な分子メカニズムの解明	坂田 園子	小児科	1,900,000	補 文部科学省科学研究費補助金
Tongue-out Radiotherapy: 毒性低減のための新アプローチ	村上 祐司	放射線治療科	1,200,000	補 文部科学省科学研究費補助金
TP53変異乳癌における14-3-3 γ /MDMX結合阻害による浸潤能抑制と新規治療戦略	平岡 恵美子	乳腺外科	1,500,000	補 文部科学省科学研究費補助金
webビデオ会議ツールを用いたCOPD患者に対する看護師の吸入管理教育の効果	田邊 和照	消化器外科	100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
Wnt5a陽性乳癌の薬剤耐性メカニズム解明に基づく、抗Wnt5a抗体複合薬物療法の開発	網岡 愛	乳腺外科	900,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ウイルスに対する易感染性に着目した原発性免疫不全症の病因病態解明	岡田 賢	小児科	4,300,000	補 文部科学省科学研究費補助金
う蝕原性細菌のコラーゲン結合能に着目した低中所得国の全身疾患低減に向けた新戦略	野村 良太	小児歯科	500,000	補 文部科学省科学研究費補助金
エストロゲン-NFATを介した特発性下顎頭吸収の発症機構の解明と治療法の確立	廣瀬 尚人	矯正歯科	600,000	補 文部科学省科学研究費補助金
エピゲノム修飾によるベージュ脂肪細胞の機能維持機構の解明	大野 晴也	内分泌・糖尿病内科	300,000	補 文部科学省科学研究費補助金
オピオイド感受性測定に基づく麻酔管理による術後鎮痛の最適化	中村 隆治	麻酔科	900,000	補 文部科学省科学研究費補助金
オミクス解析に基づくオートファジーを標的とした口腔癌治療の新戦略	野村 良太	小児歯科	100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
カンクイザル間葉系幹細胞を用いた3Dバイオプリンターによる子宮再生医療研究	的場 優介	産科	1,500,000	補 文部科学省科学研究費補助金
がんサバイバーの抑うつ症状とプレゼンティーズム、および認知機能特性との関連の解明	倉田 明子	精神科	1,400,000	補 文部科学省科学研究費補助金
がん微小環境における骨吸収機序:IL-7とRANKLを軸とした解析	相川 友直	口腔顎顔面再建外科	600,000	補 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
くも膜下出血予防のレジストリーコホートと転帰改善のランダム化比較研究	堀江 信貴	脳神経外科	40,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ゲノム・オミックス解析による非肥満および高度肥満合併脂肪性肝疾患の病態解析	三木 大樹	消化器・代謝内科	1,600,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ゲノム情報を基盤とした非肺動脈起源心房細動の病態解明と至適治療法選択への応用	中野 由紀子	循環器内科	600,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ステロイド含漱剤の口腔粘膜炎症予防に関する多機関共同第Ⅲランダム化比較試験	柳本 惣市	顎・口腔外科	30,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ダウン症患者の行動様式と腸内細菌叢との関連およびプロバイオティクスの影響	藤原 里依子	障害者歯科	1,200,000	補 文部科学省科学研究費補助金
チタン製インプラントの生体適合性と周囲骨再生におけるデコリンの役割の解明	神尾 尚伸	歯科麻酔科	500,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ディープラーニングによる小児歯科診断支援システムの構築	岩本 優子	小児歯科	1,800,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ナノポア細菌叢解析による矯正治療中の医原性障害予防システム構築と個別化医療の実現	角 伊三武	矯正歯科	1,500,000	補 文部科学省科学研究費補助金
パーキンソン病での頸部感覚神経刺激リハビリにおける不顕性誤嚥との関連性の検証	中森 正博	脳神経内科	600,000	補 文部科学省科学研究費補助金
パーキンソン病における α -シヌクレイン凝集機序の解明と新規治療への応用	中森 正博	脳神経内科	200,000	補 文部科学省科学研究費補助金
パーキンソン病におけるライソソーム品質維持機構に着目した分子病態の網羅的解析	元田 敦子	脳神経内科	1,200,000	補 文部科学省科学研究費補助金
バイオ3次元プリンティング技術を活用した再生骨組織のヘテロ構造制御	中野 綾菜	矯正歯科	1,500,000	補 文部科学省科学研究費補助金
バイオジェニクスによる認知機能低下予防法の開発	二川 浩樹	口腔健康科	1,100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ヒトiPS細胞由来網膜神経節細胞の再生メカニズムの解明	江戸 彩加	眼科	1,200,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ヒト血清由来B型肝炎ウイルスを用いた細胞感染系の樹立	藤野 初江	消化器・代謝内科	1,100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ヒト神経堤由来間葉系幹細胞を用いた顎骨骨髄 in vitro 3Dモデルの樹立	吉野 舞	口腔検査センター	1,000,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ヒロシマの高齢化した被爆者の医療需要に関する後ろ向きコホート研究	吉田 秀平	総合内科・総合診療科	600,000	補 文部科学省科学研究費補助金
プロリン異性化酵素Par14のアンドロゲン作用及び前立腺癌発症への分子メカニズム	内藤 美季	泌尿器科	2,400,000	補 文部科学省科学研究費補助金
マイクロバイオームが制御する口腔癌幹細胞ニッチにおけるPD-L1の発現動態の解明	谷 亮治	顎・口腔外科	700,000	補 文部科学省科学研究費補助金
マイクロ波イメージングによる次世代乳癌スクリーニングシステムの開発	笹田 伸介	乳腺外科	700,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ミネラルコルチコイド受容体拮抗薬の降圧作用の病態解明	前岡 侑二郎	腎臓内科	1,600,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ミュータンスレンサ球菌による臓器間ネットワークを介した病態の解明と治療戦略の探索	野村 良太	小児歯科	2,300,000	補 文部科学省科学研究費補助金
メカニカルアロディニアにおける麻黄と附子の効果評価と作用機序の解明	小川 恵子	漢方診療センター	1,100,000	補 文部科学省科学研究費補助金
メタボリックシンドロームにおける肝内在性NK細胞機能低下の解明と統合的治療法の開発	大平 真裕	未来医療センター	5,000,000	補 文部科学省科学研究費補助金
メタボローム解析を用いた歯の喪失による認知機能低下メカニズムの解明	大上 博史	口腔インプラント診療科	2,300,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ラクtofelin研究に基づく矯正歯科治療中の歯周炎に対するペプチド創薬への応用	山田 桜	矯正歯科	2,000,000	補 文部科学省科学研究費補助金
リポ蛋白多型変換の原理を応用した全く新しいアルツハイマー病制圧戦略の探索	石川 若芸	脳神経内科	800,000	補 文部科学省科学研究費補助金
ループス腸炎の病型分類を目的とした新規指標の確立	吉田 雄介	リウマチ・膠原病科	700000	補 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
悪性高熱症の原因遺伝子としてのSTAC3・TRPV1の関与の探索	神崎 理英子	麻酔科	800000	補 文部科学省科学研究費補助金
悪性高熱症関連遺伝子パネル検査による新規variants検索とその機能解析	向田 圭子	麻酔科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
悪性小児固形腫瘍の血中循環腫瘍細胞を用いた治療抵抗性の解明	兒島 正人	小児外科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
異種肝臓移植を可能にする新規糖鎖抗原応答B細胞制御法の開発	坂井 寛	消化器外科	1300000	補 文部科学省科学研究費補助金
移植患者の免疫抑制薬による疼痛の発症メカニズムを明らかにしその治療法を確立する	白石 成二	麻酔科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
胃癌オルガノイドを用いたリアルタイム免疫化学療法感受性システムのための基盤研究	田邊 和照	消化器外科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
胃癌スフェロイドのシングルセル解析による癌幹細胞性の解明	勝矢 脩嵩	病理診断科	1600000	補 文部科学省科学研究費補助金
胃癌発症に関与する口腔環境、口腔細菌叢の解明	河口 浩之	口腔総合診療科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
医療AIの予後予測における“見える化”と最適な放射線治療シミュレーションの構築	河原 大輔	放射線部	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
医療用リニアックFFFビームと電子線の出力線量測定支援整備に関する研究	小澤 修一	放射線治療科	100000	補 文部科学省科学研究費補助金
一酸化窒素(NO)の多機能性からみた鼻副鼻腔における感染防御機構の解析	竹野 幸夫	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	800000	補 文部科学省科学研究費補助金
栄養障害の改善に着目した慢性閉塞性肺疾患に対する呼吸リハビリテーションの開発	濱田 泰伸	呼吸器内科	900000	補 文部科学省科学研究費補助金
炎症性サイトカインによる宿主受容体発現調節を利用したCOVID-19治療薬の開発	茂久田 翔	検査部	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
炎症性骨破壊組織へのテリパラチド局所応用法の開発	中西 惇	歯科保存診療科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
塩味に着目した抗がん剤イリノテカンによって生じる味覚異常発症機序の解明	大林 奈美	口腔総合診療科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
黄色ブドウ球菌がアトピー性皮膚炎の知覚異常に及ぼす影響	田中 暁生	皮膚科	900000	補 文部科学省科学研究費補助金
下顎頭に特異的な骨代謝異常の解析およびFAK阻害による進行性下顎頭吸収の抑制	矢野下 真	矯正歯科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
可視・近赤外動画画像解析に基づく4D血流動態の機序解明とその医看福祉工学応用	小川 恵子	漢方診療センター	1160000	補 文部科学省科学研究費補助金
画像指標と臨床所見を統合した脆弱性骨折リスク患者スクリーニングシステムの開発	東 幸仁	循環器内科	100000	補 文部科学省科学研究費補助金
角膜感染症に対する光線力学的抗微生物化学療法(PACT)の臨床応用	近間 泰一郎	眼科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
角膜実質線維化の新しい治療法:アクチンフィラメント重合阻害剤YM-58483の効果と機序	福戸 敦彦	眼科	1400000	補 文部科学省科学研究費補助金
学習者のメディア志向特性に応じた紙とデジタルによる読解プログラムの開発・実践研究	津賀 一弘	口腔インプラント診療科	200000	補 文部科学省科学研究費補助金
顎顔面領域先天性疾患の骨リモデリングを規定するエピゲノム制御機構の統合的理解	加治屋 幹人	口腔検査センター	100000	補 文部科学省科学研究費補助金
顎骨骨幹異形成症(GDD)の発症にノンコーディングRNAは関与するか?	水田 邦子	口腔顎顔面再建外科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
患者由来iPS細胞を用いた孤発性神経線維種II型の病態解明とmiRNA治療の開発	光原 崇文	脳神経外科	50000	補 文部科学省科学研究費補助金
肝移植後の抗体関連拒絶制御に向けた新規バイオマーカー探索	進藤 岳郎	血液内科	100000	補 文部科学省科学研究費補助金
肝癌切除後再発における炎症・血液凝固異常関与のメカニズム解明と治療法の開発	黒田 慎太郎	消化器外科	900000	補 文部科学省科学研究費補助金
肝癌門脈循環腫瘍細胞の免疫逃避機構の解明と克服	小林 剛	消化器外科	5800000	補 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝細胞癌におけるアテゾリズマブ+ベバシズマブ治療応答性に関連する分子の研究	大野 敦司	消化器・代謝内科	1500000	補 文部科学省科学研究費補助金
肝臓-脳連関に着目した 新たな認知症先制治療戦略 の探索	山崎 雄	脳神経内科	2200000	補 文部科学省科学研究費補助金
肝胆がんのゲノム不安定さと免疫機構の解明	大野 敦司	消化器・代謝内科	50000	補 文部科学省科学研究費補助金
間葉系幹細胞のEpigenetic制御によるNa輸送体変化を介した降圧効果	正木 崇生	腎臓内科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
間葉系幹細胞集塊(C-MSCs)を用いたインプラント周囲炎の再生治療の開発	佐々木 慎也	歯周診療科	500000	補 文部科学省科学研究費補助金
間葉系幹細胞由来細胞外小胞による腎障害の抑制機序	正木 崇生	腎臓内科	400000	補 文部科学省科学研究費補助金
関節リウマチ患者由来ACPAと歯周病原菌関連タンパクによる歯周組織破壊機序の解明	應原 一久	歯周診療科	900000	補 文部科学省科学研究費補助金
眼炎症疾患の患者を中心とした診療連携におけるぶどう膜炎診療システムの有用性	原田 陽介	眼科	1300000	補 文部科学省科学研究費補助金
器質的な異常を認めない非特異的な身体症状のマクロおよびミクロ神経回路病態の解明	岡田 剛	精神科	5300000	補 文部科学省科学研究費補助金
機能性アメロゲニンペプチドと幹細胞パラクリン作用を用いた歯根吸収予防法への展開	吉見 友希	矯正歯科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
吸入麻酔薬による細胞膜マイクロドメイン・MAMを介した心筋保護作用機序の解明	堤 保夫	麻酔科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
吸入麻酔薬のSirtを介した心筋保護作用に対して高血糖状態が与える影響	堤 保夫	麻酔科	900000	補 文部科学省科学研究費補助金
急死した患者の家族ケアに関する実態調査および救急現場モデルの効果検証	田邊 優子	高度救命救急センター	400000	補 文部科学省科学研究費補助金
居眠り兆候である欠伸とマイクロスリープの気管音スペクトログラム深層学習による検討	熊谷 元	精神科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
協調機械学習の導入による効率的かつrobustな眼科ビッグデータ・AIシステムの構築	三上 幸夫	リハビリテーション科	500000	補 文部科学省科学研究費補助金
強力な殺菌効果をもつ電解水を用いた歯ブラシ毛洗剤の開発と新規洗口液への応用	兼保 佳乃	口腔健康科	200000	補 文部科学省科学研究費補助金
筋萎縮性側索硬化症患者におけるアルギニン製剤介入の安全性と効果、疾患修飾の探索	内藤 裕之	脳神経内科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
近位尿細管細胞特異的CyclinD1のDNA修復能を介した腎保護効果の解明	尾崎 陽介	腎臓内科	1400000	補 文部科学省科学研究費補助金
近赤外超短パルスレーザーによる変形性顎関節症の病態制御技術の確立と作用機序の解明	坂田 修三	矯正歯科	1600000	補 文部科学省科学研究費補助金
空間トランスクリプトームを用いた胃癌の新規治療標的の探索	石川 洸	病理診断科	2000000	補 文部科学省科学研究費補助金
空間制御技術および組織工学を融合した微小環境構築による新時代顎裂再生治療の創出	國松 亮	矯正歯科	8800000	補 文部科学省科学研究費補助金
系統追跡解析を用いた腱板の恒常性維持と治療における細胞の動態と役割の解析	原田 洋平	整形外科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
血液循環口腔癌細胞に着目した抗PD-1抗体のオーダーメイドバイオマーカーprofiling	柳本 惣市	顎・口腔外科	200000	補 文部科学省科学研究費補助金
血管剛性値を指標としたオピオイド性鎮痛薬の至適投与量の推定	神谷 諭史	麻酔科	2100000	補 文部科学省科学研究費補助金
血行を持たせた脱細胞化神経の神経再生誘導能の解明と脱細胞化血管柄付き神経の開発	兒玉 祥	未来医療センター	600000	補 文部科学省科学研究費補助金
原発性免疫不全症の診断困難例に対するロングリードシーケンス解析	岡田 賢	小児科	5300000	補 文部科学省科学研究費補助金
光化学作用を応用した歯の移動における歯周組織代謝誘導能と疼痛緩和の作用機序解明	中谷 文香	矯正歯科	1400000	補 文部科学省科学研究費補助金
光学式モーショントラッキングシステムを用いたCT透視下穿刺シミュレータの開発	三谷 英範	放射線診断科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
口腔がんにおけるコラーゲンプロリ3水酸化酵素の機能解析および治療的意義の解明	谷本 圭司	救急集中治療科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔での消毒剤および抗菌薬の使用が消毒剤耐性を生むか	春田 梓	口腔インプラント診療科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔におけるヘリコバクター・ピロリ菌の感染とパーキンソン病に関する研究	野村 良太	小児歯科	200000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔外科手術後の誤嚥リスクを電子聴診で可視化するためのAI音要素判別器の開発	清水 慶隆	歯科麻酔科	1700000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔外科手術後挿管患者に対する抗菌薬局所投与による術後肺炎発症予防	柳本 惣市	顎・口腔外科	50000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔癌のpartial-EMTを介した浸潤・転移に関わるバイオマーカーの探索	柳本 惣市	顎・口腔外科	30000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔癌の高線量率適応組織内照射における定量的線量評価と線量分布予測モデル作成	柿本 直也	歯科放射線科	600000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔癌遠隔転移に関与する循環腫瘍細胞および循環腫瘍DNAの多施設共同研究	柳本 惣市	顎・口腔外科	2700000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔癌患者の血中循環腫瘍細胞検出システムの開発とそれを用いた臨床病態及び予後予測	小泉 浩一	顎・口腔外科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔癌患者リンパ球由来iPSCを用いた免疫療法と分子メカニズム解析による新規治療開発	山崎 佐知子	顎・口腔外科	800000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔癌細胞におけるSnail誘導性EMTと癌幹細胞特性の関連性の解明	植月 亮	口腔顎顔面再建外科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔機能低下予防を目指した身体活動と社会的要因の検討	前原 朝子	口腔健康科	600000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔内microbiomeの網羅的解析による食道がん治療に影響を与える因子の解明	西 裕美	口腔総合診療科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔粘膜からC.aで誘導されるHO-1の発現と、炎症性遺伝子の発現	石田 陽子	口腔顎顔面再建外科	400000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔粘膜におけるCEACAM1によるCandida albicans細胞壁構成成分の認識機構	佐久間 美雪	口腔顎顔面再建外科	700000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔粘膜における新型コロナウイルス標的蛋白の新規機能とその発現調節因子の解明	太田 耕司	口腔健康科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
口腔扁平上皮癌頸部リンパ節転移被膜外浸潤メカニズムの免疫学的検討	柳本 惣市	顎・口腔外科	20000	補 文部科学省科学研究費補助金
広島原爆による被爆者スライド標本研究用データベース	杉原 清香	血液内科	300000	補 文部科学省科学研究費補助金
抗ドナー特異的HLA抗体産生ヒト化マウスによる抗体関連型拒絶反応の解析と臨床応用	田原 裕之	消化器外科	600000	補 文部科学省科学研究費補助金
抗リウマチ薬leflunomideの口腔癌における腫瘍浸潤リンパ球に対する作用機序の解明	中川 貴之	口腔顎顔面再建外科	1300000	補 文部科学省科学研究費補助金
抗炎症性サイトカインを用いた肝切除後新規免疫療法の開発	今岡 祐輝	消化器外科	900000	補 文部科学省科学研究費補助金
抗菌ペプチドLL37カルバミル化に着目した関節リウマチ患者の歯周炎増悪メカニズム解明	谷口 友梨	歯周診療科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
抗菌活性リチャージャブル義歯システムの開発	香川 和子	咬合・義歯診療科	1300000	補 文部科学省科学研究費補助金
抗菌性接着システムにおける抗菌活性再生と環境因子の相互作用のメカニズム解明	中守 貴一	口腔インプラント診療科	1700000	補 文部科学省科学研究費補助金
抗嫌気性菌薬療法の感染組織中動態・患者病態因子・薬剤耐性機構に基づく個別最適化	猪川 和朗	薬剤部	700000	補 文部科学省科学研究費補助金
抗体模範分子で解くS.mutansコラーゲン結合蛋白質の病原性と機能・構造相関	野村 良太	小児歯科	100000	補 文部科学省科学研究費補助金
高IgE症候群の新しい病型である常染色体顕性IL6ST異常症の臨床病型・分子病態の解明	浅野 孝基	小児科	1800000	補 文部科学省科学研究費補助金
高精度な放射線治療を提供するための標準的不均質補正法の開発	中尾 稔	放射線治療科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
高齢者うつ病の鑑別に資するバイオマーカー開発-探索的研究-	大盛 航	精神科	600000	補 文部科学省科学研究費補助金
高齢者の睡眠時無呼吸とサルコペニアの関連解明	柳本 惣市	顎・口腔外科	30000	補 文部科学省科学研究費補助金
合成MRIを用いた頭蓋内ミエリン定量の検討-筋萎縮性側索硬化症早期診断にむけて	都甲 めぐみ	脳神経内科	2300000	補 文部科学省科学研究費補助金
骨壊死症に対する新規治療体系の探索	庄司 剛士	整形外科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
骨再生、血管新生能に優れた乳歯歯髄由来間葉系幹細胞による新規顎裂部再生治療の確立	力武 航大	矯正歯科	1400000	補 文部科学省科学研究費補助金
骨細胞による免疫制御の分子的解明がもたらす歯周病治療の新戦略への基盤研究	吉本 哲也	口腔検査センター	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
骨髄細胞に潜在する質的障害が肺線維症に与える影響の解明	中島 拓	呼吸器内科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
骨折モデルを用いた経皮的椎体形成術でのセメント漏出予防の為にラジオ波焼灼術の研究	帖佐 啓吾	放射線部	2700000	補 文部科学省科学研究費補助金
骨粗鬆症を介した腰椎椎体終板障害の機能解明および新たな治療戦略の確立	中前 稔生	整形外科	1400000	補 文部科学省科学研究費補助金
骨代謝制御性チタン多孔体の新規開発	沖 佳史	口腔インプラント診療科	1700000	補 文部科学省科学研究費補助金
骨肉腫の根治を目的とした遺伝子組換え水疱性口内炎ウイルス製剤の開発	作田 智彦	整形外科	1900000	補 文部科学省科学研究費補助金
骨膜幹細胞とペリオスチンに注目した腱修復促進法の探索	生田 祥也	整形外科	1300000	補 文部科学省科学研究費補助金
鎖骨頭蓋異形成症疾患特異的iPS細胞をモデルとした過剰歯発生メカニズムの解明	濱田 充子	顎・口腔外科	800000	補 文部科学省科学研究費補助金
細胞内代謝がもたらすエピゲノムによるパーヴェル脂肪細胞の分化・熱産生制御機構	長野 学	内分泌・糖尿病内科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
思い通りに動かせる手を再獲得するために主観的評価をシナジー解析で客観的に捉える	砂川 融	整形外科	400000	補 文部科学省科学研究費補助金
視覚障害者の障害受容と社会参加を促す情報メディアコンテンツの要件定義	田中 武志	医療情報部	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
視神経疾患と網膜神経節細胞の退行性変化:中枢神経因子の解明と視神経学的展望	高 知愛	眼科	2100000	補 文部科学省科学研究費補助金
歯の欠損による認知機能低下が骨格筋に与える影響の解明	石田 えり	口腔インプラント診療科	2100000	補 文部科学省科学研究費補助金
歯の喪失が引き起こす認知機能低下の機序をメタボローム解析により解明する	大上 博史	口腔インプラント診療科	150000	補 文部科学省科学研究費補助金
歯科診療時の非接触型呼吸・心拍モニタリングシステムの開発	花本 博	歯科麻酔科	400000	補 文部科学省科学研究費補助金
歯周炎による糖尿病非依存NAFLD増悪メカニズムの解明	田利 美沙子	歯周診療科	1600000	補 文部科学省科学研究費補助金
歯周病菌感染が脳卒中の発症および予後に及ぼす病態メカニズムの解明	青木 志郎	脳神経内科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
歯周病原細菌に注目したパーキンソン病における口腔-脳連関の解明	山田 英忠	脳神経内科	800000	補 文部科学省科学研究費補助金
歯周病原性細菌に着目した小児の免疫疾患・感染症の制御に向けた基盤構築	野村 良太	小児歯科	4900000	補 文部科学省科学研究費補助金
歯性感染症によって産生されるOxytocinの早産・低体重出生児への関与の解明	熊谷 友樹	歯科保存診療科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
歯内治療における総アデニレートを指標とした根管細菌の迅速検査法の開発	西藤 法子	歯科保存診療科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
児童虐待における全身の骨折評価を目的とした低線量CT撮影プロトコルの構築	谷 千尋	精神科	1500000	補 文部科学省科学研究費補助金
時計遺伝子DEC1の低酸素下におけるアポトーシスへの影響についての検討	原田 崇弘	病理診断科	1900000	補 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
治療抵抗性大腸癌サブタイプにおける新規ドライバー遺伝子の同定と治療法の開発	榎井 孝夫	遺伝子診療科	2600000	補 文部科学省科学研究費補助金
磁気センサと振動マイクを用いた嚥下機能測定機器による新たな嚥下訓練の検討	濱本 隆夫	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	700000	補 文部科学省科学研究費補助金
疾患特異的ヒトiPS細胞を用いた逆行性軸索輸送障害の解析によるALSの病態解明	菊本 舞	脳神経内科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
実験条件最適化AIによるデータ駆動型ケミカルプログラミング技術の開発	味八木 茂	未来医療センター	1500000	補 文部科学省科学研究費補助金
終夜呼吸音定量評価システムの臨床応用に向けた研究	堀益 靖	呼吸器内科	300000	補 文部科学省科学研究費補助金
集塊培養技術によるiPS細胞由来顎骨・歯肉オルガノイドの樹立と口腔再生医学の深化	加治屋 幹人	口腔検査センター	4700000	補 文部科学省科学研究費補助金
重症救急疾患の患者集約化は長期予後を改善するか:医療・介護連結データを用いた分析	大木 伸吾	救急集中治療科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
重症先天性好中球減少症における酸化ストレスに着目した病態解明と新規治療薬探索	溝口 洋子	小児科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
重症熱傷に対する新規治療法の開発に向けた間葉系幹細胞による感染制御機能の解析	菅 崇暢	皮膚科	1400000	補 文部科学省科学研究費補助金
初期耐性細胞を標的とした肺癌を根治に導く治療方法の開発-PAI-1の関与の検討-	益田 武	呼吸器内科	800000	補 文部科学省科学研究費補助金
小児がん児の体力・機能低下に対する医療職者の継続的な復学訪問支援による連携構築	岡田 賢	小児科	100000	補 文部科学省科学研究費補助金
小児急性肝不全における肝臓内免疫環境と病態の解明	清水 誠一	消化器外科	1839861	補 文部科学省科学研究費補助金
小児口腔内におけるヘリコバクター・ピロリ菌および歯周病原性細菌定着の関連性の追究	野村 良太	小児歯科	300000	補 文部科学省科学研究費補助金
小児由来の口腔レンサ球菌種のコラーゲン結合能に着目した口腔-全身連関研究の新機軸	秋友 達哉	小児歯科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
小胞体ストレス応答を標的とした歯髄炎治療法の開発	武田 克浩	歯科保存診療科	1300000	補 文部科学省科学研究費補助金
上肢の運動障害をありのまま捉える日常生活モニタリングシステムの開発と臨床応用	伊達 翔太	整形外科	2000000	補 文部科学省科学研究費補助金
上肢運動シナジーに基づいた臨床治療のための神経学的根拠の拡張と応用に関する研究	車谷 洋	整形外科	600000	補 文部科学省科学研究費補助金
上肢骨折後の左右活動量対称性を指標とした二次骨折発症メカニズムの解明	車谷 洋	整形外科	100000	補 文部科学省科学研究費補助金
常染色体顕性RELA異常症の分子病態の解明	津村 弥来	小児科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
色情報を用いた軟骨組織評価システムの開発	味八木 茂	未来医療センター	100000	補 文部科学省科学研究費補助金
食道癌における血中small RNAによるpathological complete response予測と機能の解明	浜井 洋一	消化器外科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
侵襲性歯周炎の新規責任遺伝子の同定と病態解析	水野 智仁	歯周診療科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
心房性弁膜症の非侵襲的評価法の確立と臨床的特徴および早期治療介入の有用性	宇都宮 裕人	循環器内科	200000	補 文部科学省科学研究費補助金
新規リピート伸長による筋萎縮性側索硬化症の分子病態の解明	久米 広大	脳神経内科	1400000	補 文部科学省科学研究費補助金
新規レジスチン様分子RELN β によるeNOS制御機構解明と動脈硬化との関連	東 幸仁	循環器内科	2400000	補 文部科学省科学研究費補助金
新規原因遺伝子に対する悪性高熱症の機能解析実験系の確立	渡辺 知幸	麻酔科	800000	補 文部科学省科学研究費補助金
深層生成モデルによる顎顔面補綴支援システムの構築	田地 豪	口腔健康科	1400000	補 文部科学省科学研究費補助金
真皮内汗漏出による線維芽細胞応答を介した汗アレルギーの解明とその抑制因子の探索	石井 香	皮膚科	1600000	補 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
神経障害性疼痛における過分極活性化サイクリックヌクレオチド依存性チャネルの機能検索	吉田 充広	歯科麻酔科	100000	補 文部科学省科学研究費補助金
身体活動量の低下が喘息の病態に及ぼす影響とそのメカニズムの解明	岩本 博志	呼吸器内科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
人工知能を用いた高齢がん患者の至適治療法選択のための個別化医療支援システムの開発	西淵 いくの	放射線治療科	800000	補 文部科学省科学研究費補助金
成長期矯正治療患者に対する口腔細菌叢のデイスバイオーシス解析と医原性予防法の構築	小泉 祐真	矯正歯科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
切除不能な肝間部領域胆管癌に対する生体肝移植で治癒に至る分子生物学的特性の解明	大段 秀樹	移植外科	20000	補 文部科学省科学研究費補助金
接着分子CADM1抗体-MMAE複合体を用いた悪性胸膜中皮腫の新規治療開発	見前 隆洋	呼吸器外科	1400000	補 文部科学省科学研究費補助金
線毛ヒト化マウスを用いたNOによる線毛運動抑制機構の解明	川住 知弘	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
前期高齢者の低舌圧診断と早期介入は口腔機能低下症を予防できるか	津賀 一弘	口腔インプラント診療科	2600000	補 文部科学省科学研究費補助金
前頭葉内側の機能温存: 広帯域皮質脳波による切除術術前の皮質信号限界値設定	音成 秀一郎	脳神経内科	900000	補 文部科学省科学研究費補助金
前立腺癌特異的な術中リアルタイム蛍光イメージング法の開発	日向 信之	泌尿器科	500000	補 文部科学省科学研究費補助金
全身疾患との関連性が高い蝕病原性細菌の定着環境の解明と定着予防の追究	野村 良太	小児歯科	200000	補 文部科学省科学研究費補助金
全身麻酔薬誘発性悪心・嘔吐の神経化学的基盤の解明	佐々木 詩佳	歯科麻酔科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
組織工学スキャホールドの構成要素としてのキメラタンパク質の分子設計	阿部 文香	矯正歯科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
双極性障害、うつ病の白質構造の縦断的変化と認知機能との関連の検討	増田 慶一	精神科	600000	補 文部科学省科学研究費補助金
早発型妊娠高血圧腎症発症原因タンパクとしてのサブレンシン機能解析	杉本 潤	婦人科と産科	1600000	補 文部科学省科学研究費補助金
多角的センサー情報に基づく食行動研究基盤の構築	津賀 一弘	口腔インプラント診療科	500000	補 文部科学省科学研究費補助金
多発転移性腎癌におけるニボルマブと放射線治療の相乗効果を検証する無作為比較試験	村上 祐司	放射線治療科	100000	補 文部科学省科学研究費補助金
体細胞変異に着目した原発性アルドステロン症の新規治療戦略	岸本 真治	循環器内科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
大規模骨欠損に対して効果的な骨再生を誘導する大型化骨殻付き軟骨組織の開発	森本 慎	口腔検査センター	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
大腸がん間質細胞におけるEGFR発現の意義とMAPKシグナル阻害薬耐性との関連性	新津 宏明	遺伝子診療科	1400000	補 文部科学省科学研究費補助金
大腸癌の5-FU耐性におけるKIF11の役割と阻害効果の検討	赤羽 慎太郎	消化器外科	1300000	補 文部科学省科学研究費補助金
地域歯科診療所における抗菌薬適正使用の全国的調査とAMR対策推進の戦略	竹本 俊伸	口腔健康科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
中枢性化学受容器を刺激する低酸素下睡眠はブラキシズムの誘発因子となるか	岡田 芳幸	障害者歯科	1700000	補 文部科学省科学研究費補助金
長期療養患者に対する新たな運動処方の開発を見据えた脊髄回路メカニズムの解明	吉田 結梨子	障害者歯科	1800000	補 文部科学省科学研究費補助金
痛覚関連分子を標的とする発達障害の病態解明と治療基盤に関する研究	今戸 瑛二	歯科麻酔科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
潰瘍性大腸炎における腸内マイクロバイオームの多様性低下メカニズム解明とその制御	東川 史子	未来医療センター	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
低酸素下でのみ薬剤を遊離作用可能にしたプロドラッグを用いた骨肉腫治療の開発	古田 太輔	整形外科	700000	補 文部科学省科学研究費補助金
低酸素誘導因子-プロリン水酸化酵素(HIF-PH)阻害薬による放射線複合障害治療戦略	廣橋 伸之	救急集中治療科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
低出力パルス超音波を用いたPTSDの恐怖記憶消去障害の新規治療法の開発	岡田 怜	精神科	1400000	補 文部科学省科学研究費補助金
糖鎖応答B細胞による癌免疫回避機構の解明と制御法の開発	大段 秀樹	移植外科	9500000	補 文部科学省科学研究費補助金
頭頸部アルミノックス治療における超高精度ターゲティングレーザ照射システムの開発	上田 勉	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	2200000	補 文部科学省科学研究費補助金
内軟骨性骨化に対するSemaphorin3Aの影響	壺井 英里	矯正歯科	2000000	補 文部科学省科学研究費補助金
内皮型NO合成酵素制御および血管内皮機能調整における時計遺伝子DEC1の役割	丸橋 達也	循環器内科	100000	補 文部科学省科学研究費補助金
軟骨誘導を施した間葉系幹細胞集塊による新規歯周組織再生療法の品質検査法の開発	堀越 励	口腔総合診療科	2000000	補 文部科学省科学研究費補助金
乳歯歯髄幹細胞培養上清による歯周組織代謝誘導能の探索と新規歯根吸収予防法への展開	大堂 綾香	矯正歯科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
乳歯歯髄由来幹細胞培養上清のエクソソームを用いた炎症性骨破壊疾患治療への応用	小笠原 伯宏	矯正歯科	2400000	補 文部科学省科学研究費補助金
尿中細胞を用いた悪性高熱症の無侵襲診断法の確立	近藤 隆志	麻酔科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
認知機能低下の影響を受けにくい単純な発声から呼吸機能を機械学習的に推定/評価する	関川 清一	呼吸器内科	100000	補 文部科学省科学研究費補助金
脳挫傷に対する頭蓋骨由来間葉系幹細胞の新たな作用機序の解明と再生治療への開発応用	前田 雄洋	脳神経外科	800000	補 文部科学省科学研究費補助金
脳腫瘍診断アルゴリズムの開発	山崎 文之	脳神経外科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
脳内神経生理に基づいたてんかん発作による運転不能の予兆検出アルゴリズムの基盤技術開発	飯田 幸治	てんかんセンター	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
脳波と薬物動態の解析を用いたレミマゾラムによる安全な意識下鎮静法の確立	小田 綾	歯科麻酔科	700000	補 文部科学省科学研究費補助金
敗血症とその後の集中治療後症候群におけるミトコンドリアタンパクの役割	菊谷 知也	救急集中治療科	900000	補 文部科学省科学研究費補助金
肺癌における間質形成メカニズムと間質浸潤制御機構の解明	三井 伸二	病理診断科	808124	補 文部科学省科学研究費補助金
肺癌化学放射線療法における放射線感受性に基づく有害事象予測モデルの構築	今野 伸樹	放射線治療科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
肺腺癌悪性化進展に伴う特異的がん代謝の同定とその調整機構の解明	坪川 典史	呼吸器外科	1900000	補 文部科学省科学研究費補助金
発達期の脳形成への幼若期ストレスの及ぼす影響に対するグリア細胞の関わり	光畑 智恵子	小児歯科	1400000	補 文部科学省科学研究費補助金
皮膚アレルギー病態におけるケラチノサイト由来神経ペプチドの役割解明	松尾 佳美	皮膚科	700000	補 文部科学省科学研究費補助金
肥満病態と歯周感染の相互作用が認知機能に及ぼす影響のメカニズム解明	大植 香菜	歯科麻酔科	1400000	補 文部科学省科学研究費補助金
非剛体画像レジストレーションを使用した臓器の移動体積分布評価法の確立	三浦 英治	放射線治療科	700000	補 文部科学省科学研究費補助金
微小重力環境で培養したヒト頭蓋骨由来間葉系幹細胞におけるエクソソームの移植効果	堀江 信貴	脳神経外科	150000	補 文部科学省科学研究費補助金
微小重力環境で培養したヒト頭蓋骨由来間葉系幹細胞の脳梗塞ラットへの経動脈的移植効果	堀江 信貴	脳神経外科	900000	補 文部科学省科学研究費補助金
微小重力環境培養を行った頭蓋骨由来間葉系幹細胞移植効果の電気生理学的評価	武田 正明	脳神経外科	400000	補 文部科学省科学研究費補助金
膝前十字靭帯再建術後の完全なスポーツ復帰を目指した多施設共同研究	中前 敦雄	整形外科	700000	補 文部科学省科学研究費補助金
腹側淡蒼球からみた適切な養育機会の欠損を経たうつ病の病態と治療法・予防法の研究	淵上 学	精神科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
変形性関節症における骨棘軟骨を用いた新規軟骨再生医療の確立	中佐 智幸	整形外科	800000	補 文部科学省科学研究費補助金

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
放射線治療の物理技術的品質管理における安全評価システムの開発	小澤 修一	放射線治療科	2400000	補 文部科学省科学研究費補助金
放射線照射に対する大腸内在性NK細胞の抗腫瘍効果の機能解析	矢野 琢也	消化器外科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
膜脂質説とPKCに基づくプロボフォールの新たな作用発揮メカニズムの解明と臨床展開	檜崎 壮志	麻酔科	1400000	補 文部科学省科学研究費補助金
末梢神経に対する静磁場刺激の慢性疼痛に与える影響	太田 有紀	麻酔科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
慢性呼吸器疾患患者の呼吸サルコペニア関連因子解明と進行予防プログラムの開発	関川 清一	呼吸器内科	700000	補 文部科学省科学研究費補助金
慢性咀嚼筋痛発症過程でのBDNF-TrkB経路と下行性疼痛制御系の関係性の解明	吉田 充広	歯科麻酔科	1200000	補 文部科学省科学研究費補助金
未知の肺感染症にも対応可能な胸部CT画像の深層学習による定量解析手法の開発	粟井 和夫	放射線診断科	300000	補 文部科学省科学研究費補助金
夢を演じる行動に着目した夢発生メカニズムの解明	小川 景子	漢方診療センター	300000	補 文部科学省科学研究費補助金
免疫チェックポイント阻害薬による肺障害の病態解明と予防的治療の開発	山口 覚博	呼吸器内科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
免疫寛容の本質的解明に向けた多次元解析	大段 秀樹	移植外科	500000	補 文部科学省科学研究費補助金
有機無機ハイブリッド型抗菌剤を応用した抗菌性義歯粘着剤の開発	阿部 泰彦	口腔インプラント診療科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
由来の異なる間葉系幹細胞培養上清の特性解明と液性因子を応用した骨再生治療法の展開	平木 智香	矯正歯科	2900000	補 文部科学省科学研究費補助金
要介護経管栄養高齢者の経時的な口腔細菌叢変移の解明と適切な口腔ケア間隔の確立	朝比奈 滉直	障害者歯科	1400000	補 文部科学省科学研究費補助金
臨床検査を対象とした医療ビッグデータ構築支援AIエンジンの開発	糸 直人	医療情報部	900000	補 文部科学省科学研究費補助金
濾胞性T細胞および記憶B細胞・形質細胞制御による抗体関連型拒絶反応の克服	井手 健太郎	消化器外科	1100000	補 文部科学省科学研究費補助金
膵癌におけるチューブリン翻訳後修飾Δ3化の役割と癌化との関連	上村 健一郎	消化器外科	1000000	補 文部科学省科学研究費補助金
アレルギー疾患の層別化解析、生活環境が与える影響の解明に向けた疫学研究	田中 暁生	皮膚科	300000	補 厚生労働省
小児・AYA世代のがん経験者の健康アウトカムの改善および根治困難ながんと診断されたAYA世代の患者・家族の生活の質の向上に資する	一戸 辰夫	血液内科	200000	補 厚生労働省
新たな手法を用いた肝炎ウイルス検査受検率・陽性者受診率の向上に資する研究	加治屋 幹人	口腔検査センター	600000	補 厚生労働省
診療所及び高齢者施設を対象とする効率的・効果的な薬剤耐性菌制御手法の確立のための研究	大毛 宏喜	感染症科	8630000	補 厚生労働省
生活期リハビリテーションにおける介入手法の標準コードの開発研究	三上 幸夫	リハビリテーション科	5707000	補 厚生労働省
非加熱血液凝固因子製剤によるHIV感染血友病等患者の長期療養体制の構築に関する患者参加型研究	三上 幸夫	リハビリテーション科	2000000	補 厚生労働省

計 356 件

(注)

- 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。
- 2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。
- 3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

(1)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1	Miyamori D, Yoshida S, Ikeda K, et al	総合内科・総合診療科	Evaluating antibiotic susceptibility trends in <i>S. pneumoniae</i> and <i>H. influenzae</i> isolates during the COVID-19 pandemic: An interrupted time series analysis of a nationwide antimicrobial resistance database.	J Infect Public Health. 2025 May;18(5):102707.	Original Article
2	Miyamori D, Kamitani T, Yoshida S, et al	総合内科・総合診療科	Effects of the Coronavirus disease 2019 pandemic on mortality in patients with lung cancer: A multiple mediation analysis in Japan.	Int J Cancer. 2024 Oct 15;155(8):1422-1431.	Original Article
3	Miyamori D, Shigemoto N, Une K, et al	総合内科・総合診療科	Delayed onset septic pelvic thrombophlebitis treated by tissue-plasminogen activator following initial treatment for massive right ovarian vein thrombosis and methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> bacteremia: A case report.	J Obstet Gynaecol Res. 2024 Aug;50(8):1408-1414.	Case Report
4	Shiozaki M, Kanno K, Yonezawa S, et al	総合内科・総合診療科	Integrator complex subunit 6 promotes hepatocellular steatosis via I2-catenin-PPAR3 axis.	Biochim Biophys Acta Mol Cell Biol Lipids. 2024 Oct;1869(7):159532.	Original Article
5	Kobayashi T, Miyamori D, Ito M	総合内科・総合診療科	Retrospective study on clinical value and optimal use of [(18)F] FDG PET/CT for inflammation of unknown origin in Japanese patients.	Sci Rep. 2024 Nov 15;14(1):28197. (オンライン)	Original Article
6	Yoshida S, Hirahara Y, Mutai R, et al	総合内科・総合診療科	Impact of home visiting nurses on home death proportion in Japan: A nationwide longitudinal ecological study.	Public Health Nurs. 2024 Nov-Dec;41(6):1369-1376.	Original Article
7	Miyamori D, Nagasaki Y, Yoshida S, et al	総合内科・総合診療科	Role of regular medical visits in mitigating increased suicide risk during the early COVID-19 pandemic in Kobe, Japan.	BMC Prim Care. 2025 Jan 23;26(1):18. (オンライン)	Original Article
8	Inada S, Omori K, Kitagawa H, et al	感染症科	Blood culture bottles for culturing cerebrospinal fluid in cases of bacterial meningitis caused by <i>Enterococcus faecalis</i> : A case report.	J Infect Chemother. 2025 Jan;31(1):102425.	Case Report
9	Inada S, Omori K, Nomura T, et al	感染症科	Non-tuberculous mycobacterial shoulder arthritis with acute exacerbation soon after initiation of immune checkpoint inhibitor: A case report.	J Infect Chemother. 2025 Mar;31(3):102596.	Case Report
10	Kakimoto M, Nomura T, Nazmul T, et al	感染症科	In vitro to clinical efficacy: Neutralizing antibodies against severe acute respiratory syndrome coronavirus 2 strains.	J Infect Chemother. 2025 Apr;31(4):102604.	Original Article
11	Kagawa K, Iida K, Hashizume A, et al	脳神経外科	Risk factors for wound dehiscence after surgery for epilepsy.	J Neurosurg. 2024 Nov 1;142(4):927-935. (オンライン)	Original Article
12	Iwakawa K, Shinji K, Kurisu N, et al	眼科	Blocking Air in the Filtering Bleb: Effects on Graft Adhesion After Descemet's Stripping Automated Endothelial Keratoplasty.	Cureus. 2024 Aug 22;16(8):e67459. (オンライン)	Original Article

13	Hirooka K, Onoe H, Okumichi H, et al	眼科	Safety and Efficacy of Phacoemulsification With Trabecular Microbypass Stent W Implantation in Primary Angle-Closure Glaucoma.	Cureus. 2024 Nov 30;16(11):e74878. (オンライン)	Original Article
14	Masuda T, Tsubata Y, Hata K, et al	呼吸器内科	Efficacy of immune checkpoint inhibitors according to programmed cell death-ligand 1 expression in patients with non-small cell lung cancer and brain metastasis: A real-world prospective observational study.	Thorac Cancer. 2024 Dec;15(34):2408-2417.	Original Article
15	Tanaka M, Horimasu Y, Kawamoto K, et al	呼吸器内科	Primary pulmonary extranodal NK/T-cell lymphoma diagnosed by thoracoscopic lung biopsy: A case report.	Respir Med Case Rep. 2024 Sep 26;52:102127. (オンライン)	Case Report
16	Masuda T, Hirata T, Sakamoto T, et al	呼吸器内科	Treatment rationale and protocol design: an investigator-initiated phase II study of combination treatment of nivolumab and TM5614, a PAI-1 inhibitor for previously treated patients with non-small cell lung cancer.	J Thorac Dis. 2024 May 31;16(5):3381-3388.	Original Article
17	Shimizu H, Kobayashi T, Okazaki T, et al	心臓血管外科	Clinical impact of fluoropolymer-based drug-eluting stent thrombosis in femoropopliteal artery occlusive lesions.	Vascular. 2024 May 29;17085381241258553.	Original Article
18	Go S, Kobayashi T, Takasaki T, et al	心臓血管外科	Collapse and Occlusion of Balloon-Expandable Covered Stent in the Right Common Iliac Arteries Due to External Stress.	Ann Vasc Dis. 2024 Sep 25;17(3):313-316.	Case Report
19	Shimizu D, Takigawa H, Kitadai Y, et al	消化器内科	Helicobacter pylori-positive colorectal MALT lymphoma with repeated metachronous recurrence after a complete response to eradication therapy and regression after a watch-and-wait strategy.	Intern Med. 2025 Feb 18.	Original Article
20	Konishi H, Urabe Y, Nakamura T, et al	消化器内科	Long-term prognosis after endoscopic submucosal dissection for esophageal cancer in older adult patients.	BMC Gastroenterol. 2024 May 14;24(1):164. (オンライン)	Original Article
21	Tanino F, Yamashita K, Nagata S, et al	消化器内科	Vertical margin distance in T1 colorectal carcinoma resected by endoscopic submucosal dissection affects prognosis after additional surgery.	Int J Colorectal Dis. 2024 Aug 16;39(1):134. (オンライン)	Original Article
22	Teshima H, Kotachi T, Kuwai T, et al	消化器内科	Clinicopathologic Features of Early Gastric Cancer after Helicobacter pylori Eradication in Japanese Patients: Comparative Study between Early (<10 Years) and Late (>10 Years) Onset.	Cancers (Basel). 2024 Sep 14;16(18):3154. (オンライン)	Original Article
23	Miura R, Ono A, Yano S, et al	消化器内科	Real-world efficacy and safety of durvalumab-tremelimumab as second-line systemic therapy after atezolizumab-bevacizumab in unresectable hepatocellular carcinoma.	Medicine (Baltimore). 2024 Aug 23;103(34):e39289.	Original Article
24	Oka S, Tanaka S, Kajiwara Y, et al	消化器内科	Correction to: Treatment Decision for Locally Resected T1 Colorectal Carcinoma-Verification of the Japanese Guideline Criteria for Additional Surgery Based on Long-Term Clinical Outcomes.	Am J Gastroenterol. 2024 Nov 1;119(11):2352.	Original Article
25	Shimizu D, Yuge R, Kitadai Y, et al	消化器内科	Pexidartinib and Immune Checkpoint Inhibitors Combine to Activate Tumor Immunity in a Murine Colorectal Cancer Model by Depleting M2 Macrophages Differentiated by Cancer-Associated Fibroblasts.	Int J Mol Sci. 2024 Jun 26;25(13):7001. (オンライン)	Original Article
26	Tanaka H, Yamashita K, Urabe Y, et al	消化器内科	Management of T1 Colorectal Cancer.	Digestion. 2025;106(2):122-130.	Original Article

27	Uchikawa S, Kawaoka T, Murakami S, et al	消化器内科	Time trend of outcomes according to systemic therapy for patients with unresectable hepatocellular carcinoma: A single-institution study.	Hepatol Res. 2024 Oct 26.	Original Article
28	Ariyoshi M, Yuge R, Kitadai Y, et al	消化器内科	WEE1 Inhibitor Adavosertib Exerts Antitumor Effects on Colorectal Cancer, Especially in Cases with p53 Mutations.	Cancers (Basel). 2024 Sep 12;16(18):3136. (オンライン)	Original Article
29	Yamamoto N, Urabe Y, Nakahara H, et al	消化器内科	Genetic Analysis of Biopsy Tissues from Colorectal Tumors in Patients with Ulcerative Colitis.	Cancers (Basel). 2024 Sep 26;16(19):3271. (オンライン)	Original Article
30	Urabe Y, Oka S, Ishikawa H, et al	消化器内科	Lynch Syndrome Screening and Surveillance Trends among Gastroenterologists in Japan: A Questionnaire Survey-based Analysis.	Intern Med. 2025 May 15;64(10):1459-1469.	Original Article
31	Takehara Y, Yamashita K, Morimoto S, et al	消化器内科	Clinical usefulness of hybrid endoscopic submucosal dissection for T1b colorectal carcinomas ≥ 20 mm to ensure adequate vertical margins.	DEN Open. 2024 Oct 24;5(1):e70030. (オンライン)	Original Article
32	Tanino F, Yamashita K, Morimoto S, et al	消化器内科	Comparative prediction of lymph node metastasis in pT1 colorectal cancer among Western and Japanese guidelines.	Front Oncol. 2024 Oct 31;14:1475270. (オンライン)	Original Article
33	Teshima H, Takigawa H, Kotachi T, et al	消化器内科	A Proton Pump Inhibitor Independently Elevates Gastrin Levels as a Marker for Metachronous Gastric Cancer After Endoscopic Submucosal Dissection.	J Clin Med. 2024 Nov 3;13(21):6599. (オンライン)	Original Article
34	Miura R, Ono A, Nakahara H, et al	消化器内科	Serum IL-6 concentration is a useful biomarker to predict the efficacy of atezolizumab plus bevacizumab in patients with hepatocellular carcinoma.	J Gastroenterol. 2025 Mar;60(3):328-339.	Original Article
35	Morimoto S, Tanaka H, Takehara Y, et al	消化器内科	Efficiency of Real-time Computer-aided Polyp Detection during Surveillance Colonoscopy: A Pilot Study.	J Anus Rectum Colon. 2025 Jan 25;9(1):127-133. (オンライン)	Original Article
36	Mizuno J, Urabe Y, Nakahara H, et al	消化器内科	A case of esophageal squamous cell carcinoma with epidermization showing a unique morphology.	Clin J Gastroenterol. 2025 Feb;18(1):23-28.	Case Report
37	Saino M, Kuwai T, Oka S	消化器内科	Solitary Colonic Ganglioneuroma With Central Depression: A Rare Case With Unique Morphology.	Am J Gastroenterol. 2025 May 1;120(5):940.	Original Article
38	Urabe Y, Tanaka H, Nakahara H, et al	消化器内科	A case of colon cancer implanted on endoscopic resection ulcer certified by cancer genomic testing.	Clin J Gastroenterol. 2024 Dec;17(6):1047-1052.	Case Report
39	Kuroda S, Kobayashi T, Hatano E, et al	消化器外科	Questionnaire on the surgical indications for intrahepatic cholangiocarcinoma administered to Japanese board-certified expert hepatobiliary and pancreatic surgeons and instructors.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2025 Mar;32(3):179-193.	Original Article
40	Kidoguchi G, Yoshida Y, Watanabe H, et al	リウマチ・膠原病科	Effectiveness and safety of rituximab in severely relapsed antineutrophil cytoplasmic antibody-associated vasculitis: a retrospective analysis of a Japanese multicentre cohort from the J-CANVAS.	Clin Rheumatol. 2024 Oct;43(10):3195-3204.	Original Article

41	Kobayashi H, Yoshida Y, Kida T, et al	リウマチ・膠原病科	Seasonal Effects on Relapse of Antineutrophil Cytoplasmic Antibody-Associated Vasculitis: A Retrospective Multicenter Cohort Study in Japan (J-CANVAS).	J Rheumatol. 2024 Jun 1;51(6):646-648. (オンライン)	Original Article
42	Sugimoto T, Sakuda T, Hirata S	リウマチ・膠原病科	Cholesterol Crystal-induced Arthritis.	Intern Med. 2024 Nov 21.	Original Article
43	Shimomura M, Ashiurai M, Kato I, et al	小児科	Effect of conditioning intensity on late complications in AYA who underwent allogeneic HCT during childhood.	Int J Hematol. 2025 Mar 10.	Original Article
44	Shimomura M, Tanaka M, Kobayashi Y, et al	小児科	A Pediatric Case of B Cell Precursor ALL With Blinatumomab-associated Encephalopathy.	J Pediatr Hematol Oncol. 2024 Oct 1;46(7):e550-e555.	Case Report
45	Eguchi Y, Ishikawa N, Kobayashi Y, et al	小児科	Epilepsy and Other Neurological Complications in Pediatric Patients With Hemophilia Complicated With Intracranial Hemorrhage: A Retrospective Case Series.	Cureus. 2024 Nov 22;16(11):e74261. (オンライン)	Case Report
46	Hide M, Kishimoto M, Kotera I, et al	皮膚科	Analysis of disease burden in patients with hereditary angioedema from Japan by patient-reported outcomes.	J Dermatol. 2025 Feb;52(2):256-269.	Original Article
47	Nakata K, Ishikawa M, Kamei N, et al	整形外科	Skeletal muscle injury treatment using the Silk ElastinAR injection in a rat model.	Regen Ther. 2024 Jun 9;26:180-187. (オンライン)	Original Article
48	Tanimoto K, Kodama A, Kunisaki A, et al	整形外科	Angiogenesis and Axonal Elongation in Decellularised Nerve Grafts Depend on the Surrounding Vascular Environment.	J Hand Surg Asian Pac Vol. 2025 Apr;30(2):119-126.	Original Article
49	Ikuta Y, Nakasa T, Kawabata S, et al	整形外科	Optimal Target Angle in Oblique Diaphyseal Osteotomy of the Fifth Metatarsal for Symptomatic Bunionette: A Retrospective Analysis.	Foot Ankle Int. 2025 Apr;46(4):415-421.	Original Article
50	Kajikawa M, Maruhashi T, Kishimoto S, et al	整形外科	A Body Shape Index as a Simple Anthropometric Marker of Abdominal Obesity and Risk of Cardiovascular Events.	J Clin Endocrinol Metab. 2024 Nov 18;109(12):3272-3281.	Original Article
51	Yoshikawa K, Nakamori M, Ushio K, et al	リハビリテーション科	Analysis of the suprahyoid muscles during tongue elevation: High-density surface electromyography as a novel tool for swallowing-related muscle assessment.	J Oral Rehabil. 2024 Sep;51(9):1872-1880.	Original Article
52	Asaeda M, Taito S, Matsumoto A, et al	リハビリテーション科	Experience in Rehabilitation Treatment for Patients Repeatedly Admitted to Intensive Care Units After Dual Graft Living-Donor Liver Transplantation: A Case Report.	Cureus. 2025 Jan 7;17(1):e77099. (オンライン)	Case Report
53	Ushio K, Nakanishi K, Yoshino A, et al	リハビリテーション科	Changed resting-state connectivity of anterior insular cortex affects subjective pain reduction after knee arthroplasty: A longitudinal study.	Brain Res Bull. 2024 Oct 15;217:111073.	Original Article
54	Iwamoto Y, Imura T, Hirata K, et al	リハビリテーション科	The risk factors for development or progression of locomotive syndrome: a systematic review.	Nagoya J Med Sci. 2025 Feb;87(1):60-75.	Original Article

55	Asaeda M, Hirata K, Ohnishi T, et al	リハビリテーション科	Time course of biomechanics during jump landing before and after two different fatigue tasks.	Asia Pac J Sports Med Arthrosc Rehabil Technol. 2024 Jul 16;37:40-46. (オンライン)	Original Article
56	Fudeyasu K, Nakashima Y, Iwaki D, et al	リハビリテーション科	Long-Term Rehabilitation Therapy Is Effective for Physical Function in a Patient With Amyloid Light Chain Amyloidosis Complicated by Nephrotic Syndrome: A Case Report and Literature Review.	Cureus. 2024 Jul 18;16(7):e64830. (オンライン)	Case Report
57	Hirai T, Kamide N, Shigeta K	リハビリテーション科	Sex differences in the association of physical functions with hospitalization and mortality events among community-dwelling older adults with disabilities.	Geriatr Nurs. 2024 Sep-Oct;59:296-300.	Original Article
58	Shimada N, Shimada M, Toriyama M, et al	リハビリテーション科	Functional electrostimulation therapy for vastus medialis decreases the varus thrust during gait.	J Phys Ther Sci. 2024 Apr;36(4):190-194.	Original Article
59	Asaeda M, Hirata K, Ohnishi T, et al	リハビリテーション科	Differences in lower-limb biomechanics during single-leg landing considering two peripheral fatigue tasks.	PLoS One. 2024 Apr 11;19(4):e0297910. (オンライン)	Original Article
60	Taito S, Fudeyasu K, Iwaki D	リハビリテーション科	Improved Active Mobilization Program for Critically Ill Patients with Diabetes.	Am J Respir Crit Care Med. 2024 Oct 1;210(7):963.	Letter
61	Fudeyasu K, Kamiya S, Taito S, et al	リハビリテーション科	Circulatory characteristics of early mobilization after surgery for bilateral pheochromocytoma: a case report.	J Med Case Rep. 2024 Oct 31;18(1):529. (オンライン)	Case Report
62	Asaeda M, Onishi T, Ito H, et al	リハビリテーション科	Reliability and validity of knee valgus angle calculation at single-leg drop landing by posture estimation using machine learning.	Heliyon. 2024 Aug 23;10(17):e36338. (オンライン)	Original Article
63	Asaeda M, Mikami Y, Matsumoto A, et al	リハビリテーション科	Relationship between walking distance within the first 24A?h following lung cancer surgery and clinical outcomes.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2025 Mar 24.	Original Article
64	Yoshimoto K, Maeoka Y, Kubota S, et al	腎臓内科	Polycythemia secondary to bilaterally enlarged kidneys in T-Cell acute lymphoblastic leukemia: a case report and literature review.	BMC Nephrol. 2025 Mar 6;26(1):121. (オンライン)	Case Report
65	Kubota S, Maeoka Y, Okimoto K, et al	腎臓内科	Peritoneal dialysis-associated polymicrobial peritonitis with slow onset after root canal treatment: the first case and review of the literature.	BMC Nephrol. 2025 Mar 13;26(1):137. (オンライン)	Case Report
66	Miyasako K, Maeoka Y, Masaki T	腎臓内科	Recent Advances and Perspectives on the Use of Mineralocorticoid Receptor Antagonists for the Treatment of Hypertension and Chronic Kidney Disease: A Review.	Biomedicines. 2024 Dec 29;13(1):53. (オンライン)	Original Article
67	Osaki Y, Maeoka Y, Sami M, et al	腎臓内科	Peritoneal dialysis-associated peritonitis, caused by superior mesenteric artery thrombosis with intestinal necrosis: a case report.	CEN Case Rep. 2025 Feb;14(1):1-5.	Case Report
68	Kurawaki S, Nakashima A, Ishiuchi N, et al	腎臓内科	Mesenchymal stem cells pretreated with interferon-gamma attenuate renal fibrosis by enhancing regulatory T cell induction.	Sci Rep. 2024 May 4;14(1):10251. (オンライン)	Original Article

69	Shinkai Y, Sasaki K, Tamura R, et al	腎臓内科	Selective activation of PPARI± by pemafibrate mitigates peritoneal inflammation and fibrosis through suppression of NLRP3 inflammasome and modulation of inflammation.	Sci Rep. 2024 Oct 11;14(1):23816. (オンライン)	Original Article
70	Harada W, Maeoka Y, Takahashi A, et al	腎臓内科	Successful treatment of severe renal failure caused by malignant hypertension using a combination of renin-angiotensin-aldosterone system inhibitors: a case report.	GEN Case Rep. 2025 Apr;14(2):200-207.	Case Report
71	Miyasako K, Nakashima A, Ishiuchi N, et al	腎臓内科	Impact of immunosuppressive drugs on efficacy of mesenchymal stem cell therapy for suppressing renal fibrosis.	Stem Cells Transl Med. 2024 Nov 12;13(11):1067-1085.	Original Article
72	Yoshida M, Maeoka Y, Takahashi A, et al	腎臓内科	Effect of Haemodiafiltration Versus Haemodialysis on Vascular Access Patency when Starting Haemodialysis.	Nephrol Dial Transplant. 2025 Jan 24;gfaf017.	Original Article
73	Uyama T, Koh I, Komoshita T, et al	産科婦人科	Mixed gonadal dysgenesis with gonadoblastoma diagnosed by prophylactic laparoscopic gonadectomy: A case report.	Exp Ther Med. 2024 Jul 9;28(3):358. (オンライン)	Case Report
74	Tatsugami F, Higaki T, Kawashita I, et al	放射線診断科	Deep-learning reconstruction enhances image quality of Adamkiewicz Artery in low-keV dual-energy CT.	Acta Radiol. 2024 Dec;65(12):1569-1575.	Original Article
75	Nishioka R, Kawahara D, Imano N, et al	放射線治療科	A nomogram-based survival prediction model for non-small cell lung cancer patients based on clinical risk factors and multiregion radiomics features.	Clin Radiol. 2025 May;84:106826.	Original Article
76	Kawahara D, Kishi M, Kadooka Y, et al	放射線治療科	Integrating radiomics and gene expression by mapping on the image with improved DeepInsight for clear cell renal cell carcinoma.	Cancer Genet. 2025 Apr;292-293:100-105.	Original Article
77	Imano N, Kosugi T, Konishi K, et al	放射線治療科	Pain response in single-fraction 8-Gy radiotherapy for painful non-bone-metastasis tumors: a single-center retrospective study.	J Radiat Res. 2024 May 23;65(3):408-412.	Original Article
78	Kawahara D, Nishioka R, Murakami Y, et al	放射線治療科	A nomogram based on pretreatment radiomics and dosimetrics features for predicting overall survival associated with esophageal squamous cell cancer.	Eur J Surg Oncol. 2024 Jul;50(7):108450.	Original Article
79	Kawahara D	放射線治療科	Enhancing targeted doses: Low-energy photon lipiodol-enhanced radiotherapy (LEPERT) for liver cancer patients.	J Appl Clin Med Phys. 2025 Mar;26(3):e14578.	Original Article
80	Miura H, Tanooka M, Ishihara S, et al	放射線治療科	The Development of Volumetric Quantitative Evaluation Software for Assessing Respiratory-Induced Target Motion.	Cureus. 2024 Nov 4;16(11):e72978. (オンライン)	Original Article
81	Kojima M, Touge R, Kurihara S, et al	小児外科	Coexistence of MYCN-activating mutation and amplification in a patient with neuroblastoma.	Pediatr Blood Cancer. 2024 Aug;71(8):e31115.	Case Report
82	Hiyama E, Hishiki T, Yoshimura K, et al	小児外科	Upfront or delayed surgery in resectable hepatoblastoma: analysis from the children's hepatic tumors international collaboration database.	EClinicalMedicine. 2024 Sep 9;76:102811. (オンライン)	Original Article

83	Kojima M, Touge R, Kurihara S, et al	小児外科	Successful mediastinal teratoma resection in a child by assisted VATS: a case report.	J Cardiothorac Surg. 2024 Sep 3;19(1):511. (オンライン)	Case Report
84	Saeki I, Ida K, Kurihara S, et al	小児外科	Successful treatment of young childhood standard-risk hepatoblastoma with cisplatin monotherapy using a central review system.	Pediatr Blood Cancer. 2024 Nov;71(11):e31255.	Original Article
85	Niitsu H, Nakahara H, Ishida K, et al	遺伝子診療科	Real-world data analysis for factors influencing the quality check status in FoundationOne CDx cancer genomic profiling tests.	Sci Rep. 2025 Feb 12;15(1):5167. (オンライン)	Original Article
86	Rikitake K, Kunimatsu R, Yoshimi Y, et al	矯正歯科	Investigation of Angiogenic Potential in CD146-Positive Stem Cells Derived from Human Exfoliated Deciduous Teeth.	Int J Mol Sci. 2025 Jan 24;26(3):974. (オンライン)	Original Article
87	Sakata S, Kunimatsu R, Tanimoto K	矯正歯科	Protective Effect of Ergothioneine against Oxidative Stress-Induced Chondrocyte Death.	Antioxidants (Basel). 2024 Jul 1;13(7):800. (オンライン)	Original Article
88	Ogasawara T, Ito S, Ogashira S, et al	矯正歯科	The expression of MIR125B transcripts and bone phenotypes in Mir125b2-deficient mice.	PLoS One. 2024 Jul 8;19(7):e0304074. (オンライン)	Original Article
89	Kusaka S, Akitomo T, Hamada M, et al	小児歯科	Usefulness of Generative Artificial Intelligence (AI) Tools in Pediatric Dentistry.	Diagnostics (Basel). 2024 Dec 14;14(24):2818. (オンライン)	Original Article
90	Konishi M, Shimabukuro K, Kakimoto N	歯科放射線科	Radiomics analysis of intraoral ultrasonographic images for prediction of late cervical lymph node metastasis in patients with tongue cancer: influence of marginal region.	Dentomaxillofac Radiol. 2025 Mar 21:twaf016.	Original Article
91	Yamaguchi H, Oda Y, Aoki G, et al	障害者歯科	Reproducibility of Tongue Pressure Values in Adults With Down Syndrome.	Spec Care Dentist. 2025 Jan-Feb;45(1):e70005.	Original Article
92	Nishi H, Kajiyama M, Ohta K, et al	口腔総合診療科	Relationship of oral bacterial number with medical hospitalization costs in analysis of Diagnosis Procedure Combination database from single institution in Japan.	Sci Rep. 2024 May 15;14(1):11114. (オンライン)	Original Article
93	Maida S, Nakagawa H, Ureshino H, et al	検査部	Dysmorphic megakaryocytes in TAFRO syndrome: A case series from a single institute.	Blood Cells Mol Dis. 2024 Sep;108:102870.	Case Report
94	Mokuda S, Kobayashi H, Araki K, et al	検査部	Frequent detection of anti-nuclear antibodies and low-titer rheumatoid factor in female patients with undifferentiated peripheral spondyloarthritis in Japan: a prospective observational study.	Mod Rheumatol. 2025 Feb 4:roaf010.	Original Article
95	Ueda N, Mokuda S, Kawaoka T, et al	検査部	Influence of dispersion slope on the diagnosis of liver fibrosis by the shear wave in metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease.	Hepatol Res. 2024 Dec;54(12):1139-1147.	Original Article
96	Tabata M, Nakai R, Kajihara K, et al	検査部	Performance evaluation and user experience of BT-50 transportation unit with automated and scheduled quality control measurements.	Clin Chem Lab Med. 2024 May 17;62(12):2461-2468. (オンライン)	Original Article

97	Matsumoto Y, Chikasue A, Kondo M, et al	放射線部	Feasibility of preventing massive contrast media extravasation using a sensor device in contrast-enhanced CT: an observational study.	Acta Radiol. 2024 Nov;65(11):1325-1331.	Original Article
98	Fujii T, Ishimura M, Takao S, et al	輸血部	Preference of treatment characteristics among people with haemophilia or their caregivers, and physicians in the Japanese healthcare environment.	Haemophilia. 2024 Jul;30(4):914-924.	Original Article
99	Itoh H, Hisamatsu T, Segawa K, et al	医療安全管理部	CTG repeat length underlying cardiac events and sudden death in myotonic dystrophy type 1.	Eur Heart J Open. 2024 Sep 18;4(5):oeae078. (オンライン)	Original Article
100	Shintani T, Higaki M, Rosli SNZ, et al	口腔検査センター	Potential treatment of squamous cell carcinoma by targeting heparin-binding protein 1/fibroblast growth factor-binding protein 1 with vitamin D(3) or eldcalcitol.	In Vitro Cell Dev Biol Anim. 2024 Jun;60(6):583-589.	Original Article
101	Ando T, Okamoto K, Ueda Y, et al	口腔検査センター	YAP/TAZ interacts with RBM39 to confer resistance against indisulam.	Oncogenesis. 2024 Jul 15;13(1):25. (オンライン)	Original Article
102	Obayashi N, Shintani T, Ando T, et al	口腔検査センター	Consideration of the work environment in a case of an industrial homemaker with allergic contact dermatitis by UV-curing acrylic resin.	Arch Environ Occup Health. 2024;79(9-10):315-320.	Case Report
103	Higashikawa F, Nakaniida Y, Li H, et al	未来医療センター	Beneficial Effects of Ginger Extract on Eye Fatigue and Shoulder Stiffness: A Randomized, Double-Blind, and Placebo-Controlled Parallel Study.	Nutrients. 2024 Aug 15;16(16):2715. (オンライン)	Original Article
104	Okamura A, Hashizume A, Kagawa K, et al	てんかんセンター	Magnetoencephalographic detection of synchronized epileptic activity between the hippocampus and insular cortex.	Epilepsy Behav Rep. 2024 Apr 18;26:100669. (オンライン)	Case Report
105	Sakoda R, Ishiuchi K, Yoshino T, et al	漢方診療センター	3-epi-18I2-Glycyrrhetic Acid or Its Glucuronide, the Metabolites of Glycyrrhizinic Acid with Individual Differences, Correlated with Diagnostic Marker for Licorice-Induced Pseudoaldosteronism in Humans.	Drug Metab Dispos. 2024 Nov 15;52(12):1407-1416. (オンライン)	Original Article
106	Yoshikawa H, Neshige S, Kagawa K, et al	薬剤部	A Survey on the Awareness of Epilepsy Treatments in Community Pharmacies.	Cureus. 2025 Feb 18;17(2):e79249. (オンライン)	Original Article
107	Yoshikawa H, Tomita T, Shigita E, et al	薬剤部	Evaluation of Sources of Drug Interaction Information for Nirmatrelvir/ritonavir.	Yakugaku Zasshi. 2024;144(7):733-740.	Original Article
108	Miki Y, Koga Y, Taogoshi T, et al	薬剤部	Assessment of the Safety of Exposure to Cefcapene Pivoxil during the First Trimester of Pregnancy: A Prospective Cohort Study in Japan.	Biol Pharm Bull. 2024;47(7):1301-1306.	Original Article
109	Yamada Y, Murase T, Mashida E, et al	薬剤部	The utility of Glaucoma Information Cards for grasping glaucoma subtypes: a single-center pilot study.	J Pharm Health Care Sci. 2025 Feb 4;11(1):11. (オンライン)	Original Article
110	Onishi S, Yamasaki F, Akiyama Y, et al	脳神経外科	Usefulness of synthetic MRI for differentiation of IDH-mutant diffuse gliomas and its comparison with the T2-FLAIR mismatch sign.	J Neurooncol. 2024 Nov;170(2):429-436.	Original Article

111	Kinoshita Y, Taguchi A, Yamasaki F, et al	脳神経外科	Pseudocapsular resection to prevent recurrence in nonfunctioning pituitary neuroendocrine tumors: a retrospective, single-center study with more than 5 years of follow-up.	J Neurosurg. 2024 Aug 2;142(1):224-229. (オンライン)	Original Article
112	Ikawa F, Michihata N, Oya S, et al	脳神経外科	Surgical Risk in Elderly Patients with Meningiomas in Japan.	J Clin Med. 2024 May 14;13(10):2882. (オンライン)	Original Article
113	Dowaki R, Yamasaki F, Kinoshita Y, et al	脳神経外科	Imaging characteristics and treatment of recurrent germinoma.	J Neurosurg. 2025 Jan 24:1-10.	Original Article
114	Kondo H, Ikawa F, Hara T, et al	脳神経外科	Questionnaire Survey on the Current Use of Brain Docks and Their Compliance with Guidelines in Japan.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2025 Apr 15;65(4):203-210.	Original Article
115	Kinoshita Y, Taguchi A, Yamasaki F, et al	脳神経外科	Management policy for postoperative acromegaly patients with normal IGF-1 and high GH levels on oral glucose tests.	Pituitary. 2024 Dec 26;28(1):4. (オンライン)	Original Article
116	Maeda Y, Mitsuahara T, Takeda M, et al	脳神経外科	Repeated human cranial bone-derived mesenchymal stem cell transplantation improved electrophysiological recovery in a spinal cord injury rat model.	Neurosci Lett. 2025 Jan 1;844:138031.	Original Article
117	Onishi S, Yamasaki F, Amatya VJ, et al	脳神経外科	Prognostic value of immunohistochemical staining for H3K27me3 and EZH2 in astrocytoma, IDH-mutant.	J Neurooncol. 2025 Mar;172(1):185-194.	Original Article
118	Horie N, Inoue M, Morimoto T, et al	脳神経外科	Recanalization Does Not Always Equate to Reperfusion: No-Reflow Phenomenon After Successful Thrombectomy.	Stroke. 2025 Jan;56(1):183-189.	Original Article
119	Onishi S, Kojima M, Yamasaki F, et al	脳神経外科	T2-FLAIR mismatch sign, an imaging biomarker for CDKN2A-intact in non-enhancing astrocytoma, IDH-mutant.	Neurosurg Rev. 2024 Aug 9;47(1):412. (オンライン)	Original Article
120	Ozono I, Onishi S, Yonezawa U, et al	脳神経外科	Super T2-FLAIR mismatch sign: a prognostic imaging biomarker for non-enhancing astrocytoma, IDH-mutant.	J Neurooncol. 2024 Sep;169(3):571-579.	Original Article
121	Kuwabara M, Mitsuahara T, Teranishi M, et al	脳神経外科	Human cranial bone-derived mesenchymal stem cells cultured under simulated microgravity can improve cerebral infarction in rats.	Exp Neurol. 2024 Dec;382:114947.	Original Article
122	Maeda Y, Ikawa F, Kuwabara M, et al	脳神経外科	Declining trend in the estimated annual rupture rate of unruptured cerebral aneurysms in Japan: a nationwide study.	Neurosurg Rev. 2024 Jul 17;47(1):336. (オンライン)	Original Article
123	Ishii D, Hara T, Kuwabara M, et al	脳神経外科	Outcome of CAS under flow reversal and analysis for the intraprocedural flow of internal carotid artery.	Clin Neurol Neurosurg. 2024 Sep;244:108443.	Original Article
124	Yasuoka Y, Yonezawa U, Nabika S, et al	脳神経外科	Preventing Post-incisional Dural Shrink in Craniotomy: Introducing the "Roll-up Technique".	Neurol Med Chir (Tokyo). 2024 Jul 15;64(7):278-282.	Original Article

125	Kuwabara M, Ikawa F, Nakazawa S, et al	脳神経外科	Artificial intelligence for volumetric measurement of cerebral white matter hyperintensities on thick-slice fluid-attenuated inversion recovery (FLAIR) magnetic resonance images from multiple centers.	Sci Rep. 2024 May 2;14(1):10104. (オンライン)	Original Article
126	Maeda Y, Mitsuhashi T, Saeki K, et al	脳神経外科	Relevance of the Foramen of Vesalius for Preoperative Tumor Embolization in Skull Base Meningioma.	World Neurosurg. 2024 Jul;187:e501-e508.	Original Article
127	Ikawa F, Ichihara N, Horie N, et al	脳神経外科	Machine learning validation of a simple prediction model for the correlation between advanced age and clinical outcomes in patients with aneurysmal subarachnoid hemorrhage.	Neurosurg Rev. 2025 Jan 14;48(1):44. (オンライン)	Original Article
128	Khairunnisa NI, Yamasaki F, Yonezawa U, et al	脳神経外科	Lack of Apparent Neurotoxicity in Older Patients with Primary Central Nervous System Lymphoma Receiving Long-term Tirabrutinib: Report of 2 Cases.	NMC Case Rep J. 2024 Dec 25;11:395-399. (オンライン)	Case Report
129	Kondo H, Ikawa F, Mayumi T, et al	脳神経外科	Questionnaire-based Survey on the Prevention of Surgical Site Infection after the Publication of Its Guidelines for Neurosurgery in Japan.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2025 Mar 15;65(3):141-147.	Original Article
130	Yasuoka Y, Yamasaki F, Ozono I, et al	脳神経外科	Multinodular and vacuolating posterior fossa lesions of unknown significance: a long-term observational study and literature review.	Childs Nerv Syst. 2024 Dec 21;41(1):63. (オンライン)	Case Report
131	Hara T, Ishii D, Kondo H, et al	脳神経外科	Utility of the turn-back supporting technique using a steerable intermediate catheter: illustrative case.	J Neurosurg Case Lessons. 2024 Nov 4;8(19):CASE24467. (オンライン)	Original Article
132	Askoro R, Kagawa K, Seyama G, et al	脳神経外科	Prediction of Seizure Outcome Using Combinations of Four Noninvasive Presurgical Modalities in Magnetic Resonance Imaging-negative Focal Intractable Epilepsy.	Neurol Med Chir (Tokyo). 2025 Feb 15;65(2):81-91.	Original Article
133	Toko M, Ohshita T, Nakamori M, et al	脳神経内科	Myelin measurement in amyotrophic lateral sclerosis with synthetic MRI: A potential diagnostic and predictive method.	J Neurol Sci. 2025 Jan 15;468:123337.	Original Article
134	Aoki S, Nishi H, Shiga Y, et al	脳神経内科	Fusobacterium nucleatum in the oral cavity is associated with cerebral small vessel disease in patients with ischemic stroke.	J Stroke Cerebrovasc Dis. 2025 Jan;34(1):108183.	Original Article
135	Ishikawa R, Sugimoto T, Ohno N, et al	脳神経内科	A Case of Anti-N-Methyl-D-Aspartate Receptor (NMDAR) Encephalitis With Video-Documented Psychogenic Nonepileptic Seizures (PNES)-Mimicking Episodes Initially Considered as Somatic Symptom Disorder.	Cureus. 2025 Feb 20;17(2):e79384. (オンライン)	Case Report
136	Nakamori M, Matsuyama R, Toko M, et al	脳神経内科	Investigation of the improvement of swallowing function with low-frequency pulse waves or interference waves delivered via cervical electrical stimulation in patients with Parkinson's disease: A randomized controlled study protocol.	Contemp Clin Trials Commun. 2025 Feb 20;44:101463. (オンライン)	Original Article
137	Yokosaki M, Neshige S, Maruyama H	脳神経内科	Boiled Sausage Sign: A Novel MRI Marker for Identifying Subacute Secondary Hydrocephalus in the Elderly.	Cureus. 2025 Mar 14;17(3):e80587. (オンライン)	Case Report
138	Ito S, Sugimoto T, Naito H, et al	脳神経内科	Zilucoplan for Successful Early Weaning From Mechanical Ventilation and Avoiding Tracheostomy in an 85-Year-Old Woman Experiencing Myasthenic Crisis: A Case Report.	Cureus. 2025 Mar 7;17(3):e80203. (オンライン)	Case Report

139	Muguruma K, Takahashi T, Tagane Y, et al	脳神経内科	Intracellular anionic substances cause tau liquid-liquid phase separation.	Biochem Biophys Res Commun. 2025 Apr 9;757:151605.	Original Article
140	Naito H, Sugimoto T, Hironaka A, et al	脳神経内科	Diagnostic value of lower extremity ultrasonographic nerve enlargement for differentiating demyelinating Charcot-Marie-Tooth disease from chronic inflammatory demyelinating polyneuropathy.	J Neurol Sci. 2024 May 15;460:122995.	Original Article
141	Eto F, Nezu T, Sakahara H, et al	脳神経内科	Intravenous Thrombolysis for Pediatric Ischemic Stroke Secondary to Cancer Therapy-related Cardiac Dysfunction.	Intern Med. 2025 Jan 15;64(2):287-291.	Case Report
142	Nakamori M, Toko M, Yamada H, et al	脳神経内科	Cervical percutaneous interferential current stimulation improves citric acid cough tests in patients with Parkinson's disease on medication.	Sci Rep. 2024 May 18;14(1):11386. (オンライン)	Original Article
143	Ishibashi H, Kobayashi K, Yamanaka H, et al	脳神経内科	Redefined giant somatosensory evoked potentials: Evoked epileptic complexes of excitatory and inhibitory components.	Clin Neurophysiol. 2024 Aug;164:119-129.	Original Article
144	Nakamori M, Ortega Fernandez O, Kayashita J, et al	脳神経内科	Editorial: New approaches to evaluation and management of dysphagia in neurological disease.	Front Neurol. 2024 Aug 14;15:1467206. (オンライン)	Original Article
145	Nonaka M, Neshige S, Ono N, et al	脳神経内科	Clinical manifestations and outcomes associated with a high 2HELPS2B score in patients with acute impaired consciousness.	J Neurol Sci. 2024 Oct 15;465:123174.	Original Article
146	Nezu T, Eto F, Hironaka A, et al	脳神経内科	Vagus nerve size determined via ultrasonography is associated with white matter lesions in patients with vascular risk factors.	J Ultrasound. 2024 Sep;27(3):723-732.	Original Article
147	Eto F, Nezu T, Nishi H, et al	脳神経内科	Oral condition at admission predicts functional outcomes and hospital-acquired pneumonia development among acute ischemic stroke patients.	Clin Oral Investig. 2024 Jul 19;28(8):434. (オンライン)	Original Article
148	Yamaoka M, Neshige S, Sasaki K, et al	脳神経内科	Multiple System Atrophy Masquerading as Drug-Resistant Orthostatic Hypotension.	Cureus. 2024 Sep 20;16(9):e69774. (オンライン)	Case Report
149	Yorichika Y, Neshige S, Sakahara H, et al	脳神経内科	Early initiation of intravenous cyclophosphamide and one-year outcome in super-refractory cryptogenic-new onset refractory status epilepticus.	Epilepsia Open. 2025 Feb;10(1):307-313.	Case Report
150	Neshige S, Kuriyama M, Ota S	脳神経内科	Diffusion-weighted imaging findings predictive of postoperative recurrence of chronic subdural hematoma.	J Neurol Sci. 2024 Dec 15;467:123324.	Original Article
151	Yamada H, Nakamori M, Oda M, et al	脳神経内科	Time-course assessment of oral intake function and its impact on end-of-life in older individuals over 90a?years with frailty.	Geriatr Gerontol Int. 2025 Jan;25(1):96-101.	Original Article
152	Nakamori M, Yoshikawa K, Toko M, et al	脳神経内科	High-density surface electromyography evaluation of the suprahyoid muscles in patients with Parkinson's disease.	J Neurol Sci. 2024 Nov 15;466:123266.	Original Article

153	Tachiyama K, Naito H, Nakamori M, et al	脳神経内科	Pembrolizumab-associated Neuropathy with Improved Lower Limb Somatosensory Evoked Potential After Intravenous Methylprednisolone Treatment.	Intern Med. 2025 May 1;64(9):1408-1411.	Case Report
154	Sugimoto T, Suzuki S, Uzawa A, et al	脳神経内科	Worsening of myasthenic symptoms associated with statins.	J Neurol Sci. 2024 Sep 15;464:123154.	Original Article
155	Yokosaki M, Neshige S, Takahashi N, et al	脳神経内科	Seizure clusters with typical "evolution" in EEG.	QJM. 2025 Feb 4:hcaf014.	Original Article
156	Naito H, Nakamori M, Toko M, et al	脳神経内科	A single-center, single-arm, prospective, open-label, and comparative trial to evaluate the safety and tolerability profile of a 90-day oral L-arginine hydrochloride intervention for patients with amyotrophic lateral sclerosis.	Sci Rep. 2025 Jan 7;15(1):1120. (オンライン)	Original Article
157	Toko M, Nezu T, Eto F, et al	脳神経内科	Usefulness of Myelin Quantification Using Synthetic Magnetic Resonance Imaging for Predicting Outcomes in Patients With Acute Ischemic Stroke.	Stroke. 2025 Mar;56(3):649-656.	Original Article
158	Tachiyama K, Kanbayashi T, Kawabata A, et al	脳神経内科	Pitfalls of the E-Ref Procedure: Tie Values and the Proportion of the Abnormal Data.	Muscle Nerve. 2025 Mar;71(3):435-441.	Original Article
159	Maetani Y, Kurashige T, Tada Y, et al	脳神経内科	Optineurin knock-out forms TDP-43 aggregates to regulate TDP-43 protein levels despite autophagic up-regulation and aberrant TDP-43 expression.	Neurosci Res. 2025 Mar 22:S0168-0102(25)00064-1.	Original Article
160	Ohno N, Neshige S, Abe T, et al	脳神経内科	Screening of toxic-metabolic encephalopathy with and without epileptic seizure with density spectral array.	J Neurol Sci. 2025 May 15;472:123462.	Original Article
161	Ohno N, Neshige S, Nonaka M, et al	脳神経内科	Alpha-band activity in density spectral array predictive for neurological outcome in patients with hypoxic-ischemic encephalopathy.	Clin Neurol Neurosurg. 2025 Mar;250:108791.	Original Article
162	Neshige S, Aoki S, Ohno N, et al	脳神経内科	Interictal head-turning sign in patients with idiopathic generalized epilepsy during initial medical interview: A matched multicenter study.	Epilepsy Behav. 2024 Nov;160:110039.	Original Article
163	Neshige S, Takebayashi Y, Ishikawa R, et al	脳神経内科	Presenteeism in people with previous and current epilepsy: Determinants and psychosocial associations.	Seizure. 2025 Feb;125:16-22.	Original Article
164	Neshige S, Sakahara H, Maruyama H	脳神経内科	Rhythmic Delta Activity beyond Neuroleptic Malignant Syndrome.	Intern Med. 2025 May 1;64(9):1446-1447.	Original Article
165	Yokoyama S, Adachi T, Yoshino A	精神科	Unraveling pain experience and catastrophizing after cognitive behavioral therapy.	Sci Rep. 2024 Jul 26;14(1):17176. (オンライン)	Original Article
166	Oga K, Fuchikami M, Kobayashi H, et al	精神科	Involvement of dysregulated hippocampal histone H3K9 methylation at the promoter of the BDNF gene in impaired memory extinction.	Psychopharmacology (Berl). 2024 Nov;241(11):2363-2374.	Original Article

167	Tokumo K, Yokoyama M, Baba T, et al	眼科	One-Year Outcomes of Gonio Scratch as a Minimally Invasive Glaucoma Surgery with Cataract Removal.	J Glaucoma. 2025 Mar 13.	Original Article
168	Komatsu K, Yoshikawa T, Kiuchi Y	眼科	A Case of Pediatric Myasthenia Revealed by Marked Eyelid Ptosis After Using Cyclopentolate Eye Drops.	Cureus. 2025 Mar 3;17(3):e79945. (オンライン)	Case Report
169	Sueoka K, Chikama T, Shinji K, et al	眼科	Effectiveness of laser pulsed irradiation for antimicrobial photodynamic therapy.	Lasers Med Sci. 2024 Jun 5;39(1):151. (オンライン)	Original Article
170	Fukuto A, Shinji K, Deie S, et al	眼科	Rapid Corneal Calcification Following Endothelial Keratoplasty: A Case Report.	Cureus. 2024 May 23;16(5):e60956. (オンライン)	Case Report
171	Muhlisah A, Hirooka K, Nurtania A, et al	眼科	Effect of ripasudil after trabeculectomy with mitomycin C: a multicentre, randomised, prospective clinical study.	BMJ Open Ophthalmol. 2024 Jul 2;9(1):e001449. (オンライン)	Original Article
172	Sadahide A, Itoh H, Moritou K, et al	眼科	A Clinical Trial Evaluating the Efficacy of Deep Learning-Based Facial Recognition for Patient Identification in Diverse Hospital Settings.	Bioengineering (Basel). 2024 Apr 15;11(4):384. (オンライン)	Original Article
173	Onoe H, Hirooka K, Baba T, et al	眼科	The Efficacy and Safety Associated with Switching from Concomitant Brimonidine and Ripasudil, or Brimonidine or Ripasudil Monotherapy to a Fixed Combination of Brimonidine and Ripasudil in Glaucoma Patients.	J Clin Med. 2024 Jul 16;13(14):4158. (オンライン)	Original Article
174	Sadahide A, Ohara H, Oda R, et al	眼科	Ciliochoroidal Detachment After Intraclear Lens Fixation Using the Yamane Technique.	Cureus. 2024 Aug 10;16(8):e66562. (オンライン)	Original Article
175	Sada I, Hiyama T, Orihashi Y, et al	眼科	Early Immunosuppressive Therapy and Ocular Complications in Pediatric and Young Adult Patients with Non-Infectious Uveitis at a Tertiary Referral Center in Japan.	Ocul Immunol Inflamm. 2024 Dec;32(10):2459-2466.	Original Article
176	Hirooka K, Higashide T, Sakaguchi K, et al	眼科	Prevalence of Normal-Tension Glaucoma in Patients With Primary Aldosteronism.	Am J Ophthalmol. 2025 Jan;269:339-345.	Original Article
177	Miyako F, Hirooka K, Onoe H, et al	眼科	Risk factors for transient ciliochoroidal detachment after goniotomy with the Kahook Dual Blade.	Sci Rep. 2024 Sep 17;14(1):21725. (オンライン)	Original Article
178	Kishi Y, Hiyama T, Harada Y	眼科	Unilateral Hypopyon: Iris Metastasis of Urothelial Carcinoma.	Ophthalmology. 2025 Jun;132(6):e101.	Original Article
179	Fukuto A, Mitoma K, Nakamura K, et al	眼科	Fungal Keratitis Caused by Humicola sardiniae.	Mycopathologia. 2024 Dec 23;190(1):4. (オンライン)	Original Article
180	Edo A, Hirooka K, Okumichi H, et al	眼科	Surgical outcomes after trabeculotomy for primary congenital glaucoma.	Jpn J Ophthalmol. 2025 Jan;69(1):123-130.	Original Article

181	Ishino T, Nakagawa K, Higashikawa F, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Intelligibility Sound Therapy Enhances the Ability of Speech-in-Noise Perception and Pre-Perceptual Neurophysiological Response.	Biology (Basel). 2024 Dec 6;13(12):1021. (オンライン)	Original Article
182	Hattori T, Ueda T, Sato Y, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Baseline eosinophil proportion is a useful predictor of immune-related adverse events following immune checkpoint inhibitor treatment for recurrent metastatic head and neck cancer.	Acta Otolaryngol. 2024 Sep;144(9):515-523.	Original Article
183	Tsubokawa N, Mimae T, Miyata Y, et al	消化器外科	Comparative oncological features of centrally and peripherally located small-sized radiologically solid-dominant non-small-cell lung cancer.	Eur J Cardiothorac Surg. 2025 Mar 28;67(4):ezaf072.	Original Article
184	Hirohata R, Hamai Y, Emi M, et al	消化器外科	Risk factors for recurrence of esophageal squamous cell carcinoma after pathological complete response to neoadjuvant therapy followed by esophagectomy.	World J Surg. 2024 Jul;48(7):1700-1709.	Original Article
185	Kamigaichi A, Mimae T, Tsubokawa N, et al	消化器外科	Segmentectomy versus lobectomy in younger patients with early-stage non-small cell lung cancer.	Interdiscip Cardiovasc Thorac Surg. 2025 Feb 5;40(2):ivaf024.	Original Article
186	Kumada T, Mimae T, Tsubokawa N, et al	消化器外科	Role of guanylate-binding protein 1 in the proliferation of invasive lung adenocarcinoma cells.	Front Oncol. 2025 Feb 13;15:1434249. (オンライン)	Original Article
187	Tsubokawa N, Mimae T, Mimura T, et al	消化器外科	Postoperative pulmonary function of patients with lung cancer and interstitial lung abnormalities.	Gen Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Dec;72(12):786-795.	Original Article
188	Ishida M, Mimae T, Okada M	消化器外科	ASO Author Reflections: How Does Emphysema Contribute to Poor Prognosis After Lung Cancer Surgery?	Ann Surg Oncol. 2024 Jul;31(7):4323-4324.	Original Article
189	Ishida M, Mimae T, Kamigaichi A, et al	消化器外科	The Role of Emphysema on Postoperative Prognosis in Early-Stage Nonsmall Cell Lung Cancer.	Ann Surg Oncol. 2024 Aug;31(8):5055-5063.	Original Article
190	Izaki Y, Mimae T, Kagimoto A, et al	消化器外科	Differences in postoperative prognosis between early-stage lung adenocarcinoma and squamous cell carcinoma.	Jpn J Clin Oncol. 2024 Jul 7;54(7):813-821.	Original Article
191	Tsubokawa N, Mimae T, Saeki A, et al	消化器外科	Feasibility and comparative prognosis of segmentectomy versus lobectomy in centrally located small and solid dominant cN0 non-small cell lung cancer.	J Thorac Cardiovasc Surg. 2025 Feb;169(2):427-435.e2.	Original Article
192	Tsutani Y, Miyata Y, Suzuki K, et al	消化器外科	Pathologic Response and Survival after Neoadjuvant Chemotherapy with Bevacizumab Followed by Surgery for Clinical Stage II/IIIA Nonsquamous Non-Small-Cell Lung Cancer: Results from a Phase II Feasibility Study (NAVAL).	Cancers (Basel). 2024 Jun 27;16(13):2363. (オンライン)	Original Article
193	Hamai Y, Ibuki Y, Kurokawa T, et al	消化器外科	Relationship of Immune-Related Adverse Events with Tumor Response and Prognosis in Esophageal Squamous Cell Carcinoma Following Nivolumab Monotherapy.	Cancers (Basel). 2024 Oct 18;16(20):3529. (オンライン)	Original Article
194	Hirohata R, Yamamoto Y, Mimae T, et al	消化器外科	Prediction of Pathologic Complete Response in Esophageal Squamous Cell Carcinoma Using Preoperative Serum Small Ribonucleic Acid Obtained After Neoadjuvant Chemoradiotherapy.	Ann Surg Oncol. 2025 Jan;32(1):570-580.	Original Article

195	Ohsawa M, Hamai Y, Emi M, et al	消化器外科	Recurrence and prognostic predictors in pathologic T1N0 esophageal squamous cell carcinoma treated with surgery alone.	Surgery. 2025 Feb;178:108863.	Original Article
196	Ohsawa M, Nishi H, Emi M, et al	消化器外科	Impact of Fusobacterium nucleatum in the treatment of cancer, including radiotherapy and its future potential in esophageal cancer.	J Radiat Res. 2024 Dec 16;65(Supplement_1):i126-i134.	Original Article
197	Fujiwara M, Mimae T, Kushitani K, et al	消化器外科	Mitochondrial Metabolism as a Potential Novel Therapeutic Target for Lung Adenocarcinoma.	Anticancer Res. 2024 Dec;44(12):5241-5252.	Original Article
198	Ueda D, Mimae T, Okada M	消化器外科	ASO Author Reflections: Surgical Procedures for Early-Stage Lung Cancer Patients with Low Muscle Mass.	Ann Surg Oncol. 2025 Jun;32(6):4191-4192.	Original Article
199	Sueoka S, Kai A, Kobayashi Y, et al	消化器外科	Diversity of ER-positive and HER2-negative breast cancer stem cells attained using selective culture techniques.	Sci Rep. 2025 Mar 10;15(1):8257. (オンライン)	Original Article
200	Mimae T, Okada M	消化器外科	Reply: Tumor distance from the mediastinum as a preoperative predictor for occult mediastinal nodal metastasis.	J Thorac Cardiovasc Surg. 2024 Nov;168(5):e138-e139.	Letter
201	Shigematsu H, Fukui K, Kanou A, et al	消化器外科	A nomogram to predict the pathological complete response in patients with breast cancer based on the TILs-US score.	Jpn J Clin Oncol. 2024 Sep 4;54(9):967-974.	Original Article
202	Sasada S, Kumamaru H, Hayashi N, et al	消化器外科	Impact of immediate breast reconstruction on perioperative therapy: insights from a Japanese Nationwide Registry.	Breast Cancer. 2024 Sep;31(5):909-916.	Original Article
203	Emi M, Hamai Y, Yoshikawa T, et al	消化器外科	Postoperative Lymph Node Recurrence in Esophageal Cancer After Surgery and Prognosis of Chemoradiotherapy.	Cancer Diagn Progn. 2024 May 3;4(3):276-280. (オンライン)	Original Article
204	Sasada S, Nagura N, Shimo A, et al	消化器外科	Impact of radiation therapy for breast cancer with involved surgical margin after immediate breast reconstruction: A multi-institutional observational study.	Eur J Surg Oncol. 2024 Jun;50(6):108360.	Original Article
205	Shigematsu H, Fukui K, Kanou A, et al	消化器外科	Diagnostic performance of TILs-US score and LPBC in biopsy specimens for predicting pathological complete response in patients with breast cancer.	Int J Clin Oncol. 2024 Dec;29(12):1860-1869.	Original Article
206	Shigematsu H, Fujimoto M, Suzuki K, et al	消化器外科	Evaluating the risk of underdiagnosis of invasive breast cancer in needle biopsy-diagnosed ductal carcinoma in situ eligible for radiofrequency ablation.	World J Surg Oncol. 2025 Feb 5;23(1):43. (オンライン)	Original Article
207	Ikegami Y, Kitagawa T, Sada Y, et al	循環器内科	Myocardial T1 Mapping, Left Ventricular Parameters, and Cardiac Biomarkers in Wild-Type Transthyretin Amyloid Cardiomyopathy Before and After Tafamidis Treatment.	Circ Rep. 2025 Feb 1;7(3):198-206. (オンライン)	Original Article
208	Takahari K, Utsunomiya H, Tohgi K, et al	循環器内科	Tissue-tracking mitral annular displacement predicts impaired left ventricular mechanics and adverse outcomes in aortic stenosis with preserved left ventricular ejection fraction.	Int J Cardiol. 2025 May 15;427:133106.	Original Article

209	Oguri N, Okubo Y, Ishibashi N, et al	循環器内科	Novel omnipolar mapping technology for effective superior vena cava isolation: A randomized clinical trial.	J Arrhythm. 2025 Jan 23;41(1):e70007. (オンライン)	Original Article
210	Takeuchi M, Utsunomiya H, Tohgi K, et al	循環器内科	Prediction of tricuspid regurgitation regression after mitral valve transcatheter edge-to-edge repair using three-dimensional transoesophageal echocardiography.	Eur Heart J Imaging Methods Pract. 2025 Jan 29;3(1):qyaf016. (オンライン)	Original Article
211	Okubo Y, Matsuzaki H, Miyamoto S, et al	循環器内科	Utility of using far-field R-wave signals in the detection of fatal ventricular arrhythmia.	J Arrhythm. 2024 Dec 23;41(1):e13207. (オンライン)	Original Article
212	Miyamoto S, Tokuyama T, Okubo Y, et al	循環器内科	Decreased plasma cell-free mitochondrial DNA may be a new biomarker of tachycardia-induced cardiomyopathy in patients with atrial fibrillation.	Int J Cardiol. 2024 Dec 15;417:132579.	Original Article
213	Miyauchi S, Kawada-Matsuo M, Furusho H, et al	循環器内科	Atrial Translocation of Porphyromonas gingivalis Exacerbates Atrial Fibrosis and Atrial Fibrillation.	Circulation. 2025 Mar 18.	Original Article
214	Karasaki K, Ishida M, Kokubo H, et al	循環器内科	Aged Garlic Extract Attenuates CaCl ₂ -Induced Abdominal Aortic Aneurysm Formation by Inhibiting Matrix Metalloproteinase 9 Expression in Macrophages.	Mol Nutr Food Res. 2025 May;69(9):e70028.	Original Article
215	Okamura S, Ochi H, Nakashima M, et al	循環器内科	Clinical Features of Brugada Syndrome Patients With SCN5A Variants.	J Cardiovasc Electrophysiol. 2025 Mar 24.	Original Article
216	Yamaji T, Harada T, Hashimoto Y, et al	循環器内科	Effects of BNT162b2 mRNA Covid-19 vaccine on vascular function.	PLoS One. 2024 Apr 30;19(4):e0302512. (オンライン)	Original Article
217	Kitagawa T, Sentani K, Ikegami Y, et al	循環器内科	Relationship Between Clinical Parameters and Histological Features of Epicardial Adipose Tissue and Aortic Valve Calcification Assessed on Computed Tomography.	Circ J. 2024 Nov 25;88(12):1986-1995.	Original Article
218	Miyauchi S, Ouhara K, Shintani T, et al	循環器内科	Periodontal Treatment During the Blanking Period Improves the Outcome of Atrial Fibrillation Ablation.	J Am Heart Assoc. 2024 Apr 16;13(8):e033740.	Original Article
219	Odake Y, Tokuyama T, Aonuma K, et al	循環器内科	The benefits of ablation using TactiFlex compared with TactiCath in an ex vivo model: a face-to-face experimental comparison study.	J Interv Card Electrophysiol. 2024 Aug 20.	Original Article
220	Okubo Y, Sakai T, Miyamoto S, et al	循環器内科	Mid-term clinical outcomes of left bundle branch area pacing compared to accurate right ventricular septal pacing.	J Interv Card Electrophysiol. 2025 Jan;68(1):55-63.	Original Article
221	Morita Y, Ikenaga H, Takeda A, et al	循環器内科	Association between the Mean Platelet Volume and Prosthesis-patient Mismatch after Transcatheter Aortic Valve Replacement.	Intern Med. 2025 Apr 15;64(8):1171-1179.	Original Article
222	Okubo Y, Miyamoto S, Oguri N, et al	循環器内科	Novel ablation strategy to target slow conduction velocity areas in atrial fibrillation.	Heart Rhythm. 2024 Oct 9:S1547-5271(24)03422-2.	Original Article

223	Nakano T, Ikenaga H, Takeda A, et al	循環器内科	Association between lipid-rich plaques and thrombus formation after excimer laser coronary angioplasty in in-stent restenosis and de novo lesions.	Lasers Med Sci. 2024 Dec 16;39(1):295. (オンライン)	Original Article
224	Sumiyoshi T, Uemura K, Seo S, et al	小児外科	Impact of pre-compression versus non-compression before parenchyma transection in left-sided pancreatic resection on the rate of clinically relevant pancreatic fistula: multicentre randomized clinical trial.	Br J Surg. 2025 Feb 1;112(2):znaf008.	Original Article
225	Ueki S, Shoji T, Kaneta H, et al	小児外科	Preoperative Risk Factors for Persistent Pain After Total Hip Arthroplasty for Hip Osteoarthritis: The Influence of Neuropathic Pain, Central Sensitization, and Pain Catastrophizing.	Cureus. 2025 Mar 17;17(3):e80698. (オンライン)	Original Article
226	Ono K, Ide K, Nakano R, et al	小児外科	Polymorphisms in genes involved in regulating follicular helper T cell differentiation predict de novo donor-specific antibody formation after liver transplantation.	Hum Immunol. 2024 Nov;85(6):111103.	Original Article
227	Shirakawa K, Nakazato R, Hara T, et al	小児外科	A type of pancreatic cancer cells form cell clusters from a solitary condition in a primary ciliogenesis-dependent manner.	Med Mol Morphol. 2025 Mar 12.	Original Article
228	Ishikawa M, Tsuji S, Kamei G, et al	小児外科	First-in-human exploratory trial assessing safety, feasibility, and efficacy of artificial protein (silk-elastin) in promoting healing in patients with meniscus injuries.	Sci Rep. 2025 Feb 7;15(1):4658. (オンライン)	Original Article
229	Shintakuya R, Uemura K, Sumiyoshi T, et al	小児外科	Significance of administering postoperative pancreatic enzyme replacement therapy for fat digestion and absorption functions in patients who underwent initial total pancreatectomy.	Pancreatology. 2025 Feb;25(1):160-166.	Original Article
230	Kawabata S, Nakasa T, Ikuta Y, et al	小児外科	Effects of Preoperative Abnormality of Posterior Tibial Tendon on the Surgical Outcomes of Medial Osteochondral Lesion of the Talus.	Cureus. 2024 Jun 10;16(6):e62046. (オンライン)	Original Article
231	Ueki S, Shoji T, Kaneta H, et al	小児外科	Association between cup fixation screw and iliopsoas impingement after total hip arthroplasty.	Clin Biomech (Bristol). 2024 Aug;118:106315.	Original Article
232	Ashsholih KR, Takasaki T, Tomota M, et al	小児外科	Successful repair of recurrent ventricular septal perforation after myocardial infarction using double patch technique via right ventriculotomy: a case report.	J Cardiothorac Surg. 2024 Apr 20;19(1):249. (オンライン)	Case Report
233	Sumiyoshi T, Uemura K, Shintakuya R, et al	小児外科	Clinical Utility of the Combined Use of CA19-9 and DUPAN-2 in Pancreatic Adenocarcinoma.	Ann Surg Oncol. 2024 Jul;31(7):4665-4672.	Original Article
234	Kamei G, Nekomoto A, Mochizuki Y, et al	小児外科	Increased Posterior Condylar Offset Decreases the Extension Gap in Cases With Flexion Contracture in Modified Gap Technique Total Knee Arthroplasty.	Cureus. 2024 Apr 26;16(4):e59067. (オンライン)	Original Article
235	Matsui K, Tani R, Yamasaki S, et al	小児外科	Analysis of Oral and Gut Microbiome Composition and Its Impact in Patients with Oral Squamous Cell Carcinoma.	Int J Mol Sci. 2024 May 31;25(11):6077. (オンライン)	Original Article
236	Yamane H, Ide K, Tanaka Y, et al	小児外科	Association of PIRCHE-II score with anti-donor T-cell response and risk of de novo donor-specific antibody production in kidney transplant recipients.	Transpl Immunol. 2024 Dec;87:102145.	Original Article

237	Kitagawa H, Kojima M, Tadera K, et al	小児外科	Clinical diagnostic performance of droplet digital PCR for pathogen detection in patients with Escherichia coli bloodstream infection: a prospective observational study.	BMC Infect Dis. 2024 Jan 6;25(1):22. (オンライン)	Original Article
238	Hayes GN, Nakahara H, Ono A, et al	消化器内科	From Omics to Multi-Omics: A Review of Advantages and Tradeoffs.	Genes (Basel). 2024 Nov 29;15(12):1551. (オンライン)	Original Article
239	Furukawa M, Ishii Y, Tatsukawa Y, et al	消化器内科	Endoscopic Retrograde Cholangiopancreatography-Related Procedures for the Differential Diagnosis of Isolated Immunoglobulin G4-Related Sclerosing Cholangitis and Perihilar Cholangiocarcinoma.	Diagnostics (Basel). 2024 Jul 26;14(15):1621. (オンライン)	Original Article
240	Hirata I, Tsuboi A, Matsubara Y, et al	消化器内科	Clinical usefulness and acceptability of small-bowel capsule endoscopy with panoramic imaging compared with axial imaging in Japanese patients.	DEN Open. 2024 Jun 6;5(1):e389. (オンライン)	Original Article
241	Nakamura S, Serikawa M, Ishii Y, et al	消化器内科	Mixed neuroendocrine-non-neuroendocrine neoplasm of the bile duct with long-term prognosis after neoadjuvant chemotherapy.	Clin J Gastroenterol. 2024 Aug;17(4):717-723.	Case Report
242	Miyamoto R, Takigawa H, Yuge R, et al	消化器内科	Analysis of anti-tumor effect and mechanism of GLS1 inhibitor CB-839 in colorectal cancer using a stroma-abundant tumor model.	Exp Mol Pathol. 2024 Jun;137:104896.	Original Article
243	Matsubara Y, Tsuboi A, Hirata I, et al	消化器内科	Predictive factors of portal hypertensive enteropathy exacerbations based on long-term outcomes.	BMC Gastroenterol. 2024 Aug 26;24(1):287. (オンライン)	Original Article
244	Ishii Y, Serikawa M, Uemura K, et al	消化器内科	Impact of endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration on positive peritoneal lavage cytology in patients with resectable pancreatic body and tail cancer.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2024 Dec;31(12):897-905.	Original Article
245	Uchikawa S, Kawaoka T, Murakami S, et al	消化器内科	Significance of changes in tumor markers in patients treated with durvalumab plus tremelimumab combination therapy as a surrogate marker for tumor response to unresectable hepatocellular carcinoma.	Hepatol Res. 2024 Aug 17.	Original Article
246	Kosaka M, Fujino H, Tsuge M, et al	消化器内科	Usefulness of serum HBV RNA levels for predicting antiviral response to entecavir treatment in patients with chronic hepatitis B.	J Gastroenterol. 2025 Apr;60(4):469-478.	Original Article
247	Nakamura K, Ishii Y, Tatsukawa Y, et al	消化器内科	Comparative study of therapeutic outcomes in patients who developed hepatolithiasis after hepaticojejunostomy: balloon-assisted enteroscopic approach versus percutaneous transhepatic approach.	Surg Endosc. 2025 Feb;39(2):1160-1168.	Original Article
248	Bao H, Murakami S, Tsuge M, et al	消化器内科	Alteration of Gene Expression After Entecavir and Pegylated Interferon Therapy in HBV-Infected Chimeric Mouse Liver.	Viruses. 2024 Nov 6;16(11):1743. (オンライン)	Original Article
249	Mori T, Ishii Y, Tatsukawa Y, et al	消化器内科	Optimal indication of adding pancreatic juice cytology in the diagnosis of malignant intraductal papillary mucinous neoplasm of the pancreas.	Pancreatology. 2025 Feb;25(1):118-124.	Original Article
250	Iijima N, Nakamura S, Ishii Y, et al	消化器内科	A case of malignant lymphoma of the extrahepatic bile duct diagnosed by detailed imaging examination and endoscopic ultrasound-guided fine needle aspiration.	Clin J Gastroenterol. 2025 Feb;18(1):176-182.	Case Report

251	Fukuhara M, Urabe Y, Nakamura T, et al	消化器内科	Comparative analyses of short- and long-term outcomes between endoscopic submucosal dissection and endoscopic laryngo-pharyngeal surgery for superficial pharyngeal carcinomas.	DEN Open. 2024 Sep 12;5(1):e70003. (オンライン)	Original Article
252	Tanaka A, Kawaoka T, Uchikawa S, et al	消化器内科	A case of complete response to radiotherapy combined with durvalumab and tremelimumab in a patient with unknown primary hepatocellular carcinoma arising in the lumbar spine.	Clin J Gastroenterol. 2025 Feb;18(1):107-113.	Case Report
253	Nakahara H, Ono A, Hayes CN, et al	消化器内科	Multomics Analysis of Liver Molecular Dysregulation Leading to Nonviral-Related Hepatocellular Carcinoma Development.	J Proteome Res. 2025 Mar 7;24(3):1102-1117.	Original Article
254	Nakahara H, Ono A, Hayes CN, et al	消化器内科	Prediction of Hepatocellular Carcinoma After Hepatitis C Virus Sustained Virologic Response Using a Random Survival Forest Model.	JCO Clin Cancer Inform. 2024 Dec;8:e2400108.	Original Article
255	Imaoka K, Shimomura M, Okuda H, et al	消化器外科	Multivisceral resection as a key indicator of recurrence in locally advanced colorectal cancers with pathologic T3 tumors.	J Gastrointest Surg. 2025 May;29(5):102015.	Original Article
256	Shinohara M, Nakano R, Honmyo N, et al	消化器外科	Recurrent Liver Abscess Caused by Mucoid-Type Klebsiella pneumoniae Successfully Treated With Hepatic Artery Antibiotic Infusion Therapy: A Case Report.	Cureus. 2025 Feb 22;17(2):e79451. (オンライン)	Case Report
257	Nakamura M, Tanaka Y, Hakoda K, et al	消化器外科	Antitumor effects of natural killer cells derived from gene-engineered human-induced pluripotent stem cells on hepatocellular carcinoma.	Cancer Immunol Immunother. 2025 Feb 4;74(3):99. (オンライン)	Original Article
258	Arata R, Tanimine N, Seidakhmetov A, et al	消化器外科	Discrimination of Anti-Donor Response in Allogeneic Transplantation Using an Alloreactive T-Cell Detection Assay.	Transpl Int. 2025 Jan 28;38:13879. (オンライン)	Original Article
259	Imaoka K, Shimomura M, Okuda H, et al	消化器外科	Intraoperative Blood Loss Predicts Local Recurrence After Curative Resection for Stage I-III Colorectal Cancer.	World J Surg. 2025 May;49(5):1172-1182.	Original Article
260	Saegusa Y, Yamamoto S, Shincho A, et al	消化器外科	Streptococcal Toxic Shock Syndrome Caused by Cellulitis Following a Fall: A Report of Two Critical Cases.	Cureus. 2025 Mar 19;17(3):e80806. (オンライン)	Case Report
261	Matsubara K, Kobayashi T, Tadokoro T, et al	消化器外科	The Dominant Component and Clinicopathological Characteristics of Combined Hepatocellular-cholangiocarcinoma After Radical Resection.	Anticancer Res. 2024 Oct;44(10):4551-4559.	Original Article
262	Tsukiyama N, Tanaka Y, Yamane H, et al	消化器外科	Impacts of high mobility group box protein 1 gene polymorphisms on morbidity and mortality after living donor liver transplantation.	Transpl Immunol. 2025 May;90:102225.	Original Article
263	Bekki T, Ohira M, Imaoka Y, et al	消化器外科	The steatosis-associated fibrosis estimator score is a useful indicator of recurrence and survival after initial curative hepatectomy for hepatocellular carcinoma.	Ann Gastroenterol Surg. 2024 Jul 23;9(1):178-187. (オンライン)	Original Article
264	Tadokoro T, Kobayashi T	消化器外科	ASO Author Reflections: Albumin-Butyrylcholinesterase as a Novel Prognostic Biomarker for Hepatocellular Carcinoma Post-hepatectomy: A Retrospective Cohort Study with the Hiroshima Surgical Study Group of Clinical	Ann Surg Oncol. 2025 Mar;32(3):1989-1990.	Original Article

265	Imaoka Y, Ohira M, Imaoka K, et al	消化器外科	Interleukin-33 and liver natural killer cells: A novel perspective on antitumor activity in liver fibrosis.	Hepatol Res. 2024 Aug 12.	Original Article
266	Bekki T, Shimomura M, Yano T, et al	消化器外科	Reply to Letter to Editor Regarding Article "C-Reactive Protein/Albumin Ratio is an Independent Risk Factor for Recurrence and Survival Following Curative Resection of Stage I-III Colorectal Cancer in Older Patients".	Ann Surg Oncol. 2024 Jul;31(7):4248-4249.	Letter
267	Sada H, Hinoi T, Niitsu H, et al	消化器外科	Right-sided versus left-sided colorectal cancer in elderly patients: a sub-analysis of a large multicenter case-control study in Japan.	Surg Today. 2024 Oct;54(10):1173-1183.	Original Article
268	Namba Y, Kobayashi T, Tadokoro T, et al	消化器外科	Effect of genetic polymorphisms of interleukin-1 beta on the microscopic portal vein invasion and prognosis of hepatocellular carcinoma.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2024 Aug;31(8):528-536.	Original Article
269	Matsubara K, Kuroda S, Kobayashi T, et al	消化器外科	Feasibility, safety, and efficacy of intraoperative magnetic resonance imaging-guided hepatectomy for small hepatocellular carcinoma: A retrospective study.	PLoS One. 2024 Jun 28;19(6):e0306307. (オンライン)	Original Article
270	Nakagawa M, Tanimine N, Sakai H, et al	消化器外科	A case of successful management for spontaneous rupture of paraganglioma treated with preoperative transcatheter arterial embolization.	Surg Case Rep. 2024 Jun 21;10(1):158. (オンライン)	Original Article
271	Tadokoro T, Kato A, Ohmori H, et al	消化器外科	Serum Calcification Propensity T50 Is Associated with Soluble Thrombomodulin in Patients on Hemodialysis.	J Clin Med. 2024 Jun 14;13(12):3491. (オンライン)	Original Article
272	Tanimine N, Markmann JF, Wood-Trageser MA, et al	消化器外科	Donor-specific immune senescence as a candidate biomarker of operational tolerance following liver transplantation in adults: Results of a prospective, multicenter cohort study.	Am J Transplant. 2025 May;25(5):1030-1044.	Original Article
273	Fukuhara S, Kobayashi T, Hamaoka M, et al	消化器外科	Sarcopenia's Impact Defined by Grip Strength and Muscle Mass on Post-hepatectomy Outcomes: A Multicenter Analysis.	In Vivo. 2024 Nov-Dec;38(6):2827-2835.	Original Article
274	Saegusa Y, Akabane S, Shimomura M, et al	消化器外科	Successful outcome achieved with adjuvant chemotherapy with irinotecan plus cisplatin in rectal neuroendocrine carcinoma: a case report.	Surg Case Rep. 2024 Sep 19;10(1):220. (オンライン)	Original Article
275	Moriuchi T, Hashimoto M, Kuroda S, et al	消化器外科	Mucinous Cystic Neoplasm of the Liver in a Teenager: A Case Report.	Cureus. 2024 Jul 30;16(7):e65728. (オンライン)	Case Report
276	Imaoka Y, Ohira M, Kobayashi T, et al	消化器外科	Evaluation of prognostic efficacy of liver immune status index in predicting postoperative outcomes in hepatocellular carcinoma patients: A multi-institutional retrospective study.	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2024 Nov;31(11):798-808.	Original Article
277	Namba Y, Ohira M, Imaoka Y, et al	消化器外科	Effect of abdominal aortic calcification on long-term outcomes after the first liver resection in very old patients with hepatocellular carcinoma.	Ann Gastroenterol Surg. 2024 Jun 22;9(1):169-177. (オンライン)	Original Article
278	Imaoka Y, Ohira M, Akabane M, et al	消化器外科	Abdominal aortic calcification among gastroenterological and transplant surgery.	Ann Gastroenterol Surg. 2024 Jun 4;8(6):987-998. (オンライン)	Original Article

279	Imaoka Y, Ohira M, Ohdan H	消化器外科	Reply to comment on "Evaluation of prognostic efficacy of liver immune status index in predicting postoperative outcomes in hepatocellular carcinoma patients: A multi-institutional retrospective study".	J Hepatobiliary Pancreat Sci. 2025 Jan;32(1):e3-e4.	Letter
280	Fukuhara S, Ohmori H, Matsumoto T, et al	消化器外科	Verification of an alteration in the gut microbiota that increases nutritional risk in patients on hemodialysis.	Biosci Microbiota Food Health. 2025;44(1):26-31.	Original Article
281	Tadokoro T, Kobayashi T, Honmyo N, et al	消化器外科	Albumin-Butyrylcholinesterase as a Novel Prognostic Biomarker for Hepatocellular Carcinoma Post-hepatectomy: A Retrospective Cohort Study with the Hiroshima Surgical Study Group of Clinical Oncology.	Ann Surg Oncol. 2025 Mar;32(3):1973-1984.	Original Article
282	Imaoka K, Shimomura M, Okuda H, et al	消化器外科	Abdominal Aortic Calcification as a Predictor of Incomplete Adjuvant Chemotherapy in Stage III Colorectal Cancer: A Retrospective Cohort Study.	Cureus. 2024 Oct 12;16(10):e71288. (オンライン)	Original Article
283	Shidahara H, Hashimoto M, Mori K, et al	消化器外科	Curative resection of multiple primary neuroendocrine tumors enabled by preoperative imaging: a case report.	J Surg Case Rep. 2025 Jan 7;2025(1):rjae805. (オンライン)	Case Report
284	Saegusa Y, Imaoka Y, Ohira M, et al	消化器外科	Cluster analysis of hepatocellular carcinoma prognosis using preoperative alpha-fetoprotein and des-gamma-carboxy prothrombin levels: a multi-institutional study.	J Gastrointest Surg. 2025 Apr;29(4):101980.	Original Article
285	Saeki Y, Tanabe K, Ota H, et al	消化器外科	Exploratory study on the impact of intraesophageal pressure on quality of life in patients following total gastrectomy: a retrospective cohort study.	BMC Surg. 2024 Jul 27;24(1):217. (オンライン)	Original Article
286	Ohira M, Imaoka Y, Sato K, et al	消化器外科	A phase I/II study of adoptive immunotherapy using donor liver graft-derived NK cell-enriched immune cells to prevent severe infection after liver transplantation.	PLoS One. 2025 Jan 16;20(1):e0313102. (オンライン)	Original Article
287	Ohira M, Aoki G, Orihashi Y, et al	消化器外科	Japanese living donor liver transplantation criteria for hepatocellular carcinoma: nationwide cohort study.	BJS Open. 2024 Jul 2;8(4):zrae079.	Original Article
288	Kitadai E, Yamaguchi K, Iwamoto H, et al	呼吸器内科	Serum Soluble Toll-Like Receptor 4 is a Predictive Biomarker for Acute Exacerbation and Prognosis of Idiopathic Pulmonary Fibrosis: A Retrospective Study.	Lung. 2025 Mar 12;203(1):43. (オンライン)	Original Article
289	Hirakawa T, Yamaguchi K, Funaishi K, et al	呼吸器内科	Predictive Value of Circulatory Total VEGF-A and VEGF-A Isoforms for the Efficacy of Anti-PD-1/PD-L1 Antibodies in Patients with Non-Small-Cell Lung Cancer.	Cancers (Basel). 2025 Feb 7;17(4):572. (オンライン)	Original Article
290	Funaishi K, Yamaguchi K, Tanahashi H, et al	呼吸器内科	HMGB1 assists the predictive value of tumor PD-L1 expression for the efficacy of anti-PD-1/PD-L1 antibody in NSCLC.	Cancer Chemother Pharmacol. 2025 Jan 24;95(1):28. (オンライン)	Original Article
291	Nakashima T	呼吸器内科	Lung cancer with comorbid interstitial pneumonia: Current situation and animal model development.	Respir Investig. 2024 Nov;62(6):1183-1190.	Original Article
292	Inada S, Nakashima T, Masuda T, et al	呼吸器内科	Sex-related differences in efficacy of bone marrow-derived high aldehyde dehydrogenase activity cells against pulmonary fibrosis.	Stem Cell Res Ther. 2024 Sep 15;15(1):304. (オンライン)	Original Article

293	Tanahashi H, Iwamoto H, Yamaguchi K, et al	呼吸器内科	Lipocalin-2 as a prognostic marker in patients with acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis.	Respir Res. 2024 May 4;25(1):195. (オンライン)	Original Article
294	Kitadai E, Yamaguchi K, Ohshimo S, et al	呼吸器内科	Serum soluble isoform of receptor for advanced glycation end product is a predictive biomarker for acute exacerbation of idiopathic pulmonary fibrosis: a German and Japanese cohort study.	Respir Res. 2024 Nov 11;25(1):405. (オンライン)	Original Article
295	Nakamura-Utsunomiya A	小児科	Autoimmunity related to anti-Na(x) and anti-ZSCAN1 autoantibodies in adipsic hypernatremia.	Endocr J. 2024 Nov 1;71(11):1023-1029.	Original Article
296	Utsumi T, Tsumura M, Yashiro M, et al	小児科	Exclusive Characteristics of the p.E555K Dominant-Negative Variant in Autosomal Dominant E47 Deficiency.	J Clin Immunol. 2024 Jul 29;44(7):167. (オンライン)	Case Report
297	Mizoguchi Y, Hino M, Ueda H, et al	小児科	Effectiveness of PK-Guided Personalized Recombinant FVIII Treatment in Patients with Hemophilia A: Clinical Case Experiences Based on an Observational Study.	J Blood Med. 2025 Jan 10;16:27-39. (オンライン)	Case Report
298	Yoshida N, Ureshino H, Hiyama T, et al	血液内科	Tirabrutinib for CNS relapsed primary vitreoretinal lymphoma.	Ann Hematol. 2025 Mar;104(3):2073-2074.	Letter
299	Honjo Y, Ichinohe T	血液内科	Neural crest cells are sensitive to radiation-induced DNA damage.	Tissue Cell. 2025 Jun;94:102774.	Original Article
300	Miura Y, Fujii S, Ichinohe T	血液内科	Cell-based and extracellular vesicle-based MSC therapies for acute radiation syndrome affecting organ systems.	J Radiat Res. 2024 Dec 16;65(Supplement_1):i80-i87.	Original Article
301	Edahiro T, Ureshino H, Nakamori M, et al	血液内科	Acalabrutinib and Obinutuzumab for Chronic Lymphocytic Leukemia Complicated With Peripheral Neuropathy.	Cureus. 2024 Nov 28;16(11):e74703. (オンライン)	Case Report
302	Ureshino H, Takahashi N, Ikezoe T, et al	血液内科	A lower initial dose of bosutinib for patients with chronic myeloid leukemia patients resistant and/or intolerant to prior therapy: a single-arm, multicenter, phase 2 trial (BOGI trial).	Int J Hematol. 2024 Oct;120(4):492-500.	Original Article
303	Ureshino H, Takeda Y, Kamachi K, et al	血液内科	A Higher Neutrophil Count Is Associated with Favorable Achievement of Treatment-Free Remission in Patients with Chronic Myeloid Leukemia Who Received Second Generation Tyrosine Kinase Inhibitor as Frontline Treatment.	Clin Pract. 2024 Jun 21;14(4):1216-1224. (オンライン)	Original Article
304	Yamazaki A, Omura I, Kamikawa Y, et al	皮膚科	Unfolded protein response modulates Tyrosinase levels and melanin production during melanogenesis.	J Dermatol Sci. 2025 Feb;117(2):36-44.	Original Article
305	Tanaka A, Igawa K, Takahashi H, et al	皮膚科	Lebrikizumab Combined with Topical Corticosteroids Improves Patient-reported Outcomes in Japanese Patients with Moderate-to-severe Atopic Dermatitis.	Acta Derm Venereol. 2024 Sep 9;104:adv34375. (オンライン)	Original Article
306	Takahagi S, Tanaka A	皮膚科	A Case of Graham-Little-Piccardi-Lasseur Syndrome Successfully Treated with Minocycline.	Acta Derm Venereol. 2024 May 30;104:adv40008. (オンライン)	Case Report

307	Takahagi S, Hamada T, Matsubara D	皮膚科	Normolipemic xanthoma associated with folliculotropic mycosis fungoides.	Australas J Dermatol. 2024 Aug;65(5):484-487.	Case Report
308	Tanaka A, Yuasa A, Kamei K, et al	皮膚科	Cost-effectiveness analysis of abrocitinib compared with standard of care in adult moderate-to-severe atopic dermatitis in Japan.	J Dermatol. 2024 Jun;51(6):759-771.	Original Article
309	Morioke S, Moriwaki M, Tanaka A, et al	皮膚科	A case of chronic spontaneous urticaria with wheals lasting for more than a week.	J Dermatol. 2025 Feb;52(2):344-347.	Case Report
310	Takahagi S, Moriwaki M, Ishii K, et al	皮膚科	Detection of anti-MGL_1304 IgE using the ImmunoCAP system for diagnosis of type I allergy to sweat.	Allergol Int. 2025 Apr;74(2):316-324.	Original Article
311	Watanabe H, Takahagi S, Hayama K, et al	皮膚科	Prognosis of chronic spontaneous urticaria with an inadequate response to omalizumab.	Int J Dermatol. 2025 Feb;64(2):349-358.	Original Article
312	Sakamoto T, Moriwaki M, Tanaka M, et al	皮膚科	Colored Pencil-Core Granuloma With a Long Incubation Period After Penetration: A Case Report.	Cureus. 2024 Oct 19;16(10):e71887. (オンライン)	Case Report
313	Ishibashi S, Shinomiya R, Adachi N	整形外科	Ultrasound-Guided Muscle Flap Debulking: A Safe Approach for Optimal Reconstructive Outcomes.	Aesthetic Plast Surg. 2024 Jun 19.	Letter
314	Moriwaki D, Nakasa T, Ikuta Y, et al	整形外科	Lateral Displacement Calcaneal Osteotomy Combined With Anterolateral Transfer of the Tibialis Posterior Tendon for Treating Flexible Cavovarus Foot in an Adult Patient: A Case Report.	Cureus. 2025 Mar 18;17(3):e80751. (オンライン)	Case Report
315	Ishibashi S, Shinomiya R, Hayashi Y, et al	整形外科	Factors Associated With Claw Toe Deformity Following Vascularized Fibula Flap Harvesting: A Retrospective Analysis of Potential Risk Factors and Preventive Strategies.	Microsurgery. 2025 Feb;45(2):e70031.	Original Article
316	Tsuji K, Kodama A, Kurumadani H, et al	整形外科	Difference between the thumb motions in carpal tunnel syndrome and trapeziometacarpal osteoarthritis.	Clin Biomech (Bristol). 2025 Mar;123:106447.	Original Article
317	Ishibashi S, Tsuchiya R	整形外科	Letter comments on "Comparison of post operative analgesia requirements between lipoedema and lymphoedema patients undergoing lower limb liposuction." Efficient peripheral nerve block with dexamethasone for lower limb	J Plast Reconstr Aesthet Surg. 2025 Mar;102:247-248.	Letter
318	Ding C, Yimiti D, Sanada Y, et al	整形外科	High-fat diet-induced obesity accelerates the progression of A β spontaneous osteoarthritis in A β senescence-accelerated mouse prone 8.	Mod Rheumatol. 2024 Jul 6;34(4):831-840.	Original Article
319	Kaneta H, Shoji T, Ueki S, et al	整形外科	Evaluation of cup placement accuracy in computer assisted total hip arthroplasty.	Arch Orthop Trauma Surg. 2025 Mar 14;145(1):191. (オンライン)	Original Article
320	Moriwaki D, Nakasa T, Ikuta Y, et al	整形外科	The difference in second - third metatarsal length is associated with the risk of dislocation or arthritic change in the second metatarsophalangeal joint in patients with hallux valgus.	J Orthop Sci. 2024 Nov 11:S0949-2658(24)00198-2.	Original Article

321	Sakurai S, Nakasa T, Ikuta Y, et al	整形外科	The Relationship Between Calcaneofibular Ligament Injury and Ankle Osteoarthritis Progression: A Comprehensive Analysis of Stress Distribution and Osteophyte Formation in the Subtalar Joint.	Foot Ankle Int. 2024 Aug;45(8):870-878.	Original Article
322	Kaneta H, Shoji T, Shozen H, et al	整形外科	Evaluation of articular cartilage degeneration in patients with osteonecrosis of the femoral head using T2 mapping magnetic resonance imaging.	Mod Rheumatol. 2024 Oct 15;34(6):1246-1251.	Original Article
323	Tanaka T, Kodama A, Kurumadani H, et al	整形外科	Three-dimensional motion analysis of pre- and postoperative thumb movement in trapeziometacarpal joint osteoarthritis-Comparison of arthrodesis and trapeziectomy with suspensionplasty.	PLoS One. 2024 May 16;19(5):e0302898. (オンライン)	Original Article
324	Nakamae T, Kamei N, Tamura T, et al	整形外科	Differentiation of the Intradural Extramedullary Spinal Tumors, Schwannomas, and Meningiomas Utilizing the Contrast Ratio as a Quantitative Magnetic Resonance Imaging Method.	World Neurosurg. 2024 Aug;188:e320-e325.	Original Article
325	Kawabata S, Nakasa T, Nekomoto A, et al	整形外科	Osteophyte Cartilage as a Potential Source for Minced Cartilage Implantation: A Novel Approach for Articular Cartilage Repair in Osteoarthritis.	Int J Mol Sci. 2024 May 20;25(10):5563. (オンライン)	Original Article
326	Inoue T, Kano T, Nakasa T, et al	整形外科	Development of a novel approach for restoration of the meniscus using silk-elastin in a rabbit meniscus injury model.	BMC Musculoskelet Disord. 2024 Jul 15;25(1):545. (オンライン)	Original Article
327	Yokoya S, Harada Y, Sumimoto Y, et al	整形外科	Reply to letter to the editor by Li et al.	J Orthop Sci. 2024 Sep;29(5):1335-1336.	Letter
328	Nakamae A, Tsukisaka K, Deie M, et al	整形外科	Subjective grade of apprehension during the pivot-shift test reflects patient-reported outcomes more than conventional pivot-shift test grade after ACL reconstruction.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2025 Feb;33(2):470-477.	Original Article
329	Ishibashi S, Shinomiya R, Hayashi Y, et al	整形外科	A Unique Approach to Irreparable Radial Head Fracture Using an Osteochondral Plug: A Case Report.	JBJS Case Connect. 2024 Jul 5;14(3). (オンライン)	Case Report
330	Sumimoto Y, Harada Y, Yimiti D, et al	整形外科	MicroRNA-26a deficiency attenuates the severity of frozen shoulder in a mouse immobilization model.	J Orthop Res. 2024 Dec;42(12):2623-2633.	Original Article
331	Kamei G, Nekomoto A, Nakata K, et al	整形外科	The posterior condyle grows in the direction of the increasing posterior condylar offset and the inclination angle of the ACL changes accordingly.	Knee Surg Sports Traumatol Arthrosc. 2025 Feb;33(2):478-486.	Original Article
332	Ishibashi S, Nakasa T, Ikuta Y, et al	整形外科	The Hounsfield Unit Values of Talar Subchondral Bone Predict Articular Cartilage Degeneration in Patients With Ankle Osteoarthritis.	Foot Ankle Int. 2024 Nov;45(11):1292-1301.	Original Article
333	Yimiti D, Uchibe K, Toriyama M, et al	整形外科	CD1530, selective RARI3 agonist, facilitates Achilles tendon healing by modulating the healing environment including less chondrification in a mouse model.	J Orthop Res. 2025 Feb;43(2):273-284.	Original Article
334	Moriwaki D, Nakasa T, Ikuta Y, et al	整形外科	Comparative Retrospective Study of PLLA and PLLA/HA Pins for Osteochondral Fragment Fixation in Osteochondral Lesion of the Talus.	Foot Ankle Int. 2025 Feb;46(2):175-181.	Original Article

335	Kaneta H, Shoji T, Kato Y, et al	整形外科	Relationship Between the Subchondral Trabecular Bone Microstructure in the Hip Joint and Pain in Patients with Hip Osteoarthritis.	Cartilage. 2024 Dec 9:19476035241302978.	Original Article
336	Furuta T, Sakuda T, Yoshioka K, et al	整形外科	Case report on an extremely rare type of ependymoma arising from the thigh.	Int J Surg Case Rep. 2024 Oct;123:110301.	Case Report
337	Nakasa T, Ikuta Y, Haraguchi N, et al	整形外科	An Evidence-Based Update on Fixation Procedures for Acute and Chronic Osteochondral Lesions of the Talus.	Cartilage. 2024 Sep 23:19476035241280072.	Original Article
338	Toriyama M, Nakamae A, Abe T, et al	整形外科	Dependence on visual information in patients with ACL injury for multi-joint coordination during single-leg squats: a case control study.	BMC Sports Sci Med Rehabil. 2024 Apr 17;16(1):87. (オンライン)	Original Article
339	Kajikawa Y, Yokomi H, Narasaki S, et al	麻酔科	Serotonin-Mediated Anti-Allodynic Effect of Yokukansan on Diabetes-Induced Neuropathic Pain.	J Clin Med. 2024 Jul 22;13(14):4276. (オンライン)	Original Article
340	Kido K, Kato T, Kamiya S, et al	麻酔科	Anesthetic management with remimazolam for a patient with hereditary angioedema: a case report.	J Med Invest. 2024;71(1.2):184-186.	Case Report
341	Miyoshi H, Kamiya S, Ikeda T, et al	麻酔科	Impact of proficiency in the transcatheter aortic valve implantation procedure on clinical outcomes: a single center retrospective study.	BMC Anesthesiol. 2024 Jun 21;24(1):209. (オンライン)	Original Article
342	Toyota Y, Kondo T, Narasaki S, et al	麻酔科	Prevention of Oxygen Desaturation in a Patient With Previous Experience of Severe Hypoxia in Modified Electroconvulsive Therapy by Transnasal Humidified Rapid-Insufflation Ventilator Exchange: A Case Report.	Cureus. 2024 May 18;16(5):e60564. (オンライン)	Case Report
343	Ikeda T, Miyoshi H, Xia GQ, et al	麻酔科	Impact of Operating Table Height on the Difficulty of Mask Ventilation and Laryngoscopic View.	J Clin Med. 2024 Oct 8;13(19):5994. (オンライン)	Original Article
344	Ishii T, Kajimoto T, Kikkawa S, et al	麻酔科	Protein kinase C (PKC) inhibitor Calphostin C activates PKC in a light-dependent manner at high concentrations via the production of singlet oxygen.	Eur J Pharmacol. 2024 Dec 5;984:177036.	Original Article
345	Kobatake K, Ikeda K, Kohada Y, et al	泌尿器科	Muscle-Invasive Bladder Cancer With Hydronephrosis Exhibits a High Frequency of Mutations in Fibroblast Growth Factor Receptor 3 Gene.	Anticancer Res. 2024 May;44(5):1947-1954.	Original Article
346	Takemoto K, Kobatake K, Hatayama T, et al	泌尿器科	DGKI± Enhances Tumorigenic Activity in Bladder Cancer Patients With Chronic Kidney Disease.	Cancer Med. 2025 Mar;14(5):e70710.	Original Article
347	Kobatake K, Goto K, Sakamoto Y, et al	泌尿器科	Influence of best objective response to first-line treatment on survival outcomes in advanced urothelial carcinoma in the era of sequential therapy with enfortumab vedotin.	Int J Urol. 2025 May;32(5):524-530.	Original Article
348	Sekino Y, Nakahara H, Ikeda K, et al	泌尿器科	The Gender-Biased Differential Effect of KDM6A Mutation on Immune Therapy in Urothelial Carcinoma: A Public Database Study.	Cancers (Basel). 2025 Jan 22;17(3):356. (オンライン)	Original Article

349	Hatayama T, Goto K, Kohada Y, et al	泌尿器科	The advanced lung cancer inflammation index as a useful prognostic indicator for patients who underwent radical nephroureterectomy for upper tract urothelial carcinoma.	World J Urol. 2025 Feb 20;43(1):132. (オンライン)	Original Article
350	Kitano H, Kitagawa H, Hisatsune J, et al	泌尿器科	First human case of infected lymphocele with bloodstream infection caused by Staphylococcus coagulans transmitted from a pet dog: a case report.	Diagn Microbiol Infect Dis. 2025 Jul;112(3):116792.	Case Report
351	Hatayama T, Mita K, Kohada Y, et al	泌尿器科	Efficacy of scheduled intravenous acetaminophen administration for catheter-related bladder discomfort in patients after transurethral resection of bladder tumors: A prospective randomized pilot study.	Investig Clin Urol. 2025 Mar;66(2):144-151.	Original Article
352	Saito K, Kohada Y, Hieda K, et al	泌尿器科	Preoperative high serum total testosterone levels predict preserved postoperative sexual function in patients after nerve-sparing robot-assisted radical prostatectomy.	Int J Urol. 2024 Sep;31(9):1038-1045.	Original Article
353	Kohada Y, Kitano H, Tasaka R, et al	泌尿器科	Clinical characteristics and predictors of long-term postoperative urinary incontinence in patients treated with robot-assisted radical prostatectomy: A propensity-matched analysis.	Int J Urol. 2024 Oct;31(10):1145-1152.	Original Article
354	Tasaka S, Kohada Y, Ikeda M, et al	泌尿器科	Utility of the modified 5-item frailty index as a predictor of postoperative febrile urinary tract infection in patients who underwent ureteroscopy with laser lithotripsy.	World J Urol. 2024 May 15;42(1):323. (オンライン)	Original Article
355	Hinata N, Murakami S, Nakano Y, et al	泌尿器科	Efficacy of robot-assisted partial nephrectomy compared to conventional laparoscopic partial nephrectomy for completely endophytic renal tumor: a multicenter, prospective study.	Int J Clin Oncol. 2024 Oct;29(10):1548-1556.	Original Article
356	Kobatake K, Goto K, Honda Y, et al	泌尿器科	Preoperative multidisciplinary team meeting improves the incidence of positive margins in pathological T2 prostate cancer.	World J Urol. 2024 Oct 9;42(1):571. (オンライン)	Original Article
357	Hinata N, Fujisawa M, Yamaguchi R, et al	泌尿器科	AQUABEAM robotic system use-results survey: Aquablation for the treatment of lower urinary tract symptoms due to benign prostatic hyperplasia in the Japanese Population.	Int J Urol. 2025 Mar;32(3):308-313.	Original Article
358	Kudo Y, Sugimoto J	産科婦人科	The Role of the Placental Enzyme Indoleamine 2,3-Dioxygenase in Normal and Abnormal Human Pregnancy.	Int J Mol Sci. 2024 Apr 22;25(8):4577. (オンライン)	Original Article
359	Mitani H, Honda Y, Narita K, et al	放射線診断科	Effectiveness of a virtual reality-based interventional radiology simulator for medical student education.	Jpn J Radiol. 2025 Mar 29.	Original Article
360	Kawashita I, Fukumoto W, Mitani H, et al	放射線診断科	Development of a deep-learning algorithm for age estimation on CT images of the vertebral column.	Leg Med (Tokyo). 2024 Jul;69:102444.	Original Article
361	Nakaki Y, Fukumoto W, Higashibori H, et al	放射線診断科	Performance of postmortem CT in the diagnosis of natural death from out-of-hospital cardiac arrest.	Jpn J Radiol. 2024 Aug;42(8):825-831.	Original Article
362	Fukumoto W, Yamashita Y, Kawashita I, et al	放射線診断科	External validation of the performance of commercially available deep-learning-based lung nodule detection on low-dose CT images for lung cancer screening in Japan.	Jpn J Radiol. 2025 Apr;43(4):634-640.	Original Article

363	Kondo S, Nakamura Y, Higaki T, et al	放射線診断科	Utility of under-sampled scans with iterative reconstruction and high-frequency preserving transform for high spatial resolution magnetic resonance cholangiopancreatography.	Jpn J Radiol. 2025 Mar;43(3):463-471.	Original Article
364	Kaneyasu Y, Fujiwara H, Akita T, et al	放射線治療科	Suppressive effect of vitamin K(2) (menatetrenone) against bone mineral density loss after radiotherapy in uterine cancer patients.	Jpn J Radiol. 2025 Jan 24.	Original Article
365	Miura H, Ishihara S, Kenjo M, et al	放射線治療科	Performance evaluation of MVision AI Contour+ in gastric MALT lymphoma segmentation.	Rep Pract Oncol Radiother. 2025 Mar 21;30(1):122-125. (オンライン)	Original Article
366	Miura H, Matsuura T, Nakao M, et al	放射線治療科	Influence of aperture shape controller settings on dose distribution and treatment efficiency in lung stereotactic body radiation therapy with a 10 MV flattening filter-free beam.	Med Dosim. 2025 Summer;50(2):185-190.	Original Article
367	Miura H, Miyazawa M, Ozawa S, et al	放射線治療科	Lateral response artifact correction method using image stitching technique in radiochromic film dosimetry.	J Appl Clin Med Phys. 2024 Aug;25(8):e14373.	Original Article
368	Oka H, Kawahara D, Murakami Y	放射線治療科	Radiomics-based prediction of recurrence for head and neck cancer patients using data imbalanced correction.	Comput Biol Med. 2024 Sep;180:108879.	Original Article
369	Yoshimura H, Kawahara D, Saito A, et al	放射線治療科	Prediction of prognosis in glioblastoma with radiomics features extracted by synthetic MRI images using cycle-consistent GAN.	Phys Eng Sci Med. 2024 Sep;47(3):1227-1243.	Original Article
370	Nishibuchi I, Tashiro S	放射線治療科	DNA double-strand break repair capacity and normal tissue toxicity induced by radiotherapy.	J Radiat Res. 2024 Dec 16;65(Supplement_1):i52-i56.	Original Article
371	Yamaguchi H, Kawahara D, Koganezawa AS, et al	放射線治療科	Dose compensation for decreased biological effective dose due to intrafractional interruption during radiotherapy: integration with a commercial treatment planning system.	Biomed Phys Eng Express. 2024 Nov 26;11(1). (オンライン)	Original Article
372	Kawahara D	放射線治療科	Improved dose compensation model owing to short irradiation interruption time for hypoxic tumor using a microdosimetric kinetic model.	Rep Pract Oncol Radiother. 2024 Jul 22;29(3):271-279. (オンライン)	Original Article
373	Miura H, Ishihara S, Kenjo M, et al	放射線治療科	Evaluation of the accuracy of automated segmentation based on deep learning for prostate cancer patients.	Med Dosim. 2025 Spring;50(1):91-95.	Original Article
374	Saeki K, Tamura T, Kouno S, et al	放射線治療科	Optimization of image shoot timing for cerebral veins 3D-digital subtraction angiography by interventional angiography systems.	Radiol Phys Technol. 2025 Mar;18(1):36-46.	Original Article
375	Shozen H, Shoji T, Ueki S, et al	小児外科	Analysis of posterior hip joint impingement about developmental dysplasia of the hip after total hip arthroplasty.	Clin Biomech (Bristol). 2025 Feb;122:106422.	Original Article
376	Shozen H, Shoji T, Ueki S, et al	小児外科	Bony Morphological Features of the Proximal Femur in Patients With Developmental Dysplasia of the Hip.	Cureus. 2025 Mar 29;17(3):e81410. (オンライン)	Original Article

377	Nagamatsu S, Sasaki A, Fujioka Y, et al	小児外科	The Key Ripper: a specialized fixed suture-cutting device to facilitate drain removal.	Surg Today. 2025 Mar;55(3):442-444.	Original Article
378	Sumiyoshi T, Uemura K	小児外科	ASO Author Reflections: Accurate Evaluation of Malignant Potential in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma Using DUPAN-2 Level.	Ann Surg Oncol. 2024 Jul;31(7):4697.	Original Article
379	Miyoshi H, Nishikimi M, Kikutani K, et al	救急集中治療科	Changes in the neurological status from 30 to 90A?days post-cardiac arrest by age: A nationwide retrospective observational study.	Resusc Plus. 2025 Feb 28;22:100917. (オンライン)	Original Article
380	Ohbe H, Yokokawa Y, Sato T, et al	救急集中治療科	Development and validation of early prediction models for new-onset functional impairment of patients with trauma at hospital discharge.	J Trauma Acute Care Surg. 2025 Jan 1;98(1):167-178.	Original Article
381	Kikutani K, Nishikimi M, Ohshimo S, et al	救急集中治療科	Association between increasing institutional experience with ECPR and outcomes in patients with out-of-hospital cardiac arrest: A nationwide multicenter observational study in Japan (the JAAM-OHCA registry).	Resuscitation. 2025 Apr;209:110487.	Original Article
382	Shime N, Nakada TA, Yatabe T, et al	救急集中治療科	The Japanese Clinical Practice Guidelines for Management of Sepsis and Septic Shock 2024.	J Intensive Care. 2025 Mar 14;13(1):15. (オンライン)	Letter
383	Ishii J, Nishikimi M, Kikutani K, et al	救急集中治療科	Resuscitation Attempt and Outcomes in Patients With Asystole Out-of-Hospital Cardiac Arrest.	JAMA Netw Open. 2024 Nov 4;7(11):e2445543. (オンライン)	Original Article
384	Namba T, Nishikimi M, Emoto R, et al	救急集中治療科	Effect Size of Targeted Temperature Management in Pediatric Patients with Post-Cardiac Arrest Syndrome According to the Severity.	Life (Basel). 2024 Dec 30;15(1):26. (オンライン)	Original Article
385	Inagawa T, Hisatsune J, Kutsuno S, et al	救急集中治療科	Genomic characterization of Staphylococcus aureus isolated from patients admitted to intensive care units of a tertiary care hospital: epidemiological risk of nasal carriage of virulent clone during admission.	Microbiol Spectr. 2024 Jun 4;12(6):e0295023.	Original Article
386	Hattori M, Kikutani K, Ohshimo S, et al	救急集中治療科	Hypercalcemic Crisis Complicated With Acute Respiratory Distress Syndrome Due to Hot Spring Drowning: A Case Report.	Cureus. 2024 Apr 16;16(4):e58431. (オンライン)	Case Report
387	Ishii J, Ohshimo S, Nishikimi M, et al	救急集中治療科	Complex interaction of infusion volumes and confounding factors with lactate clearance in septic shock.	Intensive Care Med. 2024 Sep;50(9):1545-1546.	Letter
388	Tanabe Y, Ohshimo S, Shime N	救急集中治療科	Critical insights into venoarterial extracorporeal membrane oxygenation outcomes in immunocompromised patients: addressing uncertainties in cause of death and treatment strategies.	Intensive Care Med. 2024 Aug;50(8):1395-1396.	Letter
389	Ishii J, Nishikimi M, De Bus L, et al	救急集中治療科	No improvement in mortality among critically ill patients with carbapenems as initial empirical therapy and more detection of multi-drug resistant pathogens associated with longer use: a post hoc analysis of a prospective cohort study.	Microbiol Spectr. 2024 Jul 2;12(7):e0034224.	Original Article
390	Utsumi S, Okajima K, Amagasa S	救急集中治療科	Impact of Intracranial Pressure and Invasive Cerebral Oxygenation Monitoring in Patients with Severe Traumatic Brain Injury: A Systematic Review and Meta-Analysis of Randomized Controlled Trials.	World Neurosurg. 2024 Oct;190:481-486.e2.	Original Article

391	Utsumi S, Nishikimi M, Ohshimo S, et al	救急集中治療科	Reply to Sethuraman et al. Comment on "Utsumi et al. Differences in Pathophysiology and Treatment Efficacy Based on Heterogeneous Out-of-Hospital Cardiac Arrest. <i>Medicina</i> 2024, 60, 510".	<i>Medicina</i> (Kaunas). 2024 Aug 9;60(8):1289. (オンライン)	Letter
392	Kikutani K, Nishikimi M, Emoto R, et al	救急集中治療科	Increased national critical care demands were associated with a higher mortality of intubated COVID-19 patients in Japan: a retrospective observational study.	<i>J Intensive Care</i> . 2024 Nov 5;12(1):46. (オンライン)	Original Article
393	Hattori M, Kikutani K, Hosokawa K, et al	救急集中治療科	Diagnostic utility of plasma translocator protein 18a?kDa (TSPO) in sepsis: A case-control study.	<i>Medicine</i> (Baltimore). 2024 Nov 1;103(44):e40396.	Original Article
394	Nishikimi M, Ohshimo S, Bellani G, et al	救急集中治療科	Identification of novel sub-phenotypes of severe ARDS requiring ECMO using latent class analysis.	<i>Crit Care</i> . 2024 Oct 24;28(1):343. (オンライン)	Original Article
395	Utsumi S, Ohki S, Amagasa S, et al	救急集中治療科	Tranexamic Acid in Pediatric Traumatic Brain Injury: A Multicenter Retrospective Observational Study.	<i>Ann Emerg Med</i> . 2025 Feb;85(2):101-108.	Original Article
396	Utsumi S, Kawakami A, Amemiya Y	救急集中治療科	Optimal dose of tranexamic acid in traumatic brain injury: Systematic review and network meta-analysis of randomized controlled trials.	<i>J Trauma Acute Care Surg</i> . 2025 May 1;98(5):816-823.	Original Article
397	Shime N	救急集中治療科	Respiratory physiotherapy for critically ill children: concern regarding a recommendation.	<i>J Intensive Care</i> . 2024 Dec 18;12(1):51. (オンライン)	Letter
398	Akuffo GA, Ouoba S, Ko K, et al	感染症科	Assessing the diagnostic accuracy of serological tests for hepatitis delta virus diagnosis: a systematic review and meta-analysis.	<i>Sci Rep</i> . 2024 Aug 9;14(1):18475. (オンライン)	Original Article
399	Otsuka W, Yoshida S, Taketomi N, et al	形成外科	The Role of Bioelectrical Impedance Analysis in Predicting Secondary Surgical Interventions for Lymphedema.	<i>J Clin Med</i> . 2025 Mar 21;14(7):2151. (オンライン)	Original Article
400	Nishihama S, Kawada-Matsuo M, Le MN, et al	歯科保存診療科	Oral colonization of antimicrobial-resistant bacteria in home health care participants and their association with oral and systemic status.	<i>Sci Rep</i> . 2025 Feb 17;15(1):5776. (オンライン)	Original Article
401	Wang C, Le MN-T, Kawada-Matsuo M, et al	歯科保存診療科	Ursoricin, a bacteriocin of <i>Streptococcus ursoris</i> , has potent activity against methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> and vancomycin-resistant enterococci.	<i>Appl Environ Microbiol</i> . 2024 Jun 18;90(6):e0016224.	Original Article
402	Hirata-Tsuchiya S, Furutama D, Saito-Nakayama N, et al	歯科保存診療科	Increasing the Apical Sizes of Root Enlarged for Root Canal Obturation Influences the Outcome of Single-Root-Canal Teeth Affected by Apical Periodontitis.	<i>Eur Endod J</i> . 2024 Dec 20;9(4):418-424.	Original Article
403	Kawayanagi T, Kawada-Matsuo M, Takeshita T, et al	歯科保存診療科	The oral cavity is a potential reservoir of gram-negative antimicrobial-resistant bacteria, which are correlated with ageing and the number of teeth.	<i>Heliyon</i> . 2024 Oct 28;10(21):e39827. (オンライン)	Original Article
404	Taniguchi Y, Ouhara K, Sato Y, et al	歯周診療科	Suppressive Effects of Kouboku on Methyl Mercaptan Production and Biofilm Formation in <i>Porphyromonas gingivalis</i> .	<i>Mol Oral Microbiol</i> . 2025 Jun;40(3):128-136.	Original Article

405	Ueda T, Matsuda S, Ninomiya Y, et al	歯周診療科	Nuclear receptor 4A1 (NR4A1) upregulated by n-butylidenephthalide via the mitogen-activated protein kinase (MAPK) pathway ameliorates drug-induced gingival enlargement.	Biofactors. 2024 Nov-Dec;50(6):1192-1207.	Original Article
406	Ouhara K, Takemura T, Taniguchi Y, et al	歯周診療科	Leucine-rich alpha-2-glycoprotein 1 affects bone destruction via IL-6 in mouse periodontitis model.	Oral Dis. 2024 Nov;30(8):5294-5304.	Original Article
407	Nakashima F, Matsuda S, Ninomiya Y, et al	歯周診療科	Role of sclerostin deletion in bisphosphonate-induced osteonecrosis of the jaw.	Bone. 2024 Oct;187:117200.	Original Article
408	Kono S, Sasaki S, Matsuda S, et al	歯周診療科	Brain-derived neurotrophic factor promotes bone regeneration in a canine model of peri-implantitis.	Int J Implant Dent. 2024 Nov 26;10(1):59. (オンライン)	Original Article
409	Ninomiya Y, Matsuda S, Suzuki S, et al	歯周診療科	Role of transglutaminase 2 in promoting biglycan synthesis in idiopathic gingival fibromatosis.	BMC Oral Health. 2024 Nov 21;24(1):1422. (オンライン)	Original Article
410	Nagahara T, Iwata T, Wada K, et al	歯周診療科	Saving a hopeless tooth with a four-wall bone defect: A case report.	Clin Adv Periodontics. 2024 Dec 23.	Case Report
411	Akagi M, Ohta K, Sakuma M, et al	顎・口腔外科	TMPRSS2 expression in oral mucosal cells induced by transfected double-stranded RNA and IL-112.	J Oral Biosci. 2025 Feb 16:100619.	Original Article
412	Nobumoto T, Yamasaki S, Hamada A, et al	顎・口腔外科	Clinical significance and biological role of claudin-1 in oral squamous cell carcinoma cells.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 2025 Jan;139(1):92-100.	Original Article
413	Fukutani T, Yoshioka Y, Imori S, et al	顎・口腔外科	Efficacy of EpisilAR in patients with hematologic malignancies: a comparative study.	BMC Oral Health. 2024 May 3;24(1):522. (オンライン)	Original Article
414	Shido R, Ohba S, Moriuchi E, et al	顎・口腔外科	Comparison of Skeletal Stability after Le Fort I Osteotomy With Bone Fixation Using Biodegradable and Titanium Systems: A Retrospective Study.	J Craniofac Surg. 2024 Jul-Aug 01;35(5):1513-1516.	Original Article
415	Fujii A, Kawada-Matsuo M, Nguyen-Tra Le M, et al	顎・口腔外科	Antibiotic susceptibility and genome analysis of Enterococcus species isolated from inpatients in one hospital with no apparent outbreak of vancomycin-resistant Enterococcus in Japan.	Microbiol Immunol. 2024 Aug;68(8):254-266.	Original Article
416	Nakagawa T, Ono S, Sakuma M, et al	顎・口腔外科	A case of bone resorption in the mentum caused by hyaluronic acid filler in a patient with skeletal Class II jaw deformity.	Clin Case Rep. 2024 Nov 7;12(11):e9150. (オンライン)	Original Article
417	Eboshida N, Hamada A, Higaki M, et al	顎・口腔外科	Potential role of circulating tumor cells and cell-free DNA as biomarkers in oral squamous cell carcinoma: A prospective single-center study.	PLoS One. 2024 Dec 27;19(12):e0309178. (オンライン)	Original Article
418	Fujii A, Kawada-Matsuo M, Le MN, et al	顎・口腔外科	Comprehensive analysis of bacteriocins produced by clinical enterococcal isolates and their antibacterial activity against Enterococci including VRE.	Sci Rep. 2025 Feb 9;15(1):4846. (オンライン)	Original Article

419	Niwata C, Nakagawa T, Naruse T, et al	顎・口腔外科	Anticancer effect of the antirheumatic drug leflunomide on oral squamous cell carcinoma by the inhibition of tumor angiogenesis.	Discov Oncol. 2025 Jan 16;16(1):53. (オンライン)	Original Article
420	Hama Y, Yamada S, Nishimura R, et al	口腔インプラント診療科	Association between dysphagia risk and sleep quality in community-dwelling older adults: A cross-sectional study.	Heliyon. 2024 May 31;10(11):e32028. (オンライン)	Original Article
421	Okazaki Y, Nakamori K, Yao C, et al	口腔インプラント診療科	Antibacterial Dental Adhesive Containing Cetylpyridinium Chloride Montmorillonite.	Materials (Basel). 2024 Sep 4;17(17):4368. (オンライン)	Original Article
422	Yoshiga C, Kobatake R, Doi K, et al	口腔インプラント診療科	Evaluation of blue and red two-tone colored staining solution for dental plaque imaging using an intraoral scanner.	J Clin Exp Dent. 2024 Jul 1;16(7):e845-e850. (オンライン)	Original Article
423	Doi K, Wakamatsu K, Kobatake R, et al	口腔インプラント診療科	Usefulness of a novel density measurement drill for evaluating cancellous bone density: correlation between CT value and drilling torque value in bovine ribs.	Int J Implant Dent. 2025 Jan 31;11(1):7. (オンライン)	Original Article
424	Izumikawa T, Doi K, Iwaguro S, et al	口腔インプラント診療科	A novel implant placement technique using a three-dimensionally printed duplicate denture for implant-supported overdenture in patients with severe residual ridge resorption: A case report.	Clin Case Rep. 2024 Aug 30;12(9):e9389. (オンライン)	Case Report
425	Hatakeyama R, Oue H, Yokoi M, et al	口腔インプラント診療科	Tooth loss in young mice is associated with cognitive decline and femur-bone mineral density.	Odontology. 2025 Apr;113(2):706-713.	Original Article
426	Wakamatsu K, Doi K, Kobatake R, et al	口腔インプラント診療科	Evaluation of Bone Density for Primary Implant Stability Using a Newly Designed Drill: An In Vitro Study on Polyurethane Bone Blocks.	Clin Exp Dent Res. 2024 Dec;10(6):e70048.	Original Article
427	Yanoshita M, Hirose N, Nishiyama S, et al	矯正歯科	Resolvin D1 suppresses inflammation in human fibroblast-like synoviocytes via the p-38, NF- κ B, and AKT signaling pathways.	In Vitro Cell Dev Biol Anim. 2025 Mar;61(3):331-339.	Original Article
428	Kunimatsu R, Asakawa Y, Nakatani A, et al	矯正歯科	Orthodontic Treatment of a Patient With Non-Syndromic Oligodontia and a Skeletal Class a? Φ Relationship: A Case Report and Six Years' Follow-Up.	Cureus. 2024 Jun 17;16(6):e62563. (オンライン)	Case Report
429	Yoshimi Y, Mine Y, Yamamoto K, et al	矯正歯科	Detecting the articular disk in magnetic resonance images of the temporomandibular joint using YOLO series.	Dent Mater J. 2025 Jan 31;44(1):103-111.	Original Article
430	Ito S, Mine Y, Urabe S, et al	矯正歯科	Prediction of a Cephalometric Parameter and Skeletal Patterns from Lateral Profile Photographs: A Retrospective Comparative Analysis of Regression Convolutional Neural Networks.	J Clin Med. 2024 Oct 23;13(21):6346. (オンライン)	Original Article
431	Kado I, Ogashira S, Ono S, et al	矯正歯科	Surgical Orthodontic Treatment for Skeletal Maxillary Protrusion in Sturge-Weber Syndrome: A Case Report and Review of the Literature.	Cureus. 2024 May 9;16(5):e59964. (オンライン)	Case Report
432	Nakatani A, Kunimatsu R, Sakata S, et al	矯正歯科	High-frequency low-intensity semiconductor laser irradiation enhances osteogenic differentiation of human cementoblast lineage cells.	Lasers Med Sci. 2024 Jul 6;39(1):174. (オンライン)	Original Article

433	Yamada S, Chea C, Furusho H, et al	矯正歯科	Effects of novel lactoferrin peptides on LPS-induced alveolar bone destruction in a rat model.	Chem Biol Drug Des. 2024 Jul;104(1):e14574.	Original Article
434	Tsuboi E, Asakawa Y, Hirose N, et al	矯正歯科	The role of semaphorin 3A on chondrogenic differentiation.	In Vitro Cell Dev Biol Anim. 2024 Jun;60(6):609-615.	Original Article
435	Hirose N, Yanoshita M, Nishiyama S, et al	矯正歯科	Orthodontic Treatment of Anterior Open Bite Caused by a Car Accident.	Contemp Clin Dent. 2024 Oct-Dec;15(4):269-274.	Case Report
436	Akitomo T, Iwamoto Y, Ogawa M, et al	小児歯科	Improvement of Eruption Disturbance in Mandibular Canine Caused by a Supernumerary Tooth.	Cureus. 2024 Sep 23;16(9):e70050. (オンライン)	Case Report
437	Kametani M, Nagasawa Y, Usuda M, et al	小児歯科	Relationship Between the Presence of Red Complex Species and the Distribution of Other Oral Bacteria, Including Major Periodontal Pathogens in Older Japanese Individuals.	Int J Mol Sci. 2024 Nov 14;25(22):12243. (オンライン)	Original Article
438	Akitomo T, Niizato N, Ikeda S, et al	小児歯科	A Case of Severe Early Childhood Caries Occurring in a Childhood Cancer Patient.	Children (Basel). 2025 Feb 20;12(3):261. (オンライン)	Case Report
439	Kametani M, Akitomo T, Hamada M, et al	小児歯科	Inhibitory Effects of Surface Pre-Reacted Glass Ionomer Filler Eluate on Streptococcus mutans in the Presence of Sucrose.	Int J Mol Sci. 2024 Sep 2;25(17):9541. (オンライン)	Original Article
440	Akitomo T, Kametani M, Iwamoto Y, et al	小児歯科	A Second Residual Tooth Occurring from One Tooth.	Diagnostics (Basel). 2025 Mar 14;15(6):733. (オンライン)	Original Article
441	Nakano M, Akitomo T, Ogawa M, et al	小児歯科	Case Study of a Broken Instrument in a Primary Tooth and Literature Review.	Children (Basel). 2025 Jan 27;12(2):149. (オンライン)	Case Report
442	Akitomo T, Ogawa M, Kaneki A, et al	小児歯科	Dental Abnormalities in Pediatric Patients Receiving Chemotherapy.	J Clin Med. 2024 May 13;13(10):2877. (オンライン)	Original Article
443	Akitomo T, Iwamoto Y, Kaneki A, et al	小児歯科	Eruption disturbance in first molar and primary second molar caused by multiple compound odontomas: a case report.	J Clin Pediatr Dent. 2024 Nov;48(6):236-242.	Case Report
444	Akitomo T, Niizato N, Kaneki A, et al	小児歯科	A Case of Hypophosphatasia Started Enzyme Replacement Therapy Since Babyhood Stage.	Children (Basel). 2025 Jan 6;12(1):61. (オンライン)	Case Report
445	Akitomo T, Hamada M, Tsuge Y, et al	小児歯科	Artificial Intelligence's Performance on the Japanese National Dental Examination.	Cureus. 2024 Nov 5;16(11):e73103. (オンライン)	Original Article
446	Akitomo T, Iwamoto Y, Kametani M, et al	小児歯科	Eruption Disturbance in Children Receiving Bisphosphonates: Two Case Reports.	Pharmaceuticals (Basel). 2024 Nov 12;17(11):1521. (オンライン)	Case Report

447	Akitomo T, Tsuge Y, Mitsuhashi C, et al	小児歯科	A Narrative Review of the Association between Dental Abnormalities and Chemotherapy.	J Clin Med. 2024 Aug 22;13(16):4942. (オンライン)	Original Article
448	Shimizu Y, Takahashi T, Oda A, et al	歯科麻酔科	Development of a Pharyngeal Residue Level Assessment Index Using Artificial Intelligence (AI) Acoustic Analysis: A Study Protocol.	Cureus. 2025 Feb 1;17(2):e78358. (オンライン)	Original Article
449	Oda A, Yoshida M, Imamura S, et al	歯科麻酔科	Anesthetic management of a patient with Sturge-Weber syndrome in sagittal split ramus osteotomy surgery.	Clin Case Rep. 2024 Apr 7;12(4):e8747. (オンライン)	Case Report
450	Oue K, Yamawaki Y, Ouhara K, et al	歯科麻酔科	Oral administration of Porphyromonas gingivalis to mice with diet-induced obesity impairs cognitive function associated with microglial activation in the brain.	J Oral Microbiol. 2024 Nov 14;16(1):2419155. (オンライン)	Original Article
451	Kamio H, Okabe K, Honda M, et al	歯科麻酔科	Knockdown of decorin in human bone marrow mesenchymal stem cells suppresses proteoglycan layer formation and establishes a pro-inflammatory environment on titanium oxide surfaces.	J Mater Sci Mater Med. 2025 Jan 7;36(1):5. (オンライン)	Original Article
452	Shigeishi H, Hamada N, Kaneyasu Y, et al	口腔健康科	Prevalence of oral Capnocytophaga species and their association with dental plaque accumulation and periodontal inflammation in middle-aged and older people.	Biomed Rep. 2024 Apr 30;20(6):99. (オンライン)	Original Article
453	Kaneyasu Y, Shigeishi H, Niitani Y, et al	口腔健康科	Manual toothbrushes, self-toothbrushing, and replacement duration to remove dental plaque and improve gingival health: A scoping review from recent research.	J Dent. 2024 Sep;148:105240.	Original Article
454	Wu CH, Kaneyasu Y, Yano K, et al	口腔健康科	Anti-fungal effects of slightly acidic electrolyzed water on Candida species.	J Oral Biosci. 2025 Mar;67(1):100573.	Original Article
455	Kasagawa M, Mine Y, Sano M, et al	医療情報部	Analysis of Risedronate Analog on Extraction Socket Healing in Mice.	In Vivo. 2025 Mar-Apr;39(2):648-655.	Original Article
456	Hase H, Mine Y, Okazaki S, et al	医療情報部	Sex estimation from maxillofacial radiographs using a deep learning approach.	Dent Mater J. 2024 Jun 1;43(3):394-399.	Original Article
457	Mine Y, Okazaki S, Yamasaki S, et al	医療情報部	Artificial intelligence for medication-related osteonecrosis of the jaw: a scoping review.	Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. 2025 Mar 10:S2212-4403(25)00831-4.	Original Article
458	Okazaki S, Mine Y, Yoshimi Y, et al	医療情報部	RadImageNet and ImageNet as Datasets for Transfer Learning in the Assessment of Dental Radiographs: A Comparative Study.	J Imaging Inform Med. 2025 Feb;38(1):534-544.	Original Article
459	Harada K, Sakamoto N, Kitaoka T, et al	病理診断科	PI3 expression predicts recurrence after chemotherapy with DNA-damaging drugs in gastric cancer.	J Pathol. 2025 Apr;265(4):472-485.	Original Article
460	Kobayashi G, Sekino Y, Nakahara H, et al	病理診断科	Distribution and clinicopathological characteristics of G-CSF expression in tumor cells and stromal cells in upper tract urothelial carcinoma.	J Cancer Res Clin Oncol. 2024 Dec 30;151(1):18. (オンライン)	Original Article

461	Ishikawa A, Fukui T, Kido A, et al	病理診断科	Discovering cancer stem-like molecule, nuclear factor I X, using spatial transcriptome in gastric cancer.	Cancer Sci. 2024 Sep;115(9):3180-3193.	Original Article
462	Ishikawa A, Shiwa Y, Katsuya N, et al	病理診断科	Fructose-bisphosphate Aldolase C Expression is Associated with Poor Prognosis and Stemness in Gastric Cancer.	Acta Histochem Cytochem. 2024 Oct 28;57(5):165-174.	Original Article
463	Fujimoto N, Matsuo-Matsuyama M, Nakashima M	口腔検査センター	Identification of Thyroid Genes Whose Expression Is Altered by Neonatal Irradiation in Rats.	Int J Mol Sci. 2025 Feb 21;26(5):1874. (オンライン)	Original Article
464	Fujimoto N, Mukhanbetzhanov N, Zhetkenev S, et al	口腔検査センター	Gene Expression Changes in the Spleen, Lungs, and Liver of Wistar Rats Exposed to I2-Emitted (31)SiO(2) Particles.	Int J Mol Sci. 2025 Mar 17;26(6):2693. (オンライン)	Original Article
465	Tashiro S	口腔検査センター	Radiation medicine from the perspective of radiation disaster medical science research.	J Radiat Res. 2024 Dec 16;65(Supplement_1):i1.	Original Article
466	Mizobuchi A, Maruhashi T, Saito Y, et al	口腔検査センター	Vascular function assessed by flow-mediated vasodilation and nitroglycerine-induced vasodilation in subjects with first-degree atrioventricular block.	Sci Rep. 2024 Dec 5;14(1):30315. (オンライン)	Original Article
467	Sasatani M, Xi Y, Daino K, et al	口腔検査センター	Rev1 overexpression accelerates N-methyl-N-nitrosourea (MNU)-induced thymic lymphoma by increasing mutagenesis.	Cancer Sci. 2024 Jun;115(6):1808-1819.	Original Article
468	Emori S, Kume K, Nakayama Y, et al	口腔検査センター	C9orf72 repeat expansions in Wakayama: One potential cause of amyotrophic lateral sclerosis in the Kii Peninsula, Japan.	J Neurol Sci. 2024 Nov 15;466:123209.	Original Article
469	Zhou G, Shimura T, Yoneima T, et al	口腔検査センター	Age-Dependent Differences in Radiation-Induced DNA Damage Responses in Intestinal Stem Cells.	Int J Mol Sci. 2024 Sep 23;25(18):10213. (オンライン)	Original Article
470	Morino H, Kurashige T, Matsuda Y, et al	口腔検査センター	Clinical and Pathological Features of FTDP-17 with MAPT p.K298_H299insQ Mutation.	Mov Disord Clin Pract. 2024 Jun;11(6):720-727.	Original Article
471	Murao M, Fukazawa T, Bhawal UK, et al	口腔検査センター	Differential Effects of the Prolyl-Hydroxylase Inhibitor on the Cellular Response to Radiation.	Int J Mol Sci. 2025 Mar 18;26(6):2742. (オンライン)	Original Article
472	Murakami D, Fukazawa T, Kyo M, et al	口腔検査センター	Lactoferrin Modulates Radiation Response Under Hypoxic Conditions, Possibly Through the Regulation of ROS Production in a Cell Type-Specific Manner.	Antioxidants (Basel). 2024 Dec 24;14(1):1. (オンライン)	Original Article
473	Yamaji T, Mizobuchi A, Higashi Y	口腔検査センター	Detection of Four Cases of Familial Hypercholesterolemia during a Workers' Compensation Insurance Secondary Health Examination.	Intern Med. 2025 Feb 18.	Original Article
474	Yamaji T, Yusoff FM, Kishimoto S, et al	口腔検査センター	The relationship between continuation of exercise habit for three years and endothelial function in patients with hypertension.	Hypertens Res. 2025 Mar;48(3):927-938.	Original Article

475	Watanabe TM, Ueda S, Ishida S, et al	□腔検査センター	Optical evaluation of internal damage to human hair based on second near-infrared window polarization microscopy.	Int J Cosmet Sci. 2024 Dec;46(6):850-864.	Original Article
476	Fujita H, Watanabe TM	□腔検査センター	Use of optical techniques to evaluate the ionizing radiation effects on biological specimens.	J Radiat Res. 2024 Dec 16;65(Supplement_1):i117-i125.	Original Article
477	Sasaki N, Ueno Y, Ozono R, et al	□腔検査センター	Insulin resistance in adipose tissue and fatty liver, but not fat mass, are involved in worsening glycaemic status: The Hiroshima study on glucose metabolism and cardiovascular diseases.	Diabetes Obes Metab. 2025 Jun;27(6):3025-3035.	Original Article
478	Yusoff FM, Kajikawa M, Yamaji T, et al	□腔検査センター	A Body Shape Index as a Simple Anthropometric Marker for the Risk of Cardiovascular Events.	Curr Cardiol Rep. 2025 Feb 4;27(1):46. (オンライン)	Original Article
479	Maruhashi T, Kinoshita Y, Ozono R, et al	□腔検査センター	Nighttime blood pressure-targeted antihypertensive treatment.	J Hypertens. 2025 May 1;43(5):887-896.	Original Article
480	Sasaki N, Ueno Y, Ozono R, et al	□腔検査センター	Insulin resistance in the adipose tissue predicts future vascular resistance: The Hiroshima Study on Glucose Metabolism and Cardiovascular Diseases.	Atherosclerosis. 2024 Jun;393:117547.	Original Article
481	Maruhashi T, Kajikawa M, Kishimoto S, et al	□腔検査センター	Upstroke time is a more useful marker of atherosclerosis than percentage of mean arterial pressure for detecting coronary artery disease in subjects with a normal ankle-brachial index.	Hypertens Res. 2024 Aug;47(8):2009-2018.	Original Article
482	Mohamad Yusoff F, Kajikawa M, Sakamoto T, et al	□腔検査センター	Low-intensity pulsed ultrasound for 'no-option' chronic/critical limb-threatening ischaemia in a patient with Buerger disease: a case report.	Eur Heart J Case Rep. 2024 May 24;8(6):ytac246. (オンライン)	Case Report
483	Mohamad Yusoff F, Kajikawa M, Yamaji T, et al	□腔検査センター	Low-intensity pulsed ultrasound improves symptoms in patients with Buerger disease: a double-blinded, randomized, and placebo-controlled study.	Sci Rep. 2024 Jun 14;14(1):13704. (オンライン)	Original Article
484	Kishimoto S, Hashimoto Y, Maruhashi T, et al	□腔検査センター	New device for assessment of endothelial function: plethysmographic flow-mediated vasodilation (pFMD).	Hypertens Res. 2024 Sep;47(9):2471-2477.	Original Article
485	Maruhashi T, Tatsumi Y, Satoh M, et al	□腔検査センター	Updated meta-analysis for antihypertensive treatment guided by home blood pressure compared to treatment based on office blood pressure: systematic review.	Hypertens Res. 2024 Dec 24.	Original Article
486	Maruhashi T, Kajikawa M, Kishimoto S, et al	□腔検査センター	Serum uric acid is independently associated with impaired nitroglycerine-induced vasodilation of the brachial artery in women.	Hypertens Res. 2025 Jan;48(1):6-14.	Original Article
487	Maruhashi T, Higashi Y	□腔検査センター	Current topic of vascular function in hypertension in 2023-2024.	Hypertens Res. 2024 Dec;47(12):3310-3317.	Original Article
488	Higashi Y	□腔検査センター	Noninvasive Assessment of Vascular Function: From Physiological Tests to Biomarkers.	JACC Asia. 2024 Nov 19;4(12):898-911. (オンライン)	Original Article

489	Azariasl S, Yasuda H	口腔検査センター	The effects of age and other individual factors on radiation induced ESR signals from fingernails.	Front Public Health. 2025 Jan 15;13:1531253. (オンライン)	Original Article
490	Bantan H, Yasuda H	口腔検査センター	Reading of gafchromic EBT-3 film using an overhead scanner.	Biomed Phys Eng Express. 2024 Jul 9;10(5). (オンライン)	Original Article
491	Doi T, Shimizu A, Morimoto E, et al	腎臓内科	A Case of Acute Kidney Injury and Fanconi Syndrome Caused by a Red Yeast Rice Supplement.	Intern Med. 2025 Feb 22.	Original Article
492	Sawatari H, Niitani M	産科婦人科	Sex disparities in mental distress, selfcare ability, and quality of life in patients with chronic heart failure.	Heart Vessels. 2025 Mar 6.	Original Article
493	Sawatari H, Magota C, Kadokami T, et al	産科婦人科	Association between hypoxemia and quality of life in patients with heart failure with preserved ejection fraction and sleep-disordered breathing.	Sleep Biol Rhythms. 2024 Nov 5;23(1):85-93. (オンライン)	Original Article
494	Tashiro T, Maeda N, Mizuta R, et al	リハビリテーション科	Relationship between sleep disorders and depressive symptoms among young women in Japan: a web-based cross-sectional study.	BMJ Open. 2025 Feb 10;15(2):e089360. (オンライン)	Original Article
495	Oda S, Maeda N, Tashiro T, et al	リハビリテーション科	Effect of sleep quality on the severity of perimenstrual symptoms in Japanese female students: a cross-sectional, online survey.	BMJ Open. 2025 Feb 6;15(2):e093197. (オンライン)	Original Article
496	Ishihara H, Maeda N, Komiya M, et al	リハビリテーション科	The vertical mobility of the first tarsometatarsal joint during demi-plié with forced turnout in ballet dancers.	Sci Rep. 2024 Jul 3;14(1):15321. (オンライン)	Original Article
497	Tashiro T, Maeda N, Abekura T, et al	リハビリテーション科	Adaptation of Postural Sway in a Standing Position during Tilted Video Viewing Using Virtual Reality: A Comparison between Younger and Older Adults.	Sensors (Basel). 2024 Apr 24;24(9):2718. (オンライン)	Original Article
498	Kawai M, Maeda N, Kobayashi T, et al	リハビリテーション科	Effect of ball positions on trunk, hip, knee, and ankle joint kinematics and kinetics during a spike jump in volleyball.	Gait Posture. 2024 Sep;113:419-426.	Original Article
499	Onoue S, Maeda N, Ikuta Y, et al	リハビリテーション科	Comparison of the distance between the talus and lateral malleolus during the stance phase with and without chronic ankle instability.	Sci Rep. 2024 Nov 7;14(1):27055. (オンライン)	Original Article
500	Nagao T, Maeda N, Komiya M, et al	リハビリテーション科	The acute effect of throwing training with virtual reality on boccia competitive performance in healthy adults.	J Phys Ther Sci. 2024 Oct;36(10):662-666.	Original Article
501	Mizuta R, Maeda N, Tashiro T, et al	リハビリテーション科	Reproducibility of dynamic balance and anterior tibiofibular gap measurements in men and women: A menstrual cycle-based longitudinal study.	J Orthop Sci. 2024 Dec 17:S0949-2658(24)00265-3.	Original Article
502	Kawaguchi K, Kumagai H, Sawatari H, et al	睡眠医療センター	Evaluation of advanced emergency braking systems in drowsy driving-related real-world truck collisions.	Sleep. 2025 Jan 13;48(1):zsae196.	Original Article

503	Ishii S, Koga Y, Yokooji T, et al	薬剤部	Evaluation of a Novel Detection Method for Allergen-Specific IgE Antibodies with IgE Receptor Crosslinking Using Rat Food Allergy Model.	Foods. 2024 Aug 27;13(17):2713. (オンライン)	Original Article
504	Hirokane S, Kawasumi T, Takeno S, et al	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Impaired Coordination of the Ciliary Movement in Patients with Chronic Rhinosinusitis with Nasal Polyps: The Role of Decreased Planar Cell Polarity Protein Expression	IMMUNO-BASEL.2024 SEP:4(3):19	Original Article
505	Okada K, Uemura K, Sumiyoshi T, et al	心臓血管外科	Survival benefit of adjuvant therapy completion with early initiation for patients with pancreatic ductal adenocarcinoma	ANN GASTROENT SURG.2024 DEC:9	Original Article
506	Kosaka M, Fujino H, Tsuge M, et al	消化器内科	The Hepatitis B Virus PreS1/HBsAg Ratio Is a Predictive Marker for the Occurrence of Hepatocellular Carcinoma	LIVERS-BASEL.2024 SEP:4(3):13	Original Article
507	Murakami E, Morioka S, Tanaka A	皮膚科	Improved atopic dermatitis accompanied by pompholyx	J CUTAN IMMUNOL ALL.2024 OCT:7:4	Original Article
508	Yoshimaru H, Tanabe K, Sawatari H, et al	産科婦人科	Validity and Reliability of the Nursing Home Adjustment Scale for Older Adults in Japan: A Cross-Sectional Study	SAGE OPEN.2024 JUL:14(3):11	Original Article
509	Tanabe Y, Ishikawa E, Yamada T, et al	救急集中治療科	Family presence during resuscitation: a survey of Japanese physicians' views	J PUBLIC HEALTH-HEID.2024 AUG:9	Original Article
510	Shigeishi H, Sugiyama M, Akagi M, et al	口腔健康科	HPV16 E6 and E7 are involved in inhibition of autophagy and maintenance of cancer stem cell properties in HPV16-positive oral squamous cell carcinoma cells	ORAL SCI INT.2024 MAY:21(2):12	Original Article
511	Shigeishi H, Matsumura M, Hamada N, et al	口腔健康科	Relationship between the presence of oral herpes simplex virus type 1 DNA and oral hygiene condition in dependent older individuals	ORAL SCI INT.2024 JUN:22(1):7	Original Article
512	Yamasaki S, Yoshioka Y, Oue K, et al	顎・口腔外科	Oral surgery under general anesthesia in a patient with catecholaminergic polymorphic ventricular tachycardia: A case report	ORAL SCI INT.2024 MAY:21(2):5	Original Article
513	Yoshioka Y, Yamasaki S, Fukutani T, et al	顎・口腔外科	Two case reports of medication-related osteonecrosis of the jaw with mandibular reconstruction using a fully customized "Cosmofix®" plate	J ORAL MAX SURG MED.2024 MAY:36(3):7	Original Article
514	Obayashi F, Tani R, Hamada A, et al	顎・口腔外科	Perioperative management of maxillary cyst and genetic analysis in a patient with glycogen storage disease type 1a: A rare case report	ORAL SCI INT.2024 MAY:21(2):6	Original Article
515	Ishida Y, Koizumi K, Hayashi S, et al	顎・口腔外科	A case of treatment-related myelodysplastic syndrome in the early stage after radiotherapy in a patient with cancer of the oral floor	J ORAL MAX SURG MED.2024 NOV:36(6):6	Original Article
516	Kamio H, Oue K, Asada Y, et al	顎・口腔外科	General anesthesia with remimazolam for tooth extraction in a patient with Noonan syndrome and hypertrophic obstructive cardiomyopathy: A case report	J ORAL MAX SURG MED.2025 JAN:37(1):4	Original Article

517	Koizumi K, Mishima T, Ito N, et al	顎・口腔外科	A case of supermassive cemento-ossifying fibroma in the mandible	J ORAL MAX SURG MED.2024 SEP;36(5):5	Original Article
518	Naruse T, Ohta K, Shigeishi H, et al	顎・口腔外科	Carcinoma ex pleomorphic adenoma primarily composed of squamous cell carcinoma in buccal region - Case report	J ORAL MAX SURG MED.2025 JAN;37(1):5	Original Article
519	Kunimatsu R, Asakawa Y, Nakatani A, et al	矯正歯科	Orthodontic Treatment of a Patient With Non-Syndromic Oligodontia and a Skeletal Class III Relationship: A Case Report and Six Years' Follow-Up	CUREUS J MED SCIENCE.2024 JUN;16(6):19	Original Article
520	Akitomo T, Kusaka S, Kametani M, et al	小児歯科	High-performance silica-containing professional mechanical tooth-cleaning paste that effectively adsorbs pigments	PEDIATR DENT J.2024 AUG;34(2):8	Original Article
521	Akitomo T, Kadota T, Iwamoto Y, et al	小児歯科	Current knowledge regarding infective endocarditis prevention among dentists affiliated with the Japanese Society of Pediatric Dentistry	PEDIATR DENT J.2024 DEC;34(3):7	Original Article
522	Usuda M, Akitomo T, Asao Y, et al	小児歯科	Unique oral finding in a patient with Pitt-Hopkins Syndrome	PEDIATR DENT J.2024 DEC;34(3):5	Original Article
523	Hase H, Mine Y, Okazak S, et al	医療情報部	Sex estimation from maxillofacial radiographs using a deep learning approach	DENT MATER J.2024 JUN;43(3):160	Original Article
524	Kurusu N, Hiyama T, Harada Y	眼科	Vitreoretinal Lymphoma in a Patient with Rheumatoid Arthritis with a History of Methotrexate-associated Lymphoproliferative Disorders	OCULAR IMMUNOLOGY AND INFLAMMATION.2024JUL 2;32(6):1070-1075	Article
525	Kamigaichi A, Tsutani Y, Mimae T	呼吸器外科	Discrepancy Between Radiological and Pathological Tumor Size in Early-Stage NonSmall Cell Lung Cancer: A Multicenter Study	SEMINARS IN THORACIC AND CARDIOVASCULAR SURGERY2024SUM;36(2):-	Article
526	Kamigaichi A, Mimae T, Tsubokawa N	呼吸器外科	Risk Factors for Recurrence of Stage I Epidermal Growth Factor Receptor Mutated Lung Adenocarcinoma	ANNALS OF THORACIC SURGERY2024APR;117(4):-	Article
527	Yoshimi Y, Mine Y, Ito S	矯正歯科	Image preprocessing with contrast-limited adaptive histogram equalization improves the segmentation performance of deep learning for the articular disk of the temporomandibular joint on magnetic resonance images	ORAL SURGERY ORAL MEDICINE ORAL PATHOLOGY ORAL RADIOLOGY2024JUL;138(1):128-141	Article
528	Kawabata S, Nakasa T, Ikuta Y	整形外科	Hounsfield Unit values on the subchondral bone are related to clinical outcomes in bone marrow stimulation for osteochondral lesions of the talus	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC SCIENCE2024JUL;29(4):1097-1102	Article
529	Oda Y, Furutani C, Kawano R	口腔健康科	Comparison of dental plaque flora between intellectually disabled patients and healthy individuals: a cross-sectional study	ODONTOLOGY2024APR;112(2):588-600	Article
530	Akagi M, Ohta K, Fukada S	口腔健康科	ACE2 expression and spike S1 protein-mediated immune responses in oral mucosal cells	ORAL DISEASES2024MAY;30(4):2293-2305	Article

531	Ikuta Y, Nakasa T, Nekomoto A	整形外科	Correction effects of peroneus longus contraction on hallux valgus radiographic parameters	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC SCIENCE2024JUL;29(4):1026-1030	Article
532	Nakasa T, Ikuta Y, Sumii J	整形外科	Augmentation of the medial collateral ligament using suture tape reduces the recurrence after corrective surgery for severe hallux valgus	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC SCIENCE2024JUL;29(4):1046-1053	Article
533	Tanaka H, Takehara Y, Morimoto S	内視鏡診療科	Diagnostic and therapeutic strategies for colorectal tumor with positive muscle-retracting sign	DEN OPEN2024APR;4(1):-	Article
534	Inagaki K, Yamashita K, Oka S	内視鏡診療科	Clinical outcomes of endoscopic submucosal dissection for large pedunculated colorectal carcinoma: A retrospective multicenter study	DEN OPEN2024APR;4(1):-	Article
535	Takehara Y, Yamashita K, Morimoto S	内視鏡診療科	Usefulness and Educational Benefit of a Virtual Scale Endoscope in Measuring Colorectal Polyp Size	DIGESTION2024APR;105(2):73-80	Article
536	Konishi M, Nagasaki T, Kakimoto N.	歯科放射線科	Videofluoroscopic analysis of the laryngeal movement of older adults in swallowing	ODONTOLOGY2024APR;112(2):624-629	Article
537	Konishi M, Shimabukuro K, Kakimoto N.	歯科放射線科	Retrospective analysis of tooth extraction and osteoradionecrosis after low-dose rate brachytherapy for patients with tongue cancer	ORAL RADIOLOGY2024APR;40(2):158-164	Article
538	Yumii K, Ueda T, Kawahara D	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	Artificial intelligence-based diagnosis of the depth of laryngopharyngeal cancer	AURIS NASUS LARYNX2024APR;51(2):417-424	Article
539	Nakasa T, Ikuta Y, Kawabata S	整形外科	Development of osteophytes and joint space narrowing is associated with cartilage degeneration of the osteochondral fragment in the osteochondral lesion of the talus	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC SCIENCE2024SEP;29(5):1242-1247	Article
540	Nakamoto K, Horimasu Y, Yamaguchi K	呼吸器内科	Usefulness of Quantification and Serial Monitoring of Fine Crackles for Early Detection of Treatment-related Lung Injury: A Report of Two Cases	INTERNAL MEDICINE2024;63(12):1783-1787	Article
541	Kodama A, Kurumadani H, Tanaka T	未来医療センター	Association between three-dimensional motion analysis of the thumb and clinical parameters in patients with carpal tunnel syndrome	JOURNAL OF HAND SURGERY-EUROPEAN VOLUME2024APR;49(4):452-457	Article
542	Omori K, Kitagawa H, Takada M	感染症科	Fosfomycin as salvage therapy for persistent methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> bacteremia: A case series and review of the literature	JOURNAL OF INFECTION AND CHEMOTHERAPY2024APR;30(4):352-356	Article
543	Yamaji T, Harada T, Kajikawa M	循環器内科	Role of Small Dense Low-density Lipoprotein Cholesterol in Cardiovascular Events in Patients with Coronary Artery Disease and Type 2 Diabetes Mellitus Receiving Statin Treatment	JOURNAL OF ATHEROSCLEROSIS AND THROMBOSIS2024;31(4):478-500	Article
544	Nekomoto A, Nakasa T, Ikuta Y	整形外科	Quantitative evaluation of calcaneofibular ligament injury on the oblique coronal view of magnetic resonance imaging in chronic lateral ankle instability	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC SCIENCE2024NOV;29(6):1456-1461	Article

545	Tanaka H, Urabe Y, Takemoto H	内視鏡診療科	Can underwater endoscopic mucosal resection be an alternative to conventional endoscopic mucosal resection for superficial non-ampullary duodenal epithelial tumors?	DEN OPEN2024APR;4(1):-	Article
546	Date S, Kurumadani H, Kurauchi K	整形外科	Effect of extension of the ulnar fingers on force control and muscle activity of the hand during a precision pinch	JOURNAL OF HAND SURGERY-EUROPEAN VOLUME2024MAY;49(5):608-616	Article
547	Yoshihiro S, Hongo T, Yamamoto M	薬剤部	Pharmacotherapy for Reducing RBC Transfusion for Patients in the ICU: A Systematic Review and Network Meta-Analysis	CRITICAL CARE MEDICINE2024APR;52(4):618-625	Review
548	Maruhashi T, Kajikawa M, Kishimoto S	循環器内科	Seasonal variations in endothelium-dependent flow-mediated vasodilation and endothelium-independent nitroglycerine-induced vasodilation	HYPERTENSION RESEARCH2024APR;47(4):910-920	Article
549	Namba Y, Kobayashi T, Hashimoto M	消化器外科	The efficacy and safety of pure laparoscopic liver resection for hepatocellular carcinoma in super-elderly patients over 80 years: A multicenter propensity analysis	JOURNAL OF HEPATO-BILIARY-PANCREATIC SCIENCES2024APR;31(4):234-242	Article
550	Nakamori M, Toko M, Yamada H	脳神経内科	Association between motor symptoms of Parkinson's disease and swallowing disorders	NEUROLOGICAL SCIENCES2024MAY;45(5):2021-2026	Article
551	Kohada Y, Goto K, Tasaka R	泌尿器科	Prognostic Impact of the Modified 5-Item Frailty Index After Radical Nephroureterectomy in Patients With Upper Tract Urothelial Carcinoma: A Multicenter Retrospective Study	CLINICAL GENITOURINARY CANCER2024APR;22(2):-	Article
552	Kido A, Ishikawa A, Fukui T	病理診断科	IQ Motif Containing GTPase-Activating Protein 3 Is Associated with Cancer Stemness and Survival in Pancreatic Ductal Adenocarcinoma	PATHOBIOLOGY2024AUG;91(4):268-278	Article
553	Konishi M, Shimabukuro K, Hirokawa J	歯科放射線科	Radiation doses of medical radiation workers performing low-dose-rate brachytherapy with ¹⁹⁸ Au grains and ¹⁹² Ir pins for patients with oral cancers	ORAL RADIOLOGY2024APR;40(2):234-241	Article
554	Uemura K, Kondo N, Sudo T	消化器外科	Long-term outcomes of neoadjuvant gemcitabine, nab-paclitaxel, and S1 (GAS) in borderline resectable pancreatic cancer with arterial contact: Results from a phase II trial	JOURNAL OF HEPATO-BILIARY-PANCREATIC SCIENCES2024MAY;31(5):351-362	Article
555	Mochizuki T, Hirooka K, Okada N	眼科	Surgical Outcomes of Ab Interno Trabeculotomy Without Phacoemulsification	CLINICAL OPHTHALMOLOGY2024;18():9-16	Article
556	Mimae T, Miyata Y, Tsubokawa N	呼吸器外科	Sublobar Resection in Early Non-Small Cell Lung Cancer With Epidermal Growth Factor Receptor Mutant	ANNALS OF THORACIC SURGERY2024AUG;118(2):395-401	Article
557	Sasaki M, Shigeishi H, Nishi H	口腔健康科	Periodontitis and postoperative inflammation in gastric cancer patients: Propensity score analysis	ORAL DISEASES2024OCT;30(7):4691-4704	Article
558	Ishikawa A, Tanaka H, Yamashita K	病理診断科	Colonic invasive adenocarcinoma with squamoid morules: A case report	DEN OPEN2024APR;4(1):-	Article

559	Bekki T, Shimomura M, Hattori M	消化器外科	C-Reactive Protein/Albumin Ratio Is an Independent Risk Factor for Recurrence and Survival Following Curative Resection of Stage I-III Colorectal Cancer in Older Patients	ANNALS OF SURGICAL ONCOLOGY2024JUL;31(7):4812-4821	Article
560	Imaoka K, Shimomura M, Hattori M	消化器外科	Weekday Surgery Associated With Short-term Outcomes in Patients With Colorectal Cancers	JOURNAL OF SURGICAL RESEARCH2024APR;296(3):16-324	Article
561	Asayama N, Oka S, Nagata S	消化器内科	Adherence and Effectiveness of MoviPrep in Bowel Preparation for Colonoscopy: A Multicenter Study from the Hiroshima GI Endoscopy Research Group	JOURNAL OF THE ANUS RECTUM AND COLON2024;8(1):9-17	Article
562	Hiyama Y, Tomita T, Matsuo H.	薬剤部	Minimal impact of low-density lipoprotein apheresis on vancomycin serum concentration: A case report	JOURNAL OF INFECTION AND CHEMOTHERAPY2024AUG;30(8):812-814	Article
563	Maruhashi T, Tanaka A, Takahashi K	循環器内科	Erythropoiesis and estimated fluid volume regulation following initiation of ipragliflozin treatment in patients with type 2 diabetes mellitus and chronic kidney disease: A post-hoc analysis of the PROCEED trial	DIABETES OBESITY & METABOLISM2024MAY;26(5):1723-1730	Article
564	Ohira M, Imaoka K, Bekki T	未来医療センター	Donor Age Correlates With Liver-Resident Natural Killer Cell Activity in Adoptive Immunotherapy Using Donor Liver Natural Killer Cells in Liver Transplantation	TRANSPLANTATION PROCEEDINGS2024APR;56(3):667-671	Article
565	Bekki T, Ohira M, Chogahara I	未来医療センター	Association of Abdominal Aortic Calcification With the Postoperative Metabolic Syndrome Components After Liver Transplantation	TRANSPLANTATION PROCEEDINGS2024APR;56(3):581-587	Article
566	Ide K, Tanaka A, Tanaka Y	消化器外科	Anti-Donor T-Cell Responses Are Not Necessarily Attenuated During Cytomegalovirus Infection in Kidney Transplant Recipients	TRANSPLANTATION PROCEEDINGS2024APR;56(3):521-525	Article
567	Ishikawa A, Nakamura K.	病理診断科	Gastric Adenocarcinoma with Enteroblastic Differentiation Resected through Endoscopic Submucosal Dissection: A Case Report	CASE REPORTS IN GASTROENTEROLOGY2024;18(1):68-73	Article
568	Oka S, Tanaka S, Kajiwara Y	消化器内科	Treatment Decision for Locally Resected T1 Colorectal Carcinoma-Verification of the Japanese Guideline Criteria for Additional Surgery Based on Long-Term Clinical Outcomes	AMERICAN JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY2024OCT;119(10):2019-2027	Article
569	Nakagiri T, Amatya VJ, Kushitani K	病理診断科	Reply to "Correspondence: SPARC, HEG1, and the Diagnosis of Epithelioid Mesothelioma" by Churg et al	AMERICAN JOURNAL OF SURGICAL PATHOLOGY2024MAY;48(5):632-634	Article
570	Kamigaichi A, Hamada A, Tsuboi M	呼吸器外科	A Multi-Institutional, Randomized, Phase III Trial Comparing Anatomical Segmentectomy and Lobectomy for Clinical Stage IA3 Pure-Solid Non-Small-Cell Lung Cancer: West Japan Oncology Group Study WJOG16923L (STEP UP Trial)	CLINICAL LUNG CANCER2024JUN;25(4):-	Article
571	Uotani Y, Sasaki N, Nakashima M	循環器内科	Clinical Features of Tachycardia-induced Cardiomyopathy in Patients with Atrial Fibrillation	INTERNAL MEDICINE2024;63(18):2509-2517	Article
572	Shoji T, Shozen H, Ueki S	整形外科	Evaluation of the long-term patient-reported outcomes after hip arthroplasty or joint preserving with Sugioka femoral osteotomy in patients with femoral head osteonecrosis	INTERNATIONAL ORTHOPAEDICS2024MAY;48(5):1201-1208	Article

573	Yamashita K, Oka S, Yamada T	消化器内科	Clinicopathological features and prognosis of primary small bowel adenocarcinoma: a large multicenter analysis of the JSCCR database in Japan	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY2024MAY;59(5):376-388	Article
574	Saiki T, Sasaki K, Doi S	腎臓内科	Comparison between the 0-and 30-s balloon dilation time in percutaneous transluminal angioplasty for restenosed arteriovenous fistula among hemodialysis patients: a multicenter, prospective, randomized trial (CARP study)	CLINICAL AND EXPERIMENTAL NEPHROLOGY2024JUL;28(7):647-655	Article
575	Tani H, Hirashio S, Tsuda A	腎臓内科	Renal dysfunction caused by severe hypothyroidism diagnosed by renal biopsy: a case report	CEN CASE REPORTS2024OCT;13(5):366-372	Article
576	Yamamoto N, Yamashita K, Takehara Y	内視鏡診療科	Characteristics and Prognosis of Sporadic Neoplasias Detected in Patients with Ulcerative Colitis	DIGESTION2024JUN;105(3):213-223	Article
577	Abe F, Nakano A, Hirata I	矯正歯科	Structure and function of engineered stromal cell-derived factor-1 α	DENTAL MATERIALS JOURNAL2024APR;43(2):-	Article
578	Tsubokawa N, Mimae T, Mimura T	呼吸器外科	Clinical Significance of Preserving Pulmonary Function After Lung Resection in Early-Stage Non-Small-Cell Lung Cancer	CLINICAL LUNG CANCER2024JUN;25(4):-	Article
579	Nakano R, Chogahara I, Ohira M	未来医療センター	Atherosclerosis Deteriorates Liver Ischemia/Reperfusion Injury Via Interferon Regulatory Factor-1 Overexpression in a Murine Model	TRANSPLANTATION PROCEEDINGS2024APR;56(3):678-685	Article
580	Namba Y, Kobayashi T, Kuroda S	消化器外科	Protocol to evaluate the efficacy and safety of tolvaptan in patients with refractory ascites after liver resection: an open-label, single-arm phase I/II	INTERNATIONAL JOURNAL OF SURGERY PROTOCOLS2024;28(1):1-5	Article
581	Maruyama T, Nakamae T, Kamei N	整形外科	Development of a novel animal model of lumbar vertebral endplate lesion by intervertebral disk injection of monosodium iodoacetate in rats	EUROPEAN SPINE JOURNAL2024MAY;33(5):2116-2128	Article
582	Fukushima T, Kobatake K, Miura K	泌尿器科	Nesprin1 Deficiency Is Associated with Poor Prognosis of Renal Cell Carcinoma and Resistance to Sunitinib Treatment	ONCOLOGY2024OCT;102(10):868-879	Article
583	Imaoka K, Ohira M, Hattori M	未来医療センター	Immunotherapy Using Activated Natural Killer Cells Improves Postoperative Neutrophil-to-Lymphocyte Ratio and Long-Term Prognosis of Living Donor Liver Transplant Recipients With Hepatocellular Carcinoma	TRANSPLANTATION PROCEEDINGS2024APR;56(3):634-639	Article
584	Yamada H, Aoki S, Nezu T	脳神経内科	Emergency medical service response for cases of stroke-suspected seizure: A population-based study	JOURNAL OF STROKE & CEREBROVASCULAR DISEASES2024JUN;33(6):-	Article
585	Kiyota M, Iwata T, Hasegawa N	歯周診療科	Periodontal tissue regeneration with cementogenesis after application of brain-derived neurotrophic factor in 3-wall inflamed intra-bony defect	JOURNAL OF PERIODONTAL RESEARCH2024JUN;59(3):530-541	Article
586	Yamada H, Toko M, Nakamori M	脳神経内科	Progressive multifocal leukoencephalopathy associated with systemic lupus erythematosus: longitudinal observation of lymphocytes, JC virus in cerebrospinal fluid, and brain magnetic resonance imaging	JOURNAL OF NEUROVIROLOGY2024APR;30(2):197-201	Article

587	Mimae T, Miyata Y, Tsubokawa N	呼吸器外科	Omitting Lymph Node Dissection for Small Ground-Glass Opacity-Dominant Tumors	ANNALS OF THORACIC SURGERY2025JAN;119(1):192-198	Article
588	Nakasa T, Ikuta Y, Kawabata S	整形外科	Effect of a compression staple on correction of varus deformity during arthroscopic ankle arthrodesis	JOURNAL OF ORTHOPAEDIC SCIENCE2025JAN;30(1):113-118	Article
589	Matsuda S, Ueda T, Nakashima F	歯周診療科	Predictive factors of periodontal regeneration outcomes using rhFGF-2: A case-control study	JOURNAL OF PERIODONTAL RESEARCH2024AUG;59(4):679-688	Article
590	Miyamoto S, Ishii Y, Serikawa M	消化器内科	A case of young male with recurrent acute pancreatitis caused by an intrapancreatic gastric duplication cyst	CLINICAL JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY2024AUG;17(4):742-747	Article
591	Hiyama Y, Fujino H, Namba M	消化器内科	Value of autotaxin for hepatocellular carcinoma risk assessment in chronic hepatitis B patients treated with nucleos(t)ide analogs	HEPATOLOGY RESEARCH2024NOV;54(11):981-992	Article
592	Utsumi S, Ohki S, Shime N.	高度救命救急センター	Epidemiology of moderate traumatic brain injury and factors associated with poor neurological outcome	JOURNAL OF NEUROSURGERY2024AUG;141(2):430-435	Article
593	Shirane Y, Fujii Y, Ono A	消化器内科	Peripheral T Cell Subpopulations as a Potential Surrogate Biomarker during Atezolizumab plus Bevacizumab Treatment for Hepatocellular Carcinoma	CANCERS2024APR;16(7):-	Article
594	Kobayashi H, Fuchikami M, Oga K	精神科	Neonatal Isolation Increases the Susceptibility to Learned Helplessness through the Aberrant Neuronal Activity in the Ventral Pallidum of Rats	CLINICAL PSYCHOPHARMACOLOGY AND NEUROSCIENCE2024MAY;22(2):354-363	Article
595	Kajikawa M, Maruhashi T, Kishimoto S	循環器内科	A Body Shape Index as a Simple Anthropometric Marker of Abdominal Obesity and Risk of Cardiovascular Events	JOURNAL OF CLINICAL ENDOCRINOLOGY & METABOLISM2024MAY 8;109(12):3272-3281	Article
596	Ishii J, Nishikimi M, Ohshimo S	救急集中治療科	The Current Discussion Regarding End-of-Life Care for Patients with Out-of-Hospital Cardiac Arrest with Initial Non-Shockable Rhythm: A Narrative Review	MEDICINA-LITHUANIA2024APR;60(4):-	Review
597	Maeda Y, Mitsuhashi T, Saeki K	脳神経外科	Relevance of the Foramen of Vesalius for Preoperative Tumor Embolization in Skull Base Meningioma	WORLD NEUROSURGERY2024JUL;187():E501-E508	Article
598	Higaki M, Koizumi K, Ando T	顎・口腔外科	Extranodal extension in oral squamous cell carcinoma: clinical and histopathological analysis	ORAL SURGERY ORAL MEDICINE ORAL RADIOLOGY2024JUN;137(6):632-639	Article
599	Fujii T, Ishimura M, Takao S	輸血部	Preference of treatment characteristics among people with haemophilia or their caregivers, and physicians in the Japanese healthcare environment	HAEMOPHILIA2024JUL;30(4):914-924	Article
600	Kuwabara M, Ikawa F, Nakazawa S	脳神経外科	Artificial intelligence for volumetric measurement of cerebral white matter hyperintensities on thick-slice fluid-attenuated inversion recovery (FLAIR) magnetic resonance images from multiple centers	SCIENTIFIC REPORTS2024MAY 2;14(1):-	Article

601	Okamura A, Hashizume A, Kagawa K	てんかんセンター	Magnetoencephalographic detection of synchronized epileptic activity between the hippocampus and insular cortex	EPILEPSY & BEHAVIOR REPORTS2024;26():-	Article
602	Kurawaki S, Nakashima A, Ishiuchi N	腎臓内科	Mesenchymal stem cells pretreated with interferon-gamma attenuate renal fibrosis by enhancing regulatory T cell induction	SCIENTIFIC REPORTS2024MAY 4;14(1):-	Article
603	Shintani T, Higaki M, Rosli SNZ	口腔検査センター	Potential treatment of squamous cell carcinoma by targeting heparin-binding protein 17/fibroblast growth factor-binding protein 1 with vitamin D₃ or eldecalcitol	IN VITRO CELLULAR & DEVELOPMENTAL BIOLOGY-ANIMAL2024JUN;60(6):583-589	Review
604	Imano N, Kosugi T, Konishi K	放射線治療科	Pain response in single-fraction 8-Gy radiotherapy for painful non-bone-metastasis tumors: a single-center retrospective study	JOURNAL OF RADIATION RESEARCH2024MAY 23;65(3):408-412	Article
605	Imaoka Y, Ohira M, Sato S	未来医療センター	Impact of a Liver Immune Status Index among Living Liver Transplant Recipients with Hepatocellular Carcinoma	JMA JOURNAL2024APR 15;7(2):232-239	Article
606	Yoshikawa K, Nakamori M, Ushio K	脳神経内科	Analysis of the suprahyoid muscles during tongue elevation: High-density surface electromyography as a novel tool for swallowing-related muscle assessment	JOURNAL OF ORAL REHABILITATION2024SEP; 51(9):1872-1880	Article
607	Konishi H, Urabe Y, Nakamura T	消化器内科	Long-term prognosis after endoscopic submucosal dissection for esophageal cancer in older adult patients	BMC GASTROENTEROLOGY2024MAY 14;24(1):-	Article
608	Nishi H, Kajiya M, Ohta K	口腔総合診療科	Relationship of oral bacterial number with medical hospitalization costs in analysis of Diagnosis Procedure Combination database from single institution in Japan	SCIENTIFIC REPORTS2024MAY 15;14(1):-	Article
609	Tabata M, Nakai R, Kajihara K	検査部	Performance evaluation and user experience of BT-50 transportation unit with automated and scheduled quality control measurements	CLINICAL CHEMISTRY AND LABORATORY MEDICINE2024NOV 26;62(12):2461-2468	Article
610	Chen R, Mu H, Chen X	小児科	Qualitative Immunoglobulin Deficiency Causes Bacterial Infections in Patients with STAT1 Gain-of-Function Mutations	JOURNAL OF CLINICAL IMMUNOLOGY2024JUN;44(5):-	Article
611	Inada S, Omori K, Kitagawa H	感染症科	Blood culture bottles for culturing cerebrospinal fluid in cases of bacterial meningitis caused by <i>Enterococcus faecalis</i> : A case report	JOURNAL OF INFECTION AND CHEMOTHERAPY2025JAN; 31(1):-	Article
612	Miyamori D, Kamitani T, Yoshida S	総合内科・総合診療科	Effects of the Coronavirus disease 2019 pandemic on mortality in patients with lung cancer: A multiple mediation analysis in Japan	INTERNATIONAL JOURNAL OF CANCER2024OCT 15;155(8):1422-1431	Article
613	Ueda N, Mokuda S, Kawaoka T	消化器内科	Influence of dispersion slope on the diagnosis of liver fibrosis by the shear wave in metabolic dysfunction-associated steatotic liver disease	HEPATOLOGY RESEARCH2024DEC;54(12): 1139-1147	Article
614	Miyamori D, Shigemoto N, Une K	総合内科・総合診療科	Delayed onset septic pelvic thrombophlebitis treated by tissue-plasminogen activator following initial treatment for massive right ovarian vein thrombosis and methicillin-resistant <i>Staphylococcus aureus</i> bacteremia: A case report	JOURNAL OF OBSTETRICS AND GYNAECOLOGY RESEARCH2024AUG;50(8): 1408-1414	Article

615	Osaki Y, Maeoka Y, Sami M	腎臓内科	Peritoneal dialysis-associated peritonitis, caused by superior mesenteric artery thrombosis with intestinal necrosis: a case report	CEN CASE REPORTS2025FEB;14(1):1-5	Article
616	Yasuoka Y, Yonezawa U, Nabika S	脳神経外科	Preventing Post-incisional Dural Shrink in Craniotomy: Introducing the "Roll-up Technique"	NEUROLOGIA MEDICO-CHIRURGICA2024JUL;64(7):278-282	Article
617	Kawahara D, Nishioka R, Murakami Y	放射線部	A nomogram based on pretreatment radiomics and dosiomics features for predicting overall survival associated with esophageal squamous cell cancer	EJSO2024JUL;50(7):-	Article
618	Masuda T, Hirata T, Sakamoto T	呼吸器内科	Treatment rationale and protocol design: an investigator-initiated phase II study of combination treatment of nivolumab and TM5614, a PAI-1 inhibitor for previously treated patients with non-small cell lung cancer	JOURNAL OF THORACIC DISEASE2024MAY;16(5):3381-3388	Article
619	Yoshikawa H, Tomita T, Shigita E	薬剤部	Evaluation of Sources of Drug Interaction Information for Nirmatrelvir/ritonavir	YAKUGAKU ZASSHI-JOURNAL OF THE PHARMACEUTICAL SOCIETY OF JAPAN2024;144(7):733-740	Article
620	Ogasawara T, Ito S, Ogashira S	矯正歯科	The expression of MIR125B transcripts and bone phenotypes in <i>Mir125b2</i> -deficient mice	PLOS ONE2024JUL 8;19(7):-	Article
621	Shiozaki M, Kanno K, Yonezawa S	総合内科・総合診療科	Integrator complex subunit 6 promotes hepatocellular steatosis via β -catenin-PPAR γ axis	BIOCHIMICA ET BIOPHYSICA ACTA-MOLECULAR AND CELL BIOLOGY OF LIPIDS2024OCT;1869(7):-	Article
622	Ishii D, Hara T, Kuwabara M	脳神経外科	Outcome of CAS under flow reversal and analysis for the intraprocedural flow of internal carotid artery	CLINICAL NEUROLOGY AND NEUROSURGERY2024SEP;244():-	Article
623	Ozono I, Onishi S, Yonezawa U	脳神経外科	Super T2-FLAIR mismatch sign: a prognostic imaging biomarker for non-enhancing astrocytoma, IDH-mutant	JOURNAL OF NEURO-ONCOLOGY2024SEP;169(3):571-579	Article
624	Ando T, Okamoto K, Ueda Y	口腔検査センター	YAP/TAZ interacts with RBM39 to confer resistance against indisulam	ONCOGENESIS2024JUL 15;13(1):-	Article
625	Shimomura M, Tanaka M, Kobayashi Y	小児血液腫瘍科	A Pediatric Case of B Cell Precursor ALL With Blinatumomab-associated Encephalopathy	JOURNAL OF PEDIATRIC HEMATOLOGY ONCOLOGY2024OCT;46(7):e550-e555	Article
626	Miki Y, Koga Y, Taogoshi T	薬剤部	Assessment of the Safety of Exposure to Cefcapene Pivoxil during the First Trimester of Pregnancy: A Prospective Cohort Study in Japan	BIOLOGICAL & PHARMACEUTICAL BULLETIN2024JUL;47(7):1301-1306	Article
627	Maeda Y, Ikawa F, Kuwabara M	脳神経外科	Declining trend in the estimated annual rupture rate of unruptured cerebral aneurysms in Japan: a nationwide study	NEUROSURGICAL REVIEW2024JUL 17;47(1):-	Article
628	Tsuboi A, Shigenobu S, Matsubara Y	消化器内科	Severe Refractory Diarrhea Associated with COVID-19: A Case Report	CASE REPORTS IN GASTROENTEROLOGY2024;18(1):318-326	Article

629	Urabe Y, Ishikawa H, Ishikawa A	消化器内科	Two Cases of Increased Gastrointestinal Polyps in Familial Adenomatous Polyposis following Antiacid Agent Intake	CASE REPORTS IN GASTROENTEROLOGY2024;18(1):293-298	Article
630	Sakata S, Kunimatsu R, Tanimoto K.	矯正歯科	Protective Effect of Ergothioneine against Oxidative Stress-Induced Chondrocyte Death	ANTIOXIDANTS2024JUL;13(7):-	Article
631	Tanaka H, Yamashita K, Urabe Y	内視鏡診療科	Management of T1 Colorectal Cancer	DIGESTION2025MAR;106(2):122-130	Review
632	Onishi S, Kojima M, Yamasaki F	脳神経外科	T2-FLAIR mismatch sign, an imaging biomarker for CDKN2A-intact in non-enhancing astrocytoma, IDH-mutant	NEUROSURGICAL REVIEW2024AUG 9;47(1):-	Article
633	Saeki I, Ida K, Kurihara S	周産母子センター	Successful treatment of young childhood standard-risk hepatoblastoma with cisplatin monotherapy using a central review system	PEDIATRIC BLOOD & CANCER2024NOV;71(11):-	Article
634	Onishi S, Yamasaki F, Akiyama Y	脳神経外科	Usefulness of synthetic MRI for differentiation of IDH-mutant diffuse gliomas and its comparison with the T2-FLAIR mismatch sign	JOURNAL OF NEURO-ONCOLOGY2024NOV;170(2):429-436	Article
635	Tanino F, Yamashita K, Nagata S	内視鏡診療科	Vertical margin distance in T1 colorectal carcinoma resected by endoscopic submucosal dissection affects prognosis after additional surgery	INTERNATIONAL JOURNAL OF COLORECTAL DISEASE2024AUG 16;39(1):-	Article
636	Higashikawa F, Nakaniida Y, Li H	未来医療センター	Beneficial Effects of Ginger Extract on Eye Fatigue and Shoulder Stiffness: A Randomized, Double-Blind, and Placebo-Controlled Parallel Study	NUTRIENTS2024AUG;16(16):-	Article
637	Yoshida S, Hirahara Y, Mutai R	総合内科・総合診療科	Impact of home visiting nurses on home death proportion in Japan: A nationwide longitudinal ecological study	PUBLIC HEALTH NURSING2024NOV;41(6):1369-1376	Article
638	Kuwabara M, Mitsuhashi T, Teranishi M	脳神経外科	Human cranial bone-derived mesenchymal stem cells cultured under simulated microgravity can improve cerebral infarction in rats	EXPERIMENTAL NEUROLOGY2024DEC;382):-	Article
639	Ushio K, Nakanishi K, Yoshino A	リハビリテーション科	Changed resting-state connectivity of anterior insular cortex affects subjective pain reduction after knee arthroplasty: A longitudinal study	BRAIN RESEARCH BULLETIN2024OCT 15;217):-	Article
640	Urabe Y, Tanaka H, Nakahara H	消化器内科	A case of colon cancer implanted on endoscopic resection ulcer certified by cancer genomic testing	CLINICAL JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY2024DEC;17(6):1047-1052	Article
641	Teshima H, Kotachi T, Kuwai T	消化器内科	Clinicopathologic Features of Early Gastric Cancer after <i>Helicobacter pylori</i> Eradication in Japanese Patients: Comparative Study between Early (<10 Years) and Late (>10 Years) Onset	CANCERS2024SEP;16(18):-	Article
642	Go S, Kobayashi T, Takasaki T	心臓血管外科	Collapse and Occlusion of Balloon-Expandable Covered Stent in the Right Common Iliac Arteries Due to External Stress	ANNALS OF VASCULAR DISEASES2024;17(3):313-316	Article

643	Itoh H, Hisamatsu T, Segawa K	医療安全管理部	CTG repeat length underlying cardiac events and sudden death in myotonic dystrophy type 1	EUROPEAN HEART JOURNAL OPEN2024SEP;4(5):-	Article
644	Shinkai Y, Sasaki K, Tamura R	腎臓内科	Selective activation of PPAR α by pemafibrate mitigates peritoneal inflammation and fibrosis through suppression of NLRP3 inflammasome and modulation of inflammation	SCIENTIFIC REPORTS2024OCT 11;14(1):-	Article
645	Miyasako K, Nakashima A, Ishiuchi N	腎臓内科	Impact of immunosuppressive drugs on efficacy of mesenchymal stem cell therapy for suppressing renal fibrosis	STEM CELLS TRANSLATIONAL MEDICINE2024OCT 14;13(11):1067-1085	Article
646	Yamamoto N, Urabe Y, Nakahara H	消化器内科	Genetic Analysis of Biopsy Tissues from Colorectal Tumors in Patients with Ulcerative Colitis	CANCERS2024OCT;16(19):-	Article
647	Masuda T, Tsubata Y, Hata K	呼吸器内科	Efficacy of immune checkpoint inhibitors according to programmed cell death-ligand 1 expression in patients with non-small cell lung cancer and brain metastasis: A real-world prospective observational study	THORACIC CANCER2024DEC;15(34):2408-2417	Article
648	Mizuno J, Urabe Y, Nakahara H	消化器内科	A case of esophageal squamous cell carcinoma with epidermization showing a unique morphology	CLINICAL JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY2025FEB;18(1):23-28	Article
649	Tatsugami F, Higaki T, Kawashita I	放射線診断科	Deep-learning reconstruction enhances image quality of Adamkiewicz Artery in low-keV dual-energy CT	ACTA RADIOLOGICA2024DEC;65(12):1569-1575	Article
650	Urabe Y, Oka S, Ishikawa H	消化器内科	Lynch Syndrome Screening and Surveillance Trends among Gastroenterologists in Japan: A Questionnaire-based	INTERNAL MEDICINE2024;64(10):1459-1469	Article
651	Fudeyasu K, Kamiya S, Taito S	手術部	Circulatory characteristics of early mobilization after surgery for bilateral pheochromocytoma: a case report	JOURNAL OF MEDICAL CASE REPORTS2024OCT 31;18(1):-	Article
652	Teshima H, Takigawa H, Kotachi T	内視鏡診療科	A Proton Pump Inhibitor Independently Elevates Gastrin Levels as a Marker for Metachronous Gastric Cancer After Endoscopic Submucosal Dissection	JOURNAL OF CLINICAL MEDICINE2024NOV;13(21):-	Article
653	Maeda Y, Mitsuhashi T, Takeda M	脳神経外科	Repeated human cranial bone-derived mesenchymal stem cell transplantation improved electrophysiological recovery in a spinal cord injury rat model	NEUROSCIENCE LETTERS2025JAN 1;844():-	Article
654	Naruse T, Takeda K, Yoshida K	歯科保存診療科	Possible Involvement of X-Box Binding Protein-1 in the Onset of Pulpitis	EUROPEAN ENDODONTIC JOURNAL2024;9(4):335-343	Article
655	Tanino F, Yamashita K, Morimoto S	内視鏡診療科	Comparative prediction of lymph node metastasis in pT1 colorectal cancer among Western and Japanese guidelines	FRONTIERS IN ONCOLOGY2024OCT 31;14():-	Article
656	Kobayashi T, Miyamori D, Ito M.	総合内科・総合診療科	Retrospective study on clinical value and optimal use of [¹⁸ F] FDG PET/CT for inflammation of unknown origin in Japanese patients	SCIENTIFIC REPORTS2024NOV 15;14(1):-	Article

657	Kawahara D.	放射線部	Enhancing targeted doses: Low-energy photon lipiodol-enhanced radiotherapy (LEPERT) for liver cancer patients	JOURNAL OF APPLIED CLINICAL MEDICAL PHYSICS2025MAR;26(3):-	Article
658	Onishi S, Yamasaki F, Amatya VJ	脳神経外科	Prognostic value of immunohistochemical staining for H3K27me3 and EZH2 in astrocytoma, IDH-mutant	JOURNAL OF NEURO-ONCOLOGY2025MAR;172(1):185-194	Article
659	Horie N, Inoue M, Morimoto T	脳神経外科	Recanalization Does Not Always Equate to Reperfusion: No-Reflow Phenomenon After Successful Thrombectomy	STROKE2025JAN;56(1):183-189	Article
660	Miura R, Ono A, Nakahara H	消化器内科	Serum IL-6 concentration is a useful biomarker to predict the efficacy of atezolizumab plus bevacizumab in patients with hepatocellular carcinoma	JOURNAL OF GASTROENTEROLOGY2025MAR;60(3):328-339	Article
661	Inada S, Omori K, Nomura T	感染症科	Non-tuberculous mycobacterial shoulder arthritis with acute exacerbation soon after initiation of immune checkpoint inhibitor: A case report	JOURNAL OF INFECTION AND CHEMOTHERAPY2025MAR;31(3):-	Article
662	Kinoshita Y, Taguchi A, Yamasaki F	脳神経外科	Management policy for postoperative acromegaly patients with normal IGF-1 and high GH levels on oral glucose tests	PITUITARY2025FEB;28(1):-	Article
663	Hara T, Kitagawa H, Tadera K	感染症科	Clinical and microbiological characteristics of granulomatous mastitis caused by<i>Corynebacterium</i> species: A case series	JOURNAL OF INFECTION AND CHEMOTHERAPY2025MAR;31(3):-	Article
664	Kuroda S, Kobayashi T, Hatano E	消化器外科	Questionnaire on the surgical indications for intrahepatic cholangiocarcinoma administered to Japanese board-certified expert hepatobiliary and pancreatic surgeons and instructors	JOURNAL OF HEPATO-BILIARY-PANCREATIC SCIENCES2025MAR;32(3):179-193	Article
665	Miyamori D, Nagasaki Y, Yoshida S	総合内科・総合診療科	Role of regular medical visits in mitigating increased suicide risk during the early COVID-19 pandemic in Kobe, Japan	BMC PRIMARY CARE2025JAN 23;26(1):-	Article
666	Obayashi N, Shintani T, Ando T	口腔総合診療科	Consideration of the work environment in a case of an industrial homemaker with allergic contact dermatitis by UV-curing acrylic resin	ARCHIVES OF ENVIRONMENTAL & OCCUPATIONAL HEALTH2024NOV 25;79(9-10):315-320	Article
667	Miyasako K, Maeoka Y, Masaki T.	腎臓内科	Recent Advances and Perspectives on the Use of Mineralocorticoid Receptor Antagonists for the Treatment of Hypertension and Chronic Kidney Disease: A Review	BIOMEDICINES2025JAN;13(1):-	Review
668	Kaji H, Yokooji T, Taogoshi T	薬剤部	Assessment of Risk of Acidosis in Patients with Mild-to-Moderate Chronic Kidney Disease Treated with Intravenous Branched-Chain Amino Acid-Enriched Solution: A Propensity Score Matching Analysis	BIOLOGICAL & PHARMACEUTICAL BULLETIN2025JAN;48(1):46-50	Article
669	Morimoto S, Tanaka H, Takehara Y	内視鏡診療科	Efficiency of Real-time Computer-aided Polyp Detection during Surveillance Colonoscopy: A Pilot Study	JOURNAL OF THE ANUS RECTUM AND COLON2025;9(1):127-133	Article
670	Yamada Y, Murase T, Mashida E	薬剤部	The utility of Glaucoma Information Cards for grasping glaucoma subtypes: a single-center pilot study	JOURNAL OF PHARMACEUTICAL HEALTH CARE AND SCIENCES2025FEB 4;11(1):-	Article

671	Kondo H, Ikawa F, Mayumi T	脳神経外科	Questionnaire-based Survey on the Prevention of Surgical Site Infection after the Publication of Its Guidelines for Neurosurgery in Japan	NEUROLOGIA MEDICO-CHIRURGICA2025MAR;65(3):141-147	Article
672	Niitsu H, Nakahara H, Ishida K	遺伝子診療科	Real-world data analysis for factors influencing the quality check status in FoundationOne CDx cancer genomic profiling tests	SCIENTIFIC REPORTS2025FEB 12;15(1):-	Article
673	Rikitake K, Kunimatsu R, Yoshimi Y	矯正歯科	Investigation of Angiogenic Potential in CD146-Positive Stem Cells Derived from Human Exfoliated Deciduous Teeth	INTERNATIONAL JOURNAL OF MOLECULAR SCIENCES2025FEB;26(3):-	Article
674	Yoshimoto K, Maeoka Y, Kubota S	腎臓内科	Polycythemia secondary to bilaterally enlarged kidneys in T-Cell acute lymphoblastic leukemia: a case report and literature review	BMC NEPHROLOGY2025MAR 6;26(1):-	Article
675	Kubota S, Maeoka Y, Okimoto K	腎臓内科	Peritoneal dialysis-associated polymicrobial peritonitis with slow onset after root canal treatment: the first case and review of the literature	BMC NEPHROLOGY2025MAR 13;26(1):-	Article
676	Naito M, Shikuma H, Hatayama T	泌尿器科	Treatment Outcomes of Robotic Adrenalectomy Compared to Laparoscopic Adrenalectomy: A Propensity Score Matching Study	ASIAN JOURNAL OF ENDOSCOPIC SURGERY2025JAN;18(1):-	Article
677	Bekki T, Shimomura M, Yano T	消化器外科	C-reactive Protein-albumin-lymphocyte Index Is a Useful Indicator for Recurrence and Survival Following Curative Resection of Stage I-III Colorectal Cancer	JOURNAL OF THE ANUS RECTUM AND COLON2025;9(2):192-201	Article
678	Kodama A, Kunisaki A, Tanaka T	未来医療センター	Histological study of donor/recipient feasibility in distal nerve transfer for the upper limb nerve injury	PLOS ONE2025;20(5):-	Article
679	Yamane M, Iwamoto H, Kawamoto K	呼吸器内科	Physical Activity and Sedentary Time Correlate with Body Composition in Patients with Asthma: a Multicenter Observational Study	JOURNAL OF ASTHMA AND ALLERGY2025;18():835-846	Article
680	Date S, Kurumadani H, Nakamae N	整形外科	Ulnar finger posture effect on a pinch strength	PLOS ONE2025;20(6):-	Article

計680件

- (注) 1 当該特定機能病院に所属する医師等が前年度に発表した英語論文のうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを七十件以上記入すること。七十件以上発表を行っている場合には、七十件のみを記載するのではなく、合理的な範囲で可能な限り記載すること。
- 2 報告の対象とするのは、筆頭著者の所属先が当該特定機能病院である論文であり、査読のある学術雑誌に掲載されたものに限るものであること。ただし、実態上、当該特定機能病院を附属している大学の講座等と当該特定機能病院の診療科が同一の組織として活動を行っている場合においては、筆頭著者の所属先が大学の当該講座等であっても、論文の数の算定対象に含めるものであること(筆頭著者が当該特定機能病院に所属している場合に限る。)
- 3 「発表者氏名」に関しては、英文で、筆頭著者を先頭に論文に記載された順に3名までを記載し、それ以上は、他、またはet al.とする。
- 4 「筆頭著者の所属」については、和文で、筆頭著者の特定機能病院における所属を記載すること。
- 5 「雑誌名・出版年月等」欄には、「雑誌名・出版年月(原則雑誌掲載月とし、Epub ahead of printやin pressの掲載月は認めない); 巻数: 該当ページ」の形式で記載すること
(出版がオンラインのみの場合は雑誌名、出版年月(オンライン掲載月)の後に(オンライン)と明記すること)。
記載例: Lancet. 2015 Dec; 386: 2367-9 / Lancet. 2015 Dec (オンライン)
- 6 「論文種別」欄には、Original Article、Case report、Review、Letter、Othersから一つ選択すること。

(2)高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象とならない論文(任意)

番号	発表者氏名	筆頭著者の 特定機能病院における 所属	題名	雑誌名・ 出版年月等	論文種別
1					Original Article
2					Case report

3				
～				

計 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が前年度に発表したもののうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 記載方法は、前項の「高度の医療技術の開発及び評価を行うことの評価対象となる論文」の記載方法に準じること。

(様式第3)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

3 高度の医療技術の開発及び評価の実施体制

(1) 倫理審査委員会の開催状況

① 倫理審査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 倫理審査委員会の手順書の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 手順書の主な内容 委員会の設置、委員会の業務、委員の責務、審査（判定の区分等）、手数料等	
③ 倫理審査委員会の開催状況	年11回

(注) 1 倫理審査委員会については、「臨床研究に関する倫理指針」に定める構成である場合に「有」に○印を付けること。

2 前年度の実績を記載すること。

(2) 利益相反を管理するための措置

① 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
② 利益相反の管理に関する規定の整備状況	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
・ 規定の主な内容 本学の教職員等が臨床研究に係る産学連携活動等を行う場合における利益相反を適正に管理するために必要な事項を定めている。具体的には、ポリシー及び臨床研究利益相反管理委員会の設置、アドバイザーの設置、臨床研究を実施しようとする職員等による自己申告、同委員会の調査、審査及びその他必要な手続きなどを定めている。	
③ 利益相反を審査し、適当な管理措置について検討するための委員会の開催状況	年24回

(注) 前年度の実績を記載すること。

(3) 臨床研究の倫理に関する講習等の実施

① 臨床研究の倫理に関する講習等の実施状況	年29回
・ 研修の主な内容	

(注) 前年度の実績を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

1 研修の内容

広島大学病院を基幹施設として、広島県全体の医療圏・近隣医療圏にある連携施設とで専門研修を行います。これにより広島県及び近隣の医療圏の医療事情を理解し、地域の実情に合わせた実践的な医療も行えるように訓練され、専門医としての基本的臨床能力の獲得、さらに高度なSubspecialty専門医取得に向け、各領域別に研修を行って専門医の育成を行います。

(注) 上記の研修内容は医師法及び歯科医師法の規定による臨床研修を終了した医師及び歯科医師に対する専門的な研修について記載すること。

2 研修の実績

上記研修を受けた医師数	163.77 人
-------------	----------

(注) 前年度の研修を受けた医師の実績を記入すること。

3 研修統括者

研修統括者氏名	診療科	役職等	臨床経験年数	特記事項
伊藤 公訓	総合内科・総合診療科	教授	37年	内科
服部 登	呼吸器内科	教授	38年	
岡 志郎	消化器内科	教授	31年	
中野 由紀子	循環器内科	教授	34年	
正木 崇生	腎臓内科	教授	33年	
丸山 博文	脳神経内科	教授	35年	
一戸 辰夫	血液内科	教授	36年	
大野 晴也	内分泌・糖尿病内科	講師	23年	
大毛 宏喜	感染症科	教授	34年	感染症内科
平田 信太郎	リウマチ・膠原病科	教授	27年	リウマチ科
岡本 涉	がん化学療法科	教授	23年	腫瘍内科
岡田 守人	呼吸器外科	教授	37年	
大段 秀樹	消化器外科・移植外科	教授	37年	
岡田 守人	乳腺外科	教授	37年	
高橋 信也	心臓血管外科	教授	27年	
高橋 信也	小児外科	教授	27年	
岡田 剛	精神科	准教授	27年	
岡田 賢	小児科	教授	26年	
有馬 伸生	整形外科	教授	37年	
堀江 信貴	脳神経外科	教授	27年	
田中 暁生	皮膚科	教授	25年	
日向 信之	泌尿器科	教授	27年	

山口 健	産科婦人科	教授	26年	産婦人科
坂口 裕和	眼科	教授	30年	
竹野 幸夫	耳鼻咽喉科	教授	38年	
小武家 優子	放射線診断科	准教授	22年	
村上 祐司	放射線治療科	教授	30年	
堤 保夫	麻酔科	教授	28年	
志馬 伸朗	救急集中治療科	教授	37年	救急科
有廣 光司	病理診断科	教授	38年	
有馬 伸生	形成外科	教授	37年	
三上 幸夫	リハビリテーション科	教授	30年	
野村 良太	小児歯科	教授	23年	
谷本 幸太郎	矯正歯科	教授	33年	
柳本 惣市	顎・口腔外科	教授	29年	歯科口腔外科
相川 友直	口腔顎顔面再建外科	教授	35年	歯科口腔外科
太田 耕司	口腔健康科	教授	30年	歯科
柴 秀樹	歯科保存診療科	教授	36年	歯科
水野 智仁	歯周診療科	教授	29年	歯科
津賀 一弘	口腔インプラント診療科	教授	40年	歯科
柿本 直也	歯科放射線科	教授	29年	歯科
花本 博	歯科麻酔科	教授	25年	歯科
岡田 芳幸	障害者歯科	教授	26年	歯科
河口 浩之	口腔総合診療科	教授	39年	歯科
加治屋 幹人	口腔検査センター	教授	20年	歯科

(注) 1 医療法施行規則第六条の四第一項又は第四項の規定により、標榜を行うこととされている診療科については、必ず記載すること。

(注) 2 内科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(注) 3 外科について、サブスペシャリティ領域ごとに研修統括者を配置している場合には、すべてのサブスペシャリティ領域について研修統括者を記載すること。

(様式第 4)

高度の医療に関する研修を行わせる能力を有することを証する書類

4 医師、歯科医師以外の医療従事者等に対する研修

① 医師、歯科医師以外の医療従事者に対する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
② 業務の管理に関する研修の実施状況（任意）
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数
③ 他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況
<ul style="list-style-type: none">・研修の主な内容・研修の期間・実施回数・研修の参加人数

(注) 1 高度の医療に関する研修について、前年度実績を記載すること。

(注) 2 「③他の医療機関に所属する医療関係職種に対する研修の実施状況」については、医療法施行規則第六条の四第四項の規定に基づき、がん、循環器疾患等の疾患に関し、高度かつ専門的な医療を提供する特定機能病院についてのみ記載すること。また、日本全国の医療機関に勤務する医療従事者を対象として実施した専門的な研修を記載すること。

(様式第 5)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法に関する書類

計画・現状の別	1. 計画 ②. 現状
管理責任者氏名	病院長 安達 伸生
管理担当者氏名	病院総務グループリーダー 三上 雄也 病院医事グループリーダー 中井 智雄

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録	規則第二十二條の三第二項に掲げる事項	病院日誌	総務グループ
		各科診療日誌	各診療科
		処方せん	病歴管理センター
		手術記録	
		看護記録	
		検査所見記録	
		エックス線写真	
		紹介状	
退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書			
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第二十二條の三第三項に掲げる事項	従業者数を明らかにする帳簿	総務グループ
		高度の医療の提供の実績	医事グループ
		高度の医療技術の開発及び評価の実績	医事グループ
		高度の医療の研修の実績	総務グループ
		閲覧実績	総務グループ
		紹介患者に対する医療提供の実績	医事グループ
		入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医事グループ、薬剤部
掲げる事項	規則第一條の十一第一項に	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	各診療科
		医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部
		医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部
		医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医療安全管理部

カルテは電子カルテで、
広島大学病院情報システム運用内規の定めるところにより管理運用している。

			保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第一条の十一第二項第一号から第三号までに掲げる事項	院内感染対策のための指針の策定状況	感染制御部	
		院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部	
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部	
		感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部	
		医薬品安全管理責任者の配置状況	総務グループ	
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	薬剤部	
		医療機器安全管理責任者の配置状況	総務グループ	
		従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	ME機器管理室	
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	ME機器管理室	
医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	ME機器管理室			

		保管場所	管理方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則第九条の二十の二第二項第一号から第十三号まで及び第十五条の四各号に掲げる事項	医療安全管理責任者の配置状況	総務グループ
		専任の院内感染対策を行う者の配置状況	総務グループ
		医薬品安全管理責任者の業務実施状況	薬剤部
		医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況	総務グループ
		診療録等の管理に関する責任者の選任状況	総務グループ
		医療安全管理部門の設置状況	総務グループ
		高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	高難度新規医療技術審査部
		未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況	未承認新規医薬品等審査部
		監査委員会の設置状況	総務グループ
		入院患者が死亡した場合等の医療安全管理部門への報告状況	医療安全管理部
		他の特定機能病院の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況	医療安全管理部
		当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	患者支援センター
		医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付けるための窓口の状況	財務・総務室総務グループ
		職員研修の実施状況	医療安全管理部
		管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況	総務グループ
		管理者が有する権限に関する状況	総務グループ
管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況	総務グループ		
開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の整備状況	財務・総務室総務グループ		

(注)「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。また、診療録を病院外に持ち出す際に係る取扱いについても記載すること。

(様式第6)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法に関する書類

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

計画・現状の別	1. 計画 <input type="radio"/> 2. 現状 <input checked="" type="radio"/>
閲覧責任者氏名	病院運営支援部長 寺田 美樹
閲覧担当者氏名	病院総務グループリーダー 三上 雄也
閲覧の求めに応じる場所	病院総務グループ事務室
閲覧希望者の求めに応じて、病院総務グループ事務室内で行っている。	

(注)既に医療法施行規則第9条の20第5号の規定に合致する方法により記録を閲覧させている病院は現状について、その他の病院は計画について記載することとし、「計画・現状の別」欄の該当する番号に○印を付けること。

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0	件
閲覧者別	医師	延	0 件
	歯科医師	延	0 件
	国	延	0 件
	地方公共団体	延	0 件

(注)特定機能病院の名称の承認申請の場合には、必ずしも記入する必要はないこと。

規則第1条の11第1項各号に掲げる医療に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <p>【医療安全管理のための指針】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.1 医療安全管理に関する基本的な考え方 1.2 医療安全管理に関する委員会等の設置 1.3 職員に対する医療安全教育・研修に関する基本方針 1.4 事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策に関する基本方針 1.5 医療事故発生時の対応に関する基本方針 <ol style="list-style-type: none"> 1) 関係機関への報告・公表 2) 公表する範囲 3) プライバシーの尊重 4) 当事者に対する配慮 5) 警察への報告 1.6 情報の共有に関する基本方針 1.7 患者相談窓口について 1.8 その他医療安全の推進のために必要な基本方針 	
② 医療に係る安全管理のための委員会の設置及び業務の状況	
<p>・ 設置の有無（ 有・無 ）</p> <p>・ 開催状況：年 68 回</p> <p>・ 活動の主な内容：</p> <p>【医科・歯科共通】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「医療安全管理委員会」は、月1回開催し、本院の医療安全管理の統括的な事項について審議する委員会で、「患者影響レベル判定小委員会（医科領域）」及び「医療事故防止等対策小委員会（歯科領域）」を統括し、医療の安全管理、医療事故の防止に関する事項を審議する。 また、「医療安全管理委員会」は、「患者影響レベル判定小委員会（医科領域）」、「医療事故防止等対策小委員会（歯科領域）」及び「医療安全管理部会議」から改善策等の審議内容の報告を受けて審議決定し改善策やマニュアルについて医療安全管理部に周知徹底するようフィードバックする。 （年12回） 2) 「医療安全管理部会議」は、隔週で開催し、医療事故防止及び安全性の確保に必要な企画・立案及び評価を行うとともに、医療現場において機能的に対処・指導を行い、病院内の医療安全に関する対策と意識向上を図る。（年26回） <p>【医科領域】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「患者影響レベル判定小委員会（医科領域）」は、インシデントレポートの患者影響レベルの判定と医療事故の定義に照らして、患者影響レベル3a以上の過誤が疑われる、又は、患者影響レベル3b以上の事象について、患者影響度・原因・医療過誤の有無を判定し、病院長に報告する。（年18回） <p>【歯科領域】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「医療事故防止等対策小委員会（歯科領域）」は、月1回開催し、歯科領域のインシデントレポートに基づき、患者影響レベルの判定及び医療事故の防止策等を審議する。医療過誤がある事例については病院長へ報告する。（年12回） 	

③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 11 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の内容（すべて）：別紙①のとおり 	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医療機関内における事故報告等の整備（ <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無 ） ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>【医科・歯科共通】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) インシデント報告制度の目的や趣旨が十分に伝わるように研修会やリスクマネジャー会議を通じて伝達している。 2) 病院全体に係る重要事象の分析・改善策は医療安全管理部で検討し、医療安全管理委員会で審議のうえ、病院運営会議で報告し、改善策の周知徹底を図る。 3) 院内安全巡視等を行うことで、改善状況を評価する。 4) 発生した重大なインシデントについては、現場のリスクマネジャーを中心にチームで分析・改善策を検討し、医療安全管理部に報告する。医療安全管理部は、必要に応じて事実確認及び詳細な情報収集を行い、要因を特定し、対策を立案し、医療安全管理委員会へ報告するとともに、リスクマネジャー会議へフィードバックする。 5) 月々のインシデントレポートのマクロ的な集計結果及び重要事象の分析結果をリスクマネジャー会議で報告し、情報の共有化を図る。 	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第1号に掲げる院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
<p>・ 指針の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方 2. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項 <ol style="list-style-type: none"> (1) 感染症対策委員会 (2) 感染制御チーム（ICT）、感染対策リンクナース及び感染対策実践者 3. 院内感染対策のための従業員に対する研修に関する基本方針 4. 感染症発生状況の報告に関する基本方針 5. 院内感染発生時の対応に関する基本方針 <ol style="list-style-type: none"> (1) 通常時の対応 (2) 緊急時（重大な院内感染等の発生）の対応 6. 患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針 7. 病院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針 	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 48 回
<p>・ 活動の主な内容：</p> <p>【医科・歯科共通】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「感染症対策委員会」は、月1回開催し、院内の感染防止のための調査、研究、対策に関する事項の統括審議を行い、また、小委員会の審議結果の調整及びその他感染症に関する事項の審議を行う。（年12回） 2) 「感染制御チーム会議」は月1回開催し、院内感染情報等の収集、調査、分析を行い、院内感染防止のための対策及び啓発の企画・立案並びに情報提供に関する審議を行う。（年12回） <p>【医科領域】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「感染症対策小委員会（医科領域）」は、月1回開催し、医科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感染情報レポートの分析・活用及び針刺し（穿刺）感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。（年12回） <p>【歯科領域】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 「感染症対策小委員会（歯科領域）」は、月1回開催し、歯科領域に関し、院内の感染防止のための対策、感染情報レポートの分析・活用及び針刺し（穿刺）感染に関する事項の審議を行う。また、感染防止に係る教育・研修及び院内感染防止に係るマニュアルの策定・改訂に関する事項を審議し、周知徹底するようフィードバックする。（年12回） 	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 4回
<p>・ 研修の内容（すべて）：別紙②のとおり</p>	
<p>④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況</p> <p>・ 病院における発生状況の報告等の整備 （ 有・無 ）</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>感染対策の実務を行うICT活動を実施し、情報の収集と対策について、現場へフィードバックをする。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第2号に掲げる医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品安全管理責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年 9 回
<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修の主な内容： ・ 「安全なミキシングについて」 全職員対象に、薬剤部の製剤室にて見学実習・研修会 ・ 「医薬品の適正使用」研修医オリエンテーション ・ 「薬剤の基礎知識」新規（新人）採用看護師 	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 手順書の作成 (有・無) ・ 手順書の内訳に基づく業務の主な内容： <p>随時、必要時に、各業務の部門責任者及び業務担当責任者が手順書の業務内容に該当する項目が守られているか確認して見直しを図っている。また、薬品管理に関しては、担当者が看護師と協力してマニュアルに基づいて管理を行うとともに、医薬品安全管理責任者（必要に応じて担当者）が必要時実施状況の確認が必要と思われる部門に出向いて確認を行っている。</p> <p>また、業務の実施状況の確認については、医療安全管理部と連携して院内ラウンドを実施している。</p>	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる未承認等の医薬品の使用の情報その他の情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ 未承認等の医薬品の具体的な使用事例（あれば）： <p>適応外：腹腔内デスマイド腫瘍に対するタモキシフェン療法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ その他の改善のための方策の主な内容： <p>①未承認新規医薬品等審査部の組織図や内規などを院内webに掲載し、未承認や適応外使用の申請の必要性や理解の定着を図っている。</p> <p>②各診療科へそれぞれ年1回、使用調査および使用報告依頼を実施している。これにより、当該年度の新規未承認および適応外の使用薬の把握が可能となり、昨年度の使用件数、有効性および安全性の把握に努めている。</p> <p>③薬剤師が業務中に、未承認等に該当する医薬品使用を発見した場合は、医師への疑義照会に加え、エクセルシートに疾患名や薬品名をリストアップしている。これにより、医師が申請していない場合でも、審査部が未承認等の使用を把握することができている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第1条の11第2項第3号に掲げる医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器安全管理責任者の配置状況	☑・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年48回
<p>・ 研修の主な内容： 以下の機器について（特定機器5種を含む）年度を通して対面またはe-learningで研修会を実施した。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人工呼吸器の概要および安全使用について 2. 血液浄化装置の概要および安全使用について 3. 補助循環装置の概要および安全使用について 4. 除細動器の概要および安全使用について 5. 閉鎖式保育器の概要および安全使用について 6. 経腸栄養ポンプの取り扱いについて 7. 光線治療器の取り扱いについて 8. 超音波メスの取り扱いについて <p style="text-align: right;">など</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る計画の策定 （☑・無）</p> <p>・ 機器ごとの保守点検の主な内容：</p> <p>機器管理システムを使用して、該当機器の添付文章、取扱説明書に記載されている点検期限を基に年間スケジュールを計画。院内実施の機器とメーカーが点検する機器があるためメーカーによる点検で時間を要する場合は、代替器の手配を行い計画通りに実施できるように努めた。また、定期点検が計画通り実施するために、担当グループを配置し当月の実施機器（院内、院外：メーカー点検）のリストアップをME機器管理室内のモニターに表示し点検機器の確認ができるように体制とした。</p> <p>特定管理機器5種およびME室管理機器 点検計画実施について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1年/1回メーカーによる定期点検：人工心肺及び補助循環装置、人工呼吸器、体外式ペースメーカー、高気圧酸素療法装置 ・ 1年/1回または、2年/1回メーカーによる定期点検：血液浄化装置 ・ 1年/3回は部内で定期点検、1年/1回はメーカーによる定期点検実施：閉鎖式保育器 ・ 半年/1回部内で定期点検：輸液ポンプ・シリンジポンプ ・ 1年/1回部内で定期点検：除細動器、低圧持続吸引器、ネブライザー、心電計、血糖測定器 ・ 半年/1回部内で点検：超音波診断装置 	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる未承認等の医療機器の使用の状況その他の情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 （☑・無）</p> <p>・ 未承認等の医療機器の具体的な使用事例（あれば）：</p> <p style="padding-left: 20px;">補助循環装置の連続使用による運用 da Vinci Xiを用いた被膜化前立腺腫摘出術</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p style="padding-left: 20px;">年度初めに各診療科へ未承認機器の使用状況の確認と次年度の使用予定を調査し使用状況の把握を行なっている。</p>	

(注) 前年度の実績を記入すること。

規則第9条の20の2第1項第1号から第13号の二に掲げる事項の実施状況

① 医療安全管理責任者の配置状況	有・無
<p>・責任者の資格（医師・歯科医師） ・医療安全管理責任者による医療安全管理部門、医療安全管理委員会、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者の統括状況</p> <p>医療安全管理担当の副病院長を医療安全管理責任者として配置し、統括している。</p>	
② 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有（2）・無
<p>③ 医薬品安全管理責任者の業務実施状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 ・医薬品に関する情報の整理・周知に関する業務の状況 ・採用医薬品について、添付文書、インタビューフォーム、使用上の注意の解説、製品情報概要等入手し、紙面は専用キャビネット及び本棚で、電子ファイルは薬剤部サーバで保管している。 ・添付文書の改訂情報を把握し、改訂時には新添付文書及び改訂内容を解説した使用上の注意の改訂のお知らせを当該医薬品の製造・販売企業より入手する。 ・緊急安全性情報・安全性速報の発出時、およびこれらに準じる緊急性の高い情報を取得した際には、医薬品安全管理責任者へ報告し、関係者と緊急度および重要度に応じて対応を協議している。 ・使用患者を特定して対応する必要がある場合には、診療DWHを使用して情報収集を行い、関係部署へ直接連絡を行って、対応を協議する。必要に応じて診療DWHから抽出した情報に基づいて、当該患者の担当診療科・担当医師に対して患者一覧を添えた通知や、個別の患者への通知を行う。 ・効能効果・用法用量の追加・変更情報、処方日数制限の変更、採用医薬品の取り扱いの変更や供給に関する情報などについて、内容に応じ適宜書面、院内情報ウェブ掲示板を用いて通知を行う。 ・その他、添付文書情報の改訂、各機関から発出された安全性情報などは原則月1回、まとめて各部長、病棟看護師長、薬剤部各部署に通知し、病院情報システムグループを通じて院内掲示板にも掲示する。 <p>・未承認等の医薬品の使用に係る必要な業務の実施状況</p> <p><未承認薬について></p> <ul style="list-style-type: none"> ・未承認新規医薬品等審査部にて使用の適否を決定し、個別に詳細を定め、使用条件に従い必要に応じて薬剤部での管理・保管及び調剤・交付を行う。また、定期的に使用状況の確認を行う。 <p><適応外使用および禁忌に該当する医薬品の使用について></p>	

- ・入院患者については、全病棟に薬剤師を配置しており、病棟担当薬剤師が全患者の処方についてチェックを行い、医師へ情報提供や処方変更の提案・相談などを行っている。その結果は、病棟薬剤業務・薬剤管理指導記録へ記録しており、その記録は電子カルテに保管され、医師や看護師を始めとして全職種が確認可能となっている。該当する医薬品の使用を認めた場合は、薬剤部へ報告する。
- ・外来患者については、随時医師の相談に応じて対応している。
- ・処方オーダー時に、併用禁忌に関してはアラートが出るシステムとなっている。
- ・薬剤師からの情報提供や医師や看護師からの質問や相談、処方変更などの内容は、院内インシデントシステムにてプレアボイド報告として記録されている。これらの情報は、毎月全職種が出席するリスクマネージャー会議にて報告され、院内全体に情報共有され、注意喚起が行われている。

* なお、2017年4月、未承認新規医薬品等審査部および未承認新規医薬品等評価委員会を設置した。具体的な活動内容については、規則第9条の23第1項第8号の「⑧未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況」を参照。

・担当者の指名の有無 (・無)

・担当者の所属・職種：

(所属：薬剤部 ， 職種 薬剤師) (所属： ， 職種)
 (所属： ， 職種) (所属： ， 職種)
 (所属： ， 職種) (所属： ， 職種)
 (所属： ， 職種) (所属： ， 職種)

④ 医療を受ける者に対する説明に関する責任者の配置状況

・無

- ・医療の担い手が説明を行う際の同席者、標準的な説明内容その他説明の実施に必要な方法に関する規程の作成の有無 (・無)
- ・説明等の実施に必要な方法に関する規程に定められた事項の遵守状況の確認、及び指導の主な内容：病歴管理センター長（副病院長）を医療提供説明責任者に定め、医療安全管理部が定めたインフォームド・コンセントマニュアルの遵守状況の定期的な確認を行っている。適切でない事例が認められた場合には、必要な指導を行うとともに該当事例を病院各部署に通知又は研修で取り上げる等適切に説明が行われるよう啓発している。また、説明内容の記載を標準化するため「ICテンプレート」を作成し、活用している。

⑤ 診療録等の管理に関する責任者の選任状況	有・無
<p>・診療録等の記載内容の確認、及び指導の主な内容：責任者として副病院長（医科教育・研修担当）を病歴管理センター長と定め、診療録が適切に運用されているか監査を行っている。</p> <p>量的監査（毎月）は病歴管理センターの診療情報管理士が、質的監査（年2回）は医師・歯科医師を始め多職種で行っている。病歴管理センターでは、監査項目及び具体的な監査方法の決定や監査結果を診療記録管理委員会へ報告するとともに病院長、診療科等へ報告している。また、監査の質向上に向けた取り組みとして、「診療録等について」「質的監査について」等の動画を作成し、院内WEBに掲載している。</p>	
⑥ 医療安全管理部門の設置状況	有・無
<p>・所属職員：専従（4）名、専任（1）名、兼任（ ）名</p> <p>うち医師：専従（1）名、専任（1）名、兼任（ ）名</p> <p>うち薬剤師：専従（1）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>うち看護師：専従（2）名、専任（ ）名、兼任（ ）名</p> <p>（注）報告書を提出する年度の10月1日現在の員数を記入すること</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1）委員会の運営及び決定事項の周知徹底並びに委員会その他関係部署との連絡調整 2）医療安全対策の推進 3）医療安全の確保に資する診療状況の把握及び職員の意識向上 4）医療安全に係る教育・研修の企画立案 5）医療安全に係る各種マニュアルの管理 6）医療事故等に関連する情報の収集、調査及び分析 7）入院患者の死亡及び医療上の重大事象に係る職員からの報告に関すること 8）医療事故等に関する診療録等の記載内容が正確であるかの点検及び指導 9）患者及び家族への説明等、医療事故発生時における対応状況の確認及び指導 10）医療事故等の原因究明の実施・確認及び指導 11）定期的な院内の巡視（患者誤認防止策等） 12）血栓予防装置実施のモニタリング結果 <p>※ 平成二八年改正省令附則第四条第一項及び第二項の規定の適用を受ける場合には、専任の医療に係る安全管理を行う者が基準を満たしていることについて説明すること。</p> <p>※ 医療安全管理委員会において定める医療安全に資する診療内容及び従事者の医療安全の認識についての平時からのモニタリングの具体例についても記載すること。</p>	
⑦ 高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の状況	
<p>・前年度の高難度新規医療技術を用いた医療の申請件数（6件）、及び許可件数（6件）</p> <p>・高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門の設置の有無（有・無）</p> <p>・高難度新規医療技術を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び高難度新規医療技術の提供の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（有・無）</p>	

・活動の主な内容：

審査部では、各診療科等から提出される申請書を確認の上、審査部内に設置された高難度新規医療技術評価委員会からの意見を踏まえ、提供にあたっての条件などを含め、医療提供の適否について決定します。また、提供を認めた症例について、適正な手続きに基づいて提供されていたかどうか、確認を行います。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）

・高難度新規医療技術評価委員会の設置の有無（・無）

⑧ 未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の状況

・前年度の未承認新規医薬品等を用いた医療の申請件数（41件）、及び許可件数（39件）

・未承認新規医薬品等の使用条件を定め、使用の適否等を決定する部門の設置の有無（・無）

・未承認新規医薬品等を用いた医療を提供する場合に、従業者が遵守すべき事項及び未承認新規医薬品等の使用条件を定め使用の適否等を決定する部門が確認すべき事項等を定めた規程の作成の有無（・無）

・活動の主な内容：

活動の主な内容：審査部では、各診療科等から提出される申請書を確認の上、審査部内に設置された未承認新規医薬品等評価委員会からの意見を踏まえ、使用にあたっての条件などを含め、使用の適否について決定します。また、使用を認めた症例について、適正な手続きに基づいて提供されていたかどうか、確認を行います。

・規程に定められた事項の遵守状況の確認の有無（・無）

・未承認新規医薬品等評価委員会の設置の有無（・無）

⑨ 入院患者が死亡した場合などの医療安全管理部門への報告状況

・入院患者が死亡した場合の医療安全管理部門への報告状況：年 433 件

・上記に掲げる場合以外の場合であって、通常の経過では必要がない処置又は治療が必要になったものとして特定機能病院の管理者が定める水準以上の事象が発生したとき当該事象の発生の事実及び発生前の状況に関する医療安全管理部門への報告状況：年 56 件

・上記に関する医療安全管理委員会の活動の主な内容

専任リスクマネージャーは、入院患者の死亡診断を行った医師及び歯科医師が作成した死亡事例報告書、病歴管理センターから提出された入院患者死亡一覧及び電子カルテ内容を確認し、死亡退院までの経緯を把握する。このことは、医療事故調査制度にも関連することから、毎月1回医療安全管理委員会にて死亡事例調査報告書をあげ、入院患者の死亡事例について審議を行っている。緊急かつ重大な事象が発生した場合、医療安全管理マニュアルにその一般的な対応方法を定めているが、その対応にあたり危機管理室が必要と判断した場合は、医療法に定める医療事故の発生その他必要な事項を判断する症例検討委員会や、医療の安全確保に関し、医療事故に係る原因の調査究明及び再発防止を行う医療事故調査委員会を設置し、各委員会がそれぞれの任務にあっている。また、緊急かつ重大な事象以外のインシデントが発生した場合、当事者又は発見者は、発生後速や

かに、インシデントレポートにより報告することを医療安全管理マニュアルに定めている。その流れ・患者影響レベルの選別において、専任リスクマネージャーによるレベル選別会議及び医療安全管理部会議においてレベル3 a以上の事象を選定後、患者影響レベル判定小委員会（医科領域）及び医療事故防止等対策小委員会（歯科領域）の審議を経て、必要に応じて医療安全管理委員会で「事例報告書及び改善策検討報告書」の審議や当該改善策の実行を指示している。また、リスクマネージャー会議を通じて、各リスクマネージャーに当該事案の周知や実践を図っている。

⑩ 他の特定機能病院等の管理者と連携した相互立入り及び技術的助言の実施状況

- ・他の特定機能病院等への立入り（（病院名：大阪大学医学部附属病院））
- ・他の特定機能病院等からの立入り受入れ（（病院名：浜松医科大学医学部附属病院））・無）
- ・技術的助言の実施状況
特記事項なし

⑪ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況

- ・体制の確保状況
患者・家族等からの相談等に応じられる体制を確保するための患者相談窓口として、患者支援センター医療相談室を設置しており、当該相談等で医療安全に関わるものについては、医療安全管理部と連携して対応し、安全対策の見直し等に活用している。

⑫ 職員研修の実施状況

- ・研修の実施状況
別紙①のとおり

（注）前年度の実績を記載すること（⑥の医師等の所属職員の配置状況については提出年度の10月1日の員数を記入すること）

⑬ 管理者、医療安全管理責任者、医薬品安全管理責任者及び医療機器安全管理責任者のための研修の実施状況

- ・研修の実施状況
管理者（病院長） 安達 伸生
特定機能病院管理者研修 令和5年度[第6回オンライン（令和6年2月26日）]を受講
（令和7年度第4回オンライン（令和8年2月5日）を受講予定）

医療安全管理責任者（副病院長） 高橋 信也
特定機能病院管理者研修 令和6年度[第2回オンライン（令和7年1月15日）]を受講

医療機器安全管理責任者（副病院長） 大毛 宏喜
特定機能病院管理者研修 令和6年度[第5回オンライン（令和7年2月3日）]を受講

医薬品安全管理責任者（薬剤部長） 松尾 裕彰
特定機能病院管理者研修 令和6年度[第6回オンライン（令和7年2月14日）]を受講

（注）前年度の実績を記載すること

⑭医療機関内における事故の発生の防止に係る第三者による評価の受審状況、当該評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況、当該評価を踏まえ講じた措置の状況

・ 第三者による評価の受審状況

公益財団法人日本医療機能評価機構が実施する病院機能評価を受審し、2021年3月5日に一般病院3の認定を取得した。2024年11月19～21日にかけて継続のための審査を受審し、現在は改善審査に向けた取り組みを実施中である。

・ 評価に基づき改善のために講ずべき措置の内容の公表状況

審査結果を病院ホームページで公表している。

・ 評価を踏まえ講じた措置

- 1) 個人情報が含まれる診療情報を病院系ネットワークから取り出して活用することについて、運用内規の見直しとシステム機能改修を行った。診療情報を取り出す際に病院として承認を必要とし、ダウンロードした記録をすべて保存することとした。
- 2) 診療記録に複数の意味を有する略語が使用されていることについて、診療記録に使用できる略語は略語集にて許可されたものだけとし、また新たな略語は、診療記録管理委員会にて承認を受けたうえで、略語集に登録されたものだけを使用できることとした。
- 3) 急激な状態変化を伴う副作用リスクの高い薬剤について、対象薬剤を選定し、薬剤ごとの観察時間や記録手順を整備した。現在も対象薬剤の確認を継続しながら、観察記録の徹底に取り組んでいる。
- 4) 職員の健康診断について、健康診断未受診者へ診療を制限する旨を含めた受診を促す文書の送付に加え、各部署の長にも部署内の未受診者を通知した。また、受診状況調査により、非常勤医師も含めて概ね100%の受診率を達成している。

（注）記載時点の状況を記載すること

2024年度 医療安全管理職員研修会

	テーマ	主催	講師	対象	日時・場所	参加者数 合計
1	正しい検査結果を得るために	医療安全管理部	検査部・臨床検査部門	病院新規採用者	eラーニング 4月2日（火）～	405
2	MR検査室への磁性体持込みの危険性	医療安全管理部	MR検査安全管理委員会	病院新規採用者	eラーニング 4月2日（火）～	372
3	造影剤の副作用対策について	医療安全管理部	放射線診断科 三谷 英範 助教	病院新規採用者	eラーニング 4月2日（火）～	167
4	移乗介助ポジショニング	医療安全管理部	診療支援部 リハビリテーション部門 島田 昇 副部門長	病院新規採用者	eラーニング 4月2日（火）～	156
5	検査レポートの未読を防ぐために	医療安全管理部	医療安全管理部 渡谷 祐介 副部長	放射線・病理検査に携わる職員	eラーニング 4月2日（火）～	237
6	糖尿病治療に用いる注射薬について	医療安全管理部	薬剤部 大東 敏和 薬剤主任	医師・看護師・薬剤師等 薬剤に携わる職員	eラーニング 4月2日（火）～	250
7	転倒・転落防止について	医療安全管理部	診療支援部リハビリテーション部門 平田 和彦 部門長	全職員	eラーニング 8月7日（水）～	421
8	Safety-IIで考える検査報告書の未読対応	医療安全管理部	医療安全管理部 伊藤 英樹 部長	全職員	eラーニング 8月22日（木）～	370
9	人工呼吸器（病棟使用機器）Servo-U／トリロジー	医療安全管理部	ME機器管理室	Servo、トリロジーを使用する職員	eラーニング 10月4日（金）～	344
10	【必修1】 当院の医療安全管理体制について 診療ルール、インシデント報告のルール、 昨年度の警鐘事例、職員研修受講の必要性、 重大事象発生時の対応	医療安全管理部	医療安全管理責任者 高橋 信也 副病院長（医療安全管理・地域連携・勤務環境改善担当）	全職員	eラーニング 11月8日（金）～	3008
11	【必修2】 Safety-IIの考え方を医療実装するための手法 ～FRAMについて～	医療安全管理部	医療安全管理部 伊藤 英樹 部長	全職員	eラーニング 11月8日（金）～	3007

2024年度 院内感染防止対策研修会

	テーマ	主催	講師	対象	日時・場所	参加者数 合計
1	【必修1】 院内感染対策	感染制御部	感染制御部 佐野 由佳 専任感染対策担当者/副 看護師長	全職員	eラーニング 7月16日（火）～	3061
2	【必修2】 風邪に抗菌薬は効きません。そもそも風邪って なに？	感染制御部	感染症科/感染制御部 野村 俊仁 診療講師	全職員	eラーニング 7月16日（火）～	3058
3	【第1回抗微生物薬適正使用研修会】 抗微生物薬適正使用の手引き 第3版	感染制御部	感染症科/感染制御部 大本 卓司 医師	抗微生物薬に関 わる業務に従事 する職員	eラーニング 7月16日（火）～	621
4	【第2回抗微生物薬適正使用研修】 βラクタム系抗菌薬のアレルギーについて	感染制御部	感染制御部 久保 有子 薬剤師	抗微生物薬に関 わる業務に従事 する職員	eラーニング 7月16日（火）～	560

規則第7条の2の2第1項各号に掲げる管理者の資質及び能力に関する基準

<p>管理者に必要な資質及び能力に関する基準</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 基準の主な内容 <ol style="list-style-type: none"> 1. 医師法に定める医師免許証を有すること。 2. 医療安全確保のために必要な資質及び能力を有すること。 3. 病院の管理運営に必要な資質及び能力を有すること。 4. 教育・研究・診療に必要な資質・能力を有すること。 5. 広島大学病院の理念・基本方針を理解し、その実現に向けた強い意思とリーダーシップを有すること。 ・ 基準に係る内部規程の公表の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無) ・ 公表の方法 病院ホームページへの掲載

規則第7条の3第1項各号に掲げる管理者の選任を行う委員会の設置及び運営状況

前年度における管理者の選考の実施の有無	有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 選考を実施した場合、委員会の設置の有無 (有・無) ・ 選考を実施した場合、委員名簿、委員の経歴及び選定理由の公表の有無 (有・無) ・ 選考を実施した場合、管理者の選考結果、選考過程及び選考理由の公表の有無 (有・無) ・ 公表の方法 				
管理者の選任を行う委員会の委員名簿及び選定理由				
氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	特別の関係
				有・無
				有・無
				有・無
				有・無

規則第9条の23第1項及び第2項に掲げる病院の管理及び運営を行うための合議体の設置及び運営状況

合議体の設置の有無	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<ul style="list-style-type: none"> ・合議体の主要な審議内容 <ol style="list-style-type: none"> (1) 病院情報(診療情報及び運営情報等)の収集・分析に関する事項 (2) 医療提供体制の基本戦略の立案と評価に関する事項 (3) 予算, 人員, 設備等の資源配分の立案と実施に関する事項 (4) 病床, 手術室等の適切な使用割り当ての方針に関する事項 (5) 医療機器, 医薬品, 医療材料等の戦略的調達 of 企画立案に関する事項 (6) 病院の運営戦略の企画立案に関する事項 (7) 病院における実習, 研修, 研究の在り方に関する事項 (8) 病院の諸活動の自己点検・評価に関する事項 (9) その他必要な事項の企画・立案に関する事項 ・審議の概要の従業者への周知状況 会議終了後, 資料及び議事録を学内ポータルへ掲載 ・合議体に係る内部規程の公表の有無 (有・<input checked="" type="checkbox"/>) ・公表の方法 ・外部有識者からの意見聴取の有無 (有・<input checked="" type="checkbox"/>) 	

合議体の委員名簿

氏名	委員長 (○を付す)	職種	役職
安達 伸生	○	医師	病院長
谷本 幸太郎		歯科医師	主席副病院長
大毛 宏喜		医師	副病院長 (診療・経営改善担当)
高橋 信也		医師	〃 (医療安全管理・地域連携・勤務環境改善担当)
大段 秀樹		医師	〃 (臨床研究担当)

河口 浩之		医師	〃 (歯科教育・研修担当)
志馬 伸朗		医師	〃 (災害・危機管理担当)
伊藤 公訓		医師	〃 (医科教育・研修担当)
佐藤 陽子		看護師	〃 (看護担当)
寺田 美樹		事務	〃 (管理運営担当)
三上 幸夫		医師	病院長補佐 (研究・基金担当)
中野 由紀子		医師	〃 (国際・保険診療担当)
柳本 惣市		歯科医師	〃 (歯科診療担当)
太田 耕司		歯科医師	〃 (歯科安全・感染担当)
飯田 幸治		医師	〃 (教員人事担当)
加治屋 幹人		歯科医師	〃 (歯学研究担当)
松尾 裕彰		薬剤師	薬剤部長
山崎 真一		臨床検査技師	診療支援部長
田中 純子		教員	理事・副学長 (霞地区・教員人事・広報担当)
津賀 一弘		歯科医師	理事・副学長 (社会連携・基金・校友会担当)
藤本 淳也		医師	病院医療情報部長

規則第15条の4第1項第1号に掲げる管理者が有する権限に関する状況

管理者が有する病院の管理及び運営に必要な権限

- ・ 管理者が有する権限に係る内部規程の公表の有無（ ・ 無 ）
- ・ 公表の方法
大学ホームページに掲載
- ・ 規程の主な内容
 - ・ 病院長が病院の業務を掌理
 - ・ 副病院長等の選考方法
 - ・ 副病院長等の担当
- ・ 管理者をサポートする体制（副院長、院長補佐、企画スタッフ等）及び当該職員の役割
 - ・ 副病院長：病院長の業務の一部を分担し、病院長を補佐、以下の担当9名を配置
（主席副病院長 / 診療・経営改善担当 / 医療安全管理・地域連携・勤務環境改善担当 / 臨床研究担当 / 歯科教育・研修担当 / 災害・危機管理担当 / 医科教育・研修担当 / 看護担当 / 管理運営担当）
 - ・ 病院長補佐：病院長の管理運営等に関して病院長を補佐、以下の担当6名を配置
（研究・基金担当 / 国際・保険診療担当 / 歯科診療担当 / 歯科安全・感染担当 / 教員人事担当 / 歯学研究担当）
- ・ 病院のマネジメントを担う人員についての人事・研修の状況
厚生労働省が公益財団法人日本医療機能評価機構に委託し実施している「特定機能病院管理者研修」の受講

規則第15条の4第1項第2号に掲げる医療の安全の確保に関する監査委員会に関する
状況

監査委員会の設置状況	<input checked="" type="checkbox"/> ・無
<p>・監査委員会の開催状況：年2回（令和6年12月12日、令和7年3月6日実施）</p> <p>・活動の主な内容：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・病院の医療安全に係る業務の状況について病院長等から報告を求め、又は必要に応じて自ら確認を実施する。 ・必要に応じ、学長又は病院長に対し、医療に係る安全管理についての是正措置を講ずるよう意見を表明する。 ・監査結果を公表する。 <p>・監査委員会の業務実施結果の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・委員名簿の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・委員の選定理由の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・監査委員会に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無）</p> <p>・公表の方法： 病院ホームページへの掲載</p>	

監査委員会の委員名簿及び選定理由（注）

氏名	所属	委員長 (○を付す)	選定理由	利害関係	委員の要件 該当状況
山田 謙慈	広島県医師会・ 常任理事	○	医療に係る安全管理に関する識見を有する者	無	1
中井 克洋	広島メープル法律事務所		法律に関する識見を有する者	無	1
中川 圭	認定 NPO 法人乳がん患者友の会 きらら・理事長		医療を受ける者	無	2

（注） 「委員の要件該当状況」の欄は、次の1～3のいずれかを記載すること。

1. 医療に係る安全管理又は法律に関する識見を有する者その他の学識経験を有する者
2. 医療を受ける者その他の医療従事者以外の者（1.に掲げる者を除く。）
3. その他

規則第15条の4第1項第3号イに掲げる管理者の業務の執行が法令に適合することを
確保するための体制の整備に係る措置

管理者の業務が法令に適合することを確保するための体制の整備状況

- ・体制の整備状況及び活動内容
広島大学内部統制規則に基づく
- ・ 専門部署の設置の有無 (有・)
- ・ 内部規程の整備の有無 (・無)
- ・ 内部規程の公表の有無 (・無)
- ・ 公表の方法
大学ホームページに掲載

規則第15条の4第1項第3号口に掲げる開設者による業務の監督に係る体制の整備に係る措置

開設者又は理事会等による病院の業務の監督に係る体制の状況			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 病院の管理運営状況を監督する会議体の体制及び運営状況 ・ 役員会：大学の重要事項を審議、メンバーは学長及び理事 原則として毎月1回開催 ・ 経営協議会：大学の経営に関する重要事項を審議、メンバーは学長、理事及び学外有識者 学長が必要と認めたときに開催 ・ 会議体の実施状況（年24回） ・ 会議体への管理者の参画の有無および回数（<input checked="" type="checkbox"/>・無）（年20回） ・ 会議体に係る内部規程の公表の有無（<input checked="" type="checkbox"/>・無） ・ 公表の方法 大学ホームページに掲載 			
病院の管理運営状況を監督する会議体の名称：			
会議体の委員名簿			
氏名	所属	委員長 (○を付す)	利害関係
			有・無
			有・無
			有・無
			有・無

(注) 会議体の名称及び委員名簿は理事会等とは別に会議体を設置した場合に記載すること。

規則第15条の4第1項第4号に掲げる医療安全管理の適正な実施に疑義が生じた場合等の情報提供を受け付ける窓口の状況

窓口の状況
<ul style="list-style-type: none">・ 情報提供を受け付けるための窓口の設置の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 通報件数 (年0件)・ 窓口に提供する情報の範囲、情報提供を行った個人を識別することができないようにするための方策その他窓口の設置に関する必要な定めの有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 窓口及びその使用方法についての従業者への周知の有無 (<input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無)・ 周知の方法 学内ポータルサイト及び大学ホームページに掲載